

ニ在ル罪ヲ列記シタルモノナリ而シテ官文書毀棄ノ罪ハ直接ニ害ヲ官ニ加フルモノニシテ一私人ニ加フルモノニアラス然ルニ之ヲ第三編中ニ規定スルハ決シテ適當ノ位置ヲ得タルモノトスルヲ得サルナリ既ニ第三編中ニ規定ス可キモノトセン乎第二編第四章第三節中ニ之ヲ規定スルヨリ他ニ適當ノ部分ナシト余ハ此說ニ從フヲ得ス今論者ハ第三編中ニ直接ニ害ヲ官ニ加フル場合ヲ規定セスト主張スレド第三編中ニ此場合ヲモ包含スルヲ往々之アリ夫ノ強竊盜及ハ放火罪ノ如キ官私ノ別ナク皆之ヲ包含スルニアラスヤ又夫ノ家屋及ヒ文書ヲ除ク他ノ物品ヲ毀壞シタル罪ノ如キ何人ト雖モ官私ノ別ナク總テ包含スルヲハ疑ヲ容レサル所ナリ而シテ獨リ官文書毀棄ノ罪ヲ私文書毀棄ノ罪ト同節中ニ規定スル能ハストナスモノハ何ソヤ余輩其理由ヲ解スル能ハサルナリ又或論者アリ曰ク官文書毀棄ノ罪ハ公權ヲ

蔑如スルニ依テ罪トナルモノナリ故ニ之レヲ第二編中ニ規定スルヲ以テ至當トナス然ルニ第二編中他ニ適當ノ部分ナキヲ以テ其相似タル証書偽造罪ノ部分へ之ヲ併記シタルモノナリト若シ論者ノ曰フ如ク官文書毀棄ノ罪ハ單ニ公權蔑如ノ一點ヲ以テ成立スルモノトセハ論者ノ說或ハ至當ナラン然レド余ノ考フル所ニ據レハ官文書毀棄ノ罪ト雖モ決シテ公權蔑如ノ一點ヲ以テ罪トナルモノニアラス若シ論者ノ謂フ如ク唯此一點ヲ以テ罪トセン乎苟モ官ノ文書ナレハ現ニ害ヲ生シ得可キト否トヲ問ハス之ヲ毀棄シタル者ハ總テ罰セサル可カラス何トナレハ公權蔑如ハ害ノ現ニ生スルト否トニ拘ハラス毀棄ノ一事ヲ以テ成立スルモノナレハナリ果シテ斯ノ如クナレハ嘗テ公害ナク又害ヲ生シ得可キモノニアラサルニ之レヲ罰スルニ至ラン是豈ニ刑罰ノ本旨ナランヤ且夫レ官文書ヲ毀棄スル者必ズシモ公權ヲ蔑

如シタルニ出テタルモノトスルヲ得ス他人ヲ害センカ爲メ爲スニア
 リ或ハ自己ノ利ヲ圖ランカ爲メ爲スニアリ例ヘハ他人ノ公債証書ヲ
 毀棄シタル場合ノ如キ是他人ヲ害センカ爲メニ爲シタルモノニシテ
 權利義務ニ關スル証書ヲ毀棄シタルモノト何ソ異ナランヤ又例ヘハ
 已レ先取權ヲ得ンカ爲メ第一ノ書入權ヲ記シタル官ノ帳簿ヲ毀棄シ
 タル場合ノ如キ是自己ノ利ヲ圖ランカ爲メニ爲シタルモノナリ夫レ
 此場合ニ於テ犯人ノ意思ハ主トシテ公權蔑如ニ在ラサルヲ以テ官文
 書毀棄ノ罪ヲ組成セサルモノトスル乎何人ト雖モ斯ノ如キ説ヲ爲ス
 者ナカル可シ然ラハ則チ公權蔑如ハ情狀加重ノ一端トナスヲ得可キ
 モ文書毀棄ノ罪ヲ組成スルニ緊要欠ク可カラサルモノニアラサルヲ
 明ナリトス又論者ハ官文書偽造ノ罪ト官文書毀棄ノ罪ト相似タルモ
 ノトナセト一ハ則チ信用ヲ害スルノ性質ヲ有シ一ハ則チ之ヲ有セス

是其根本ヲ異ニスルモノナリ然ルニ之ヲ相似タルモノトナスハ鳥鷺
 相混スルモノト評セサルヲ得ス是余ノ論者ノ説ヲ非トスル所以ナリ
 以上論スル如キ理由アルヲ以テ編纂ノ位置其宜シキヲ得ントセハ余
 ハ寧ロ第三編第二章第十節中へ官文書毀棄ノ罪ヲモ併記スルヲ可ト
 スルナリ

文書毀棄ノ罪ヲ組成スルニハ如何ナル條件ヲ具備スルヲ必要トスル
 乎夫ノ証書偽造ノ罪ノ如キ信實ニ違フノ條件ハ固ヨリ必要ナラスト
 雖モ左ノ二條件ハ必ス具備セサル可カラス

- 一 文書ヲ毀棄スル事
- 二 害ヲ生ス可キ事

世ノ論者ハ文書毀棄ノ罪ヲ論スルニモ亦証書偽造罪ノ如ク其意思ハ
 唯故意ニ止マラス仍ホ害意ナカル可カラスト主張スルト雖モ余ハ必

ナシモ害意アルヲ必要トセス苟モ故意ヲ以テ爲シタル時ハ人ヲ害ス
 ルノ意ニ出テタルト已レテ利スルノ意ニ出テタルト又一時ノ戯レニ
 出テタルトチ問ハス悉ク之ヲ罰セサル可カラサルモノトナスナリ果
 シテ然ラハ故意ノ要件ハ總則ニ讓リ文書毀棄罪ノ爲メ特別ニ掲クル
 ノ必要アラサルナリ
 上ニ掲クル第二ノ要件タル害ヲ生ス可キ事トノ一事ニ付テハ大ニ説
 明ヲ要スルコアリ刑法第四百二十四條ニ於テ私文書毀棄ノ罪ヲ定ム
 ルニ當リテハ特ニ權利義務ニ關スル証書ヲ毀棄シタル時ニアラサレ
 ハ其罪ヲ組成セサルコト明ナリ是其餘ノ証書ニ付テハ立法者ニ於テ害
 ナキモノト認メタルニ由ル然レモ官文書毀棄ノ罪ニ付テハ此條件ヲ
 明記セス此故ニ私文書ノ如ク權利義務ニ關スル証書ニノミ制限スル
 ナ得サルモ其文書ノ必要ニシテ之ニ毀棄スレハ爲メニ害ヲ生シ得可

キ場合ニ非サレハ決シテ罰スルヲ得サルナリ夫レ然リ然ラハ則チ既
 ニ其効用ヲ了リタル文書ノ如キハ之ヲ毀棄スルモ爲メニ害ヲ生セサ
 ルヲ以テ官私ノ別ナク之ヲ目シテ害ヲ生シ得可キモノトナスヲ得ス
 何チカ既ニ効用ヲ了リタルモノト云フ請フ左ニ例ヲ擧ケテ順次之ヲ
 説明セン

刑法第二百二條ニ所謂ル詔書毀棄ノ罪ニ付テ其効用ヲ了リタルモノ
 ト否トノ區域ヲ明カニセント欲スレハ先ツ其詔書ノ性質ヲ詳ニセサル
 可カラス抑モ詔書トハ一國ノ君主ヨリ下附セラル、所ノ勅書ヲ云フ
 而シテ其勅書ニ一般人民ニ下附セラル、モノト唯一二ノ臣下へ下附
 セラル、モノトノ二種アリ夫ノ勅令トシテ國民一般ニ公布セラル、
 モノ、如キ則チ一般人民ニ下附セラル、モノナリ又夫ノ勅任官任命
 ノ際下附セラル、辭令書ノ如キ則チ一二ノ臣下へ下附セラル、モノ

ナリ其第一ノモノハ未ダ一般人民ニ公布セサルニ當リテハ其効用ヲ了ラサルモノナルヲ論テ俟タス然レ既ニ之ヲ人民ニ公布セシ後ハ其効用ヲ了リタルモノト謂フヲ得可キ乎余ハ一概ニ之ヲ目シテ効用ヲ了リタルモノトスルヲ得ス何トナレハ其公布ノ虚偽ニ非サルヲ証スル爲メ其本書ヲ後日ニ保存スルニ必要ナレハナリ然レ既古昔ノ君主ヨリ下附セラレタル詔書ニシテ今日之ヲ保存スルノ必要ナキモノハ最早其効用ヲ了リタルモノナレハ縱令ヒ之ヲ毀棄スルモ害ヲ生スルヲナシ故ニ其毀棄ヲ爲シタル者ヲ罰スルヲ得サルナリ又第二ノモノハ之ヲ其渡ス可キ者ニ渡サ、ルニ當リテハ未ダ其効用ヲ了ラサルヲ明ナリ然レ既ニ之ヲ渡シタル後ハ其効用ヲ了リタルモノト謂フヲ得可キ乎是亦一概ニ其効用ヲ了リタルモノトスルヲ得ス例ハ外國派遣ノ使臣ニ下附スル勅書ノ如キ之ヲ外國ニ携帯シテ外國政府

ニ示スノ必要ナキニアラサレハ之ヲ下附スルヤ直ニ効用ヲ了リタルモノトスルヲ得ス然レ既其使命ヲ果シタル後ハ最早効用ヲ了リタルモノナレハ之ヲ毀棄スルモ有形上何等ノ害ヲモ生スルヲナシ又夫ノ辞令書ノ如キ之レヲ下附スレハ官ノ簿册ニ其事ヲ記載ス可キモノナレハ後日ニ之レヲ保存スルノ必要アルモノニアラス此故ニ之ヲ毀棄スルモ爲メニ害ヲ生スルヲナシ仍テ余ハ此種ノ文書ハ之ヲ下附スルヤ直ニ其効用ヲ了ルモノトナスナリ

又官文書毀棄ノ罪ニ付テ嘗テ實際上ノ疑題トナリシ一問題アリ即チ被告人裁判所ノ呼出狀ヲ受取り之ヲ破棄シタルハ官文書毀棄ヲ以テ論ス可キヤ否ヤノ件是ナリ實際ニ於テハ呼出狀ノ如キ之ヲ下附スレハ其所有權受取主ニ移ルヲ以テ無罪ナリト決定シタレ既余ハ此理由ヲ以テ完全ノモノトシス夫ノ呼出狀ノ如キ畢竟之ヲ受取ル可キ者

ニ渡シタルハ直ニ其効用ヲ了ルモノナレハ之ヲ毀棄スルモ害ヲ生
スルコトナシトノ理由ヲ以テ此所爲ヲ無罪トナス然レモ其呼出狀ヲ受
取ルヘキ者ニ渡サ、ル中ニ使丁又ハ他人ニ於テ故ラニ毀棄シタル時
ハ官文書毀棄ノ罪ヲ組成スルモノトス
今我カ刑法ニ於テ官文書ト稱スルモノヲ區別シテ三種トセリ左ノ如
シ

一 詔書

二 官ノ文書

三 公債証書、地券、官吏ノ公証シタル文書

其第一ニ掲クル詔書ナルモノハ 至尊ヨリ下附セラレ、勅書ナレハ
他ノ官文書ヨリ一層重大ナルモノナリ故ニ之レヲ偽造シ毀棄スル者
ハ總テ無期徒刑ニ處スルモノトセリ然レモ偽造ト毀棄トハ犯人ノ情

ニ於テ好惡ノ度ヲ異ニスレハ自ラ輕重ノ別ナキヲ得ス然ルニ之レヲ
同一ノ刑ニ處スルヲ以テ世上多少ノ批難ヲ爲ス者之アルナリ

其第二ニ掲ケタル官文書中ニハ廣ク官署ヨリ發シタル文書ヲ包含ス
而シテ此文書ヲ偽造シテ行使シ又ハ毀棄シタル者ハ輕懲役ニ處スル
モノトセリ

其第三ニ掲ケタル文書中公債証書及ヒ地券ヲ以テ官文書トナスニ付
キ世上或ハ異論ヲ唱フル者アリ曰ク是等ノ書類ハ人民ノ所有シ得可
キモノナレハ官文書ニアラスト余ハ以テ謬説トナス抑モ其文書ノ官
文書ナル平將ク私書ナル乎ハ其之レヲ所有スル者ノ如何ニ由リテ區
別ス可キモノニアラス其之レヲ記シタル者ノ如何ニ由リテ區別ス可
キモノナリ即チ官吏其職務上作リタルモノナレハ宜シク之レヲ官文
書トナスヘク又一私人ノ記シタル者ナレハ宜シク之レヲ私書トナス

へシ是公証人ノ作りタル証書ハ之レヲ所持スル者ノ一人ニアルモ
 仍ホ公証書ト稱スルト同一ノ理由ニ基クモノナリ故ニ余ハ此種ノ証
 書ヲ官文書中ニ列シタルハ決シテ之レヲ不當トセサルナリ然ルニ官
 吏ノ公証シタル文書トハ如何ナルモノヲ云フ乎我カ刑法定ノ際ハ
 未タ登記法及ヒ公証人規則等ノ設アラザリシヲ以テ専ラ戸長ノ公証
 シタル文書ヲ指スト明ナリ然レハ賣買讓與等ノ際戸長ノ公証シタル
 文書ノ如キハ元ト一私人ノ手ニ成リシモノニシテ戸長ハ唯之カ與書
 割印等ヲ爲スニ過キス然ラハ則チ其証書自体ヲ稱シテ官文書トナス
 ナ得サルヲ明ナリ然レハ其戸長ノ公証スル爲メニ記ス可キ文言及ヒ
 其氏名等ハ官文書ト稱ス可キモノナリ此故ニ此種ノ証書ハ其初メハ
 私書ナリシモ戸長ノ公証ニ由リ官私相合シタル一ノ証書ト爲セシモ
 ノトス但シ戸長役場ニ備フル所ノ臺帳ノ如キハ第二ニ所謂ル官ノ文

公証人
 官文書
 登記法
 規則等

書中ニ列ス可キモノトス然リ而シテ今日登記法及ヒ公証人規則、頒
 布アリシヲ以テ其登記官吏又ハ公証人ノ記ス可キ文書ハ之レヲ官ノ
 文書トス可キ乎官吏ノ公証シタル文書トス可キ乎將タ私ノ文書トス
 可キ乎余意フニ登記官吏ノ作りタル書面ノ如キハ戸長ノ公証ト相異
 ナリ皆全ク登記官吏ノ手ニ成ルモノナレハ純然タル官文書トナシテ
 妨ケナシ然レハ公証人ハ其性質官吏ト稱ス可キモノニアラス何トナ
 レハ公証人ハ官ノ俸給ヲ受クル者ニアラザレハナリ故ニ其作りタル
 文書ハ之レヲ公正ノ証書ト稱スルヲ得可キモ官ノ文書ト稱スルヲ得
 ス故ニ縦令ヒ之レヲ偽造スル者アルモ我カ刑法官文書偽造罪ノ中ニ
 包含セシムルヲ得ス仍テ己ムヲ得ス私書偽造罪ヲ以テ處分セサル
 可カラサルナリ
 而シテ此第三ニ掲クル文書ニ付テハ唯偽造及變造罪ノミチ此節ニ規

(刑法講義)

定シ毀棄ノ罪ヲ此ニ規定セス是其公債証書等ノ所有者自ラ之レヲ毀棄スルモ爲メニ害ヲ生スルコトナケレハ之レヲ罰セサルノ精神ニ出テタルモノナラン然レモ他人若シ之レヲ毀棄シタルコトアレハ第四百二十四條ヲ以テ罰セラル、コト勿論ナリトス

而シテ第三ニ掲クル文書ヲ偽造シテ行使シタル者ハ別項ニ掲クル官文書ト同シク輕懲役ニ處スルモノトス然レモ公債証書ノ中無記名公債証書ハ其流通ノ速カナルモノニシテ之レヲ偽造スルニ易ク其偽造ヲ防クニ難キ者ナレハ一等ヲ加ヘテ重懲役ニ處スルモノトセリ

〔附言〕講述者曰ク余カ刑法第二編ヲ講スルニ當リ是迄ハ我カ刑法ノ條文ヲ分析シテ數級ニ區別シタレモ之カ爲メ紙數ヲ増加シ此講義ヲ急ニ完結スルヲ得サルノ恐アレハ以下此例ヲ廢シタリ
以下此節ニ就テ起リタル問題中其主要ナルモノヲ掲ケテ余輩ノ意見

ヲ述ヘントス

問 刑法第二百六條ニ於テ官ノ文書ヲ偽造スルニ因テ官印ヲ偽造シ又ハ盜用シタル者ハ偽造官印ノ各本條ニ照シ重キニ從テ處斷ストノ明文ヲ掲ケタルハ何ノ必要アリテ之レヲ掲ケタル乎

答 余ノ考フル所ニ據レハ文書ノ偽造ヲ爲スニ付キ或ハ偽印ヲ爲シ或ハ行使ヲ爲シ或ハ盜用ヲ爲ス如キハ其文書偽造ノ方法ナレハ別ニ之レヲ問フコトナシト謂フ如キ僻說ヲ爲ス者アランコト恐レテ立法者ノ此ニ之レヲ附記シタル者ナラン然レモ今能ク其性質ヲ究メタル者ニ在テハ此條ナキモ數罪俱發例ニ據ル可キコトハ毫モ疑ノ存セサル所ナリ

問 官文書ヲ塗抹シテ字體ヲ解スル能ハサルニ至ラシメタル者ハ官文書毀棄ヲ以テ論スルヲ得サル乎

答 或ハ毀棄ナル文字ヲ廢棄ナル義ニ解シテ問題ノ場合ノ如キ官文書毀棄ヲ以テ論スルヲ得スト主張スル者アレハ所謂ル毀ノ字ハソコナフト云フ義ナルヲ以テ其文書ニ幾分ノ損所ヲ來シタル時ハ之レヲ目シテ毀棄トナスヲ得可シ故ニ余ハ問題ノ場合ニハ官文書毀棄ノ罪ヲ組成スルモノトナスナリ

問 詔書中ノ文字ヲ減セシカ爲メ之レヲ塗抹セシモ其字體ノ仍ホ讀ミ得可キ時ハ詔書變造ヲ以テ論スルヲ得サル乎

答 我カ邦ノ刑法解釋者中或ハ此場合ノ如キ増減變換ト謂フヲ得ス亦未遂犯ニアラサルヲ以テ無罪ナリト主張スル者アレハ余ハ詔書變造ノ既遂犯ヲ以テ論ス可キモノトス今問題ノ場合ニ於テ其文字ヲ減センカ爲メ現ニ之レヲ塗抹シタルハ則チ之レヲ減シタルノ所爲ト謂ハサル可カフス而シテ其字體ノ讀得可キト否トハ其減方ノ

拙劣ナルニ出テ、其目的ヲ遂クル能ハサリシニ過キス而シテ其目的ヲ遂クルト否トハ恰モ竊盜ヲ爲シタル者ノ贓金ヲ行使セントシテ發覺シタルト一般其罪ノ成立ニ妨ナキモノトス

問 例ハ農商務省ヨリ發ス可キ性質ノ書面ヲ私ニ造リテ大藏省ト記シ又ハ司法事務ニ關スル事ヲ記シタル書面ヲ私ニ造リ内務大臣ノ名ヲ記シタル場合ノ如キ筋違ナル官署ノ名ヲ記シ又ハ當該官吏ニアラサル者ノ名ヲ記シタル場合ノ如キ亦官文書偽造トナス可キ乎

答 余ノ考アル所ニ據レハ其文書ニ記スル所ノ事項ノ果シテ筋違ノ事ナルト否トヲ問ハス苟モ其外形ヲ官署ヨリ發シタル者ノ如クシタル時又ハ當該官吏ニアラサル者ノ氏名ヲ掲クルモ總テ之レヲ官文書偽造トナシテ妨ナキモノトス蓋シ官署ト雖モ時トシテハ謬リ

テ筋違ナルヲ達スルヲナキニアラス又其事項ノ筋違ナルヤ否ヤ
 ハ其當路ノ者ニアラサレハ判別スル能ハサルヲアリ然テハ則チ縱
 令ヒ筋違ナル事ヲ記スルモ其外形ヲ官ヨリ發シタルモノ、如クセ
 ハ通常人ハ之レヲ官文書トシテ信ヲ置クナル可シ又今日許多ノ官
 吏ノ之アル中ニテ人民一般ニ其官吏ノ氏名ヲ記憶スルヲ得サルニ
 由リ縱令ヒ當該官吏ニアラサル者ノ氏名ヲ記スルモ通常人ハ亦之
 レヲ官文書トシテ信スルナル可シ夫レ斯ノ如クシハ其爲メニ一般
 ノ信用ヲ害スルヲ勿論ナリ故ニ余ハ問題ノ場合ノ如キ其外形官ヨ
 リ發シタルモノ、如ク爲シタル以上ハ官文書ヲ偽造シタルモノト
 シテ妨ナキモノトス

○第四節 私印私書ヲ偽造スル罪

私印私書モ亦權利義務ノ證據トナルモノニシテ大ニ世人ノ信用ニ關

スルモノナレハ立法者ハ其偽造ヲ爲シタル者ヲ官印及ヒ官文書偽造
 チ爲シタル者ノ次ニ列シタリ
 今此節ニハ私印私書ノ偽造トノミ掲クレ此節ヲ通覽スルハ左ノ
 二種ノ罪ヲ規定シタリ

一私印偽造及私書ノ偽造又ハ變造

二私印盜用

印章及ヒ文書ノ偽造又ハ盜用ノ罪ヲ組成スルノ要件ハ余輩既ニ官印
 及ヒ官文書ノ偽造罪ヲ説クニ當リテ之レヲ詳説シタレハ今此ニハ唯
 官ノ印章又ハ官文書ノ偽造ト相異ナルヲノミテ示サントス
 抑モ私印トハ官印ニ對スルノ稱ニシテ一私人ノ權利義務ヲ証スル爲
 メニ用フル印類ヲ云フ故ニ實印捺印及ヒ商業上用フル仕切判ノ如キ
 皆之レヲ私印トナス然レモ夫ノ書畫等ニ押用スル雅印ノ如キハ權利

義務ヲ証スル爲メニ用フルモノニアラサレハ此節ニ所謂ル私印ノ中ニ包含セサルナリ而シテ私印ハ官印ト相異ナリ唯偽造セシノミニテハ其罪ヲ完成セス他ニ仍ホ使用ノ要件ナカル可カラズ是唯偽造ノミニテハ未タ公害ヲ生スルニ至ラサルモノト見タルニ由ルナラン又私書ノ偽造罪ハ之レヲ官印又ハ官文書ノ偽造ニ比スレハ大ニ其刑ヲ輕クセリ是其公害ヲ爲スコト少ナケレハナリ

今我カ刑法ニ於テハ私書ノ種類ヲ三級ニ區別シ其刑ニ輕重ヲ爲セリ即チ左ノ如シ

- 一 爲替手形裏書ヲ以テ賣買ス可キ証書金額ト交換ス可キ約束手形
- 二 賣買貸借贈遺其他權利義務ニ關スル証書
- 三 其餘ノ私書

右第一種ノ証書ハ商業上ニ關係ヲ有シ又世ニ流通ヲ爲ス可キモノナレハ其偽造ニ由リテ生スル所ノ害ヤ大ナリ故ニ立法者ハ其偽造又ハ變造ヲ爲シテ行使シタル者ヲ輕懲役ニ處スルモノトセリ

第二種ノ証書ハ其効力唯結約者間ニ止マル可キモノナレハ其偽造ヲ爲シタルニ由リ生スル害モ亦前者ノ如ク大ナラス故ニ之カ偽造又ハ變造ヲ爲シテ行使シタル者ヲ四月以上四年以下ノ重禁錮ニ處シ四圓以上四十圓以下ノ罰金ヲ附加スルモノトセリ而シテ所謂ル其他權利義務ニ關スル証書トハ啻ニ財産上ノ權利義務ニ關スルノミナラス身分上ノ權利義務ニ關スルモノモ亦包含スルモノトス

第三種ノ書類ハ前二種ノ証書ヲ除ク外廣ク之レヲ包括セシメンカ爲メ掲ケタルモノナリト雖モ其書類ハ必ズ幾分歟公害ヲ爲ス可キ性質ヲ有スルモノニ限ラサル可カラズ否ラサレハ則チ刑法ヲ以テ支配ス

ルヲ得サルナリ而シテ前二者ヲ除ク外ノ書類ハ其害強テ大ナラサルヲ以テ之レヲ偽造又ハ變造シテ行使シタル者ヲ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス可キモノトセリ以下此節ニ就テ起リタル問題中其主要ナルモノヲ掲ケテ余輩ノ意見ヲ述ヘントス

問 第二百八條ニ他人ノ私印ヲ偽造シテ云々トアリ所謂ル他人トハ親屬外ノ人ヲ指ス乎

答 此ニ所謂ル他人トハ自己ヨリ對スルノ稱ニシテ親屬ナルト否トヲ問ハス苟モ人ノ私印ヲ偽造シタル場合ハ皆該條ヲ以テ支配ス可キモノトス

問 戸長役場ニ差出シタル印鑑ト相異ナル私印ヲ使用シタル者ハ私印偽造ヲ以テ罰スルヲ得サル乎

答 私印ナルモノハ各人ノ隨意ニ作クルヲ得可キモノニシテ其戸長役場ニ差出スハ畢竟事ヲ確實ニスルノ用ニ供シタルニ過キス故ニ其餘ノ印章ト雖モ其者ノ常ニ使用スルモノナレハ亦其者ノ印章ニ相違ナシ仍テ之レヲ目シテ偽造ト謂フ可カラズ然レモ若シ自己ノ平常用ヒサル所ノ印章ヲ以テ人ヲ欺キ財物ヲ詐取セシ等ノ事アレハ時トシテ詐欺取財ノ罪ヲ組成スルコトアルナリ

問 此ニ或ル有名ナル書家ノ筆跡ニ擬シ之レニ其書家ノ雅名ヲ記シタル者アリ是其餘ノ私書ヲ偽造シタル者ヲ以テ論ス可キ乎

答 余ノ考フル所ニ據レハ斯ノ如キ快樂ノ用ニ供スル者ハ刑法第二百十條ノ支配スル所ニアラスト信ス尤モ其偽書ヲ以テ眞書ナリトシテ高價ニ賣渡シタル等ノ事實アレハ詐欺取財ノ罪ヲ組成スル事アラシク然レモ偽書ヲ爲シタルノ一事ヲ以テ公害ヲ爲ス可キモノト

謂フヲ得ス且立法者ノ意果シテ此種ノ所爲ヲモ偽造罪ヲ以テ罰スルニ在レハ畫家ノ畫ヲ偽書シタル者モ亦罰ス可キ筈ナルニ敢テ之レヲ罰セサルモノハ斯ノ如キ遊戯ニ關スル書類ハ此中ニ包含セシメサルノ精神ナリト解セサルヲ得サルナリ

○第五節 免狀鑑札及ヒ疾病証書ヲ偽造スル罪

此節ニ規定スル所ノ罪之レヲ大別スレハ五種トナル左ノ如シ

- 一 官ノ免狀又ハ鑑札ヲ偽造シテ行使シタル罪
- 二 屬籍身分氏名ヲ詐稱シ其他詐僞ノ所爲ヲ以テ免狀鑑札ヲ受ケタル罪
- 三 官吏其情ヲ知テ免狀鑑札ヲ下付シタル罪
- 四 公務ヲ免カル可キ爲メ醫師ノ氏名ヲ用ヒ疾病証書ヲ偽造シテ行使シタル罪

五 醫師漏託ヲ受クテ詐僞ノ証書ヲ造リタル罪

右ニ掲クル第一種ノ罪ハ官文書偽造罪トナル可キモノナリ故ニ余ノ上ニ述ヘタル官文書偽造罪ヲ組成スルニ必要ナル條件ヲ具備スルニアラサレハ此罪モ亦組成セサルモノトス

右ニ述フル如ク第一種ノ罪ハ其性質官文書偽造罪ナルニモ揭ハラヌ我カ立法者ハ之レヲ官文書偽造罪ト同節中ニ規定セシテ今此ニ規定シタルモノハ何ソヤ是蓋シ其罪ノ社會ヲ害スルコト少ナキモノト認メタルニ由ル歟然レモ其性質ヨリ論スルキハ官文書偽造罪ト同節中ニ別ニ一個條ヲ設ケテ規定ス可キモノナリ

第二種ノ罪ハ其性質偽造罪トナル可キモノニアラス何トナレハ其免狀鑑札ヲ下付スルノ權アル官吏ノ職務上之レヲ作リタルモノナレハナリ故ニ此罪ノ如キ其性質ヨリ言ヘハ第八節身分ヲ詐稱スルノ罪ト

同節中ニ規定ス可キモノニ似タリ
 第三種ノ罪ハ其性質ヨリ言ヘハ第二種ノ罪ノ共犯ナリ故ニ亦第八節
 中ニ規定ス可キモノトス
 第四種ノ罪ハ一人ナル醫師ノ記ス可キ文書ヲ偽造シタルモノナレ
 ハ其性質私書偽造中ニ規定ス可キモノナリ
 第五種ノ罪ハ醫師自己ノ氏名ヲ以テ疾病證書ヲ作りタルモノナレ
 其疾病ニアラサルモノヲ疾病ナリト記シタルモノニシテ所謂ル無形
 上ノ私書偽造トナル可キモノナリ
 以上述フル如ク此節ノ罪ハ各他ニ包含ス可キ部分ナルヲ以テ別ニ之
 レカー節ヲ設クルヲ必要トセサル可シ故ニ余ハ敢テ此節ニ付詳細ノ
 説明ヲ費ヤサ、ルナリ

○第六節 偽証ノ罪

偽証ノ罪トナル所以ハ社會ノ信認ニ背キ裁判官ヲ欺キ且ツ害ヲ社會
 ニ生スルニ由ル而シテ此罪ヲ組成スルニハ左ノ四元素ヲ具備スルヲ
 必要トス

- 第一 証人トシテ裁判所ニ呼出サレタル者ナル事
- 第二 裁判所ニ向テ眞實ニ違フタル事實ヲ述ヘタル事
- 第三 其事實ノ訴訟事件ニ利害ノ關係ヲ及ボスモノナル事
- 第四 故ヲニ其事實ヲ曲ケタル事

以上四個ノ元素ノ偽証罪組成ニ必要ナル所以ヲ左ニ説明セントス
 (一) 偽証ノ罪ハ社會ノ信認ニ背クニ由リテ成立ツモノナレハ証人トシ
 テ裁判所ニ呼出サレタル者ニアラサレハ此罪ヲ犯スヲ得ス夫ノ事實
 参考人ノ如キハ固ヨリ信認ヲ社會ニ負フ所ノモノニアラサルヲ以テ
 縱令偽言ヲ吐クモ決シテ偽証罪ヲ組成セサルナリ然ルニ此ニ注意ス

可キコアリ我カ刑法ニ於テハ鑑定人及ヒ通事ノ爲メ呼出サレタル者
ハ之レヲ証人ト稱セサルモ其信認ヲ社會ニ負フニ至テハ同一ナリ故
ニ其刑モ亦同一ニセリ仍テ今余ノ所謂ル証人ナル語中ニハ是等ノモ
ノヲ包含スルモノト解ス可キナリ

(二)偽証罪ハ其裁判ノ曲直ヲ決スル場所ニ於テ之レヲ爲スカ故ニ罪ト
ナルモノナリ若夫レ裁判所外ニ於テ之レヲ爲スモ決シテ証言ノ性質
ヲ有セサルニ由リ縱令ヒ其言ノ眞實ニ違フモ此罪ヲ組成セサルナリ
(三)証人其事實ニ違フタルヲ裁判所ニ向テ陳述スルモ其事實ノ訴訟
事件ニ利害ノ關係ヲ有セサルハ毫モ其事ニ害ナキヲ以テ亦此罪ヲ
組成セス故ニ例ヘハ遊里ヨリ歸路殺害ノ所爲ヲ目撃セシ者証人トシ
テ呼出サレタル時其遊里ヨリ歸路ナルヲ言フテ憚カリ商用アリ
テ某所ニ行キタル歸路ナリト陳述スルモ決シテ偽証罪ヲ組成セサル

ナリ

(四)証人若シ自ラ錯誤シタルヨリ眞實ニ違フタルノ事實ヲ述フルモ其
心情惡ム可キモノナシ故ニ法律ハ唯其故ヲニ其事實ヲ曲ケタル場合
ニアラサレハ之レヲ罰スルヲ得サルナリ
上ニ列記シタル要件中裁判所ト稱スルモノハ刑事裁判所民事裁判所
商事裁判所及ヒ行政裁判所共ニ之レヲ包含スルト雖モ其事件ノ刑事
ニ關スルト其他ノ事件ニ關スルト其偽証ニ由リ生スル所ノ害ニ於テ
自ラ同一ナラサルモノアリ故ニ我カ刑法ニ於テハ其刑ヲ區別シ民事
商事又ハ行政裁判所ニ關シテ偽証ヲ爲シタルハ何等ノ區別ナク一
月以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス
ルモノトシ刑事ニ在テハ種々ノ場合ニ付テ之カ區別ヲ爲シ重キハ死
刑ニ及フコアリ輕キハ違警罪ニ止マルモノアリ其詳細ハ以下ニ之レ

ヲ説明セシ

今我カ刑法ニ於テ刑事ニ關スル偽証ヲ大別シテ被告人ヲ曲庇センカ
 爲メニスルモノト陷害センカ爲メニスルモノトノ二トナシテ其
 事件ノ重罪輕罪違警罪ノ別ニ由リテ又其刑ヲ區別セリ即チ左ノ如シ
 重罪ヲ曲庇スル爲メ偽証シタル者○二月以上二年以下ノ重禁錮ニ處
 シ四圓以上四十圓以下ノ罰金ヲ附加ス
 輕罪ヲ曲庇スル爲メ偽証シタル者○一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處
 シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス
 違警罪ヲ曲庇スル爲メ偽証シタル者○三日以上十日以下ノ拘留ニ處
 シ又ハ一圓以上一圓九十五錢以下ノ科料ニ處ス
 重罪ニ陷ラシムル爲メ偽証シタル者○二年以上五年以下ノ重禁錮ニ
 處シ十圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

輕罪ニ陷ラシムル爲メ偽証シタル者○六月以上二年以下ノ重禁錮ニ
 處シ四圓以上四十圓以下ノ罰金ヲ附加ス
 違警罪ニ陷ラシムル爲メ偽証シタル者○一月以上三月以下ノ重禁錮
 ニ處シ二圓以上十圓以下ノ罰金ヲ附加ス
 右ノ如ク區別シタル後立法者ハ又其偽証ニ由リ害ヲ生シタルキハ其
 害ノ多少ニ由リ幾分歎其刑ヲ重ニスルモノトセリ即チ曲庇ノ場合ニ
 於テ偽証ノ爲メ被告人正當ノ刑ヲ免カレタルキハ上ニ列記スル刑ニ
 照シ各一等ヲ加フルモノトシ又陷害ノ場合ニ於テ偽証ノ爲メ被告人
 刑ニ處セラレタルキハ左ノ區別ニ從ヒ上ニ列記シタル刑ヨリ更ニ重
 キ刑ヲ受ク可キモノトセリ
 一被告人ヲ死ニ陷ル、ノ目的ヲ以テ偽証シ被告人死刑ノ執行ヲ受
 ケタル時○死刑

二同上ノ目的ヲ以テ偽証シ被告人死刑ノ言渡ヲ受ケタルモ未タ執行セサル前發覺シタル時○無期徒刑
 三死ニ陥ル、ノ目的ニアラス偽証シ偽証ノ爲メ被告人死刑ノ執行ヲ受ケタル時○無期徒刑
 四同上ノ場合ニ於テ被告人未タ死刑ノ執行ヲ受ケサル前發覺シタル時○有期徒刑
 五偽証ノ爲メ被告人刑ニ處セラレ其執行ヲ終リ其刑偽証ノ刑ヨリ重キ時○被告人ノ受ケタル刑
 六偽証ノ爲メ被告人刑ニ處セラレ其執行中發覺シタル時○其現ニ經過シタル日數ニ照シテ反坐ノ刑期ヲ減スルモ偽証ノ刑ヨリ降スヲ得ス
 又立法者ハ其害ヲ未然ニ防カント欲シテ總則ニ掲ケタル自首減輕ノ

例ニ一ノ變例ヲ設ケ縱令ヒ偽証ヲ爲スモ裁判宣告ニ至ラサル前ニ自首シタル時ハ本刑ヲ免スルモノトセリ
 以上述ヘタル如ク我刑法ニ於テ曲庇ト陷害トヲ區別シ陷害ノ刑ヲ重クシタルモノハ其陷害ノ爲メニ爲ス所ノ偽証ハ其情惡ム可ク其害多クレハナリ抑モ曲庇ノ爲メニ偽証ヲ爲スモノハ或ハ利ノ爲メニ之ヲ爲スヲアリト雖モ多クハ被告人ヲ憫ムノ情ヨリ出テ、之ヲ爲スヲアリ之ヲ無辜ヲ罪セントスル者ニ比スレハ其情輕シト謂ハサルヲ得ス
 又曲庇ノ爲メニ偽証ヲ爲スニ由リテ生スル害ハ唯公權ヲ欺キ裁判ヲ齟齬セシムルニ在リ之ヲ各人ノ自由若クハ生命ヲ害シ併セテ社會ヲ害スル陷害ノ所爲ニ比スレハ其害少シトセサル可カラサルナリ是我立法者ノ其刑ニ輕重ヲ爲シタル所以ナリ
 以下此節ニ就テ起リタル問題中其主要ナルモノヲ掲ケテ余輩ノ意見

(刑法講義)

ヲ述ヘントス

二百二十八

問 刑法第二百十八條ニ重罪ヲ曲庇スル爲メ又ハ輕罪ヲ曲庇スル爲メトアリ又第二百二十條ニ重罪ニ陥ラシムル爲メ又ハ輕罪ニ陥ラシムル爲メトアリ其所謂ル重罪輕罪トハ加重減輕ヲ爲シタル結果ヲ以テ定ムル乎將タ其公訴ノ件名ニ付テ之レヲ定ムル乎

答 右ニ所謂ル重罪輕罪トハ其公訴ノ件名ニ付テ定ム可キモノナレハ重罪事件トシテ公訴ノ起リタル場合ニ之カ証人トシテ呼出サレタル者偽証ヲ爲シタルキハ減輕ニ由リ被告人輕罪ノ刑ニ處セラルルモ仍ホ重罪ニ付偽証ヲ爲シタルモノトナス可ク又輕罪事件トシテ公訴ノ起リタル場合ニ之カ証人トシテ呼出サレタル者偽証ヲ爲シタルキハ輕罪事件ニ付偽証ヲ爲シタルモノトナス可ク否ラスシテ其結果ニ由リ之レヲ定ムルモノトセン乎曲庇ノ爲メ被告人無罪

トナリシキハ偽証者ヲ罰スルヲ得サル如キ不都合ヲ生スルニ至ラ

問 第二百二十一條ニ被告人刑ニ處セラレタル後云々トアリ所謂ル處セラレタルトハ裁判言渡ヲ受ケタルトノ義乎將タ刑ノ執行ヲ受ケタルトノ義乎

答 我刑法ニ於テ處セラレタルト云ヘル語ヲ用フルノ屢之レアリ之レヲ佛文草案ニ就テ考証スレハ裁判宣告ノ義ヲ有スル「コンダム」ナリ「ミヨン」ナル語ヲ用フ而シテ今該條モ亦同一ノ語ヲ用ヒタリ今此沿革ニ照シ且第二百二十二條ニ亦處セラレタルト云ヘル語ヲ用ヒタル所ヨリ考フルキハ其所謂ル處セラレタルトハ宣告ヲ受ケタルトノ義ニ解セサル可カラス何トナレハ第二百二十二條ニ死刑ニ處セラレタル時ト云ヒ直ニ其未タ刑ヲ執行セサル前云々トアレハ處セ

ラレタルト云ヘル語ハ執行ヲ受ケサル者ニモ及フ明ナレハナリ
但シ宣告ヲ受ケタルモノトナスニハ其裁判ノ確定シタルヲ要ス
ルナリ

問 共犯人ノ一人証人トシテ呼出サレタルモ當時其共犯人中ノ一人
ナルヲ判然セサリシヲ以テ之レニ宣誓ヲ命シ且ツ証言ヲ爲サシメ
タルニ其者自己ノ罪ヲ蔽ハンカ爲メ偽証ヲ爲シタルハ仍ホ偽証
ノ罪ヲ以テ處分ス可キ乎

答 是嘗テ佛國ニ於テ學者ノ間ニ議論アリシ所ノモノナルカ學者過
半ノ説ハ偽証罪ヲ以テ論スルヲ得サルモノトセリ其理由ノ大略ハ
此場合ノ如キ証人タルノ外形ヲ具フルト雖モ其實証人タルノ資格
ヲ有スル者ニアラス且ツ其身ヲ保護セントスルハ人情ノ常ナルニ
之レニ偽証ノ責ヲ負ハシムルハ難キナ人ニ責ムルモノト謂ハサル

ヲ得スト謂フニ在リ若シ其偽証ノ罪ニ付キ刑ヲ宣告セサル以前ニ
共犯人中ノ一人ナルヲ發覺セシキハ此説ニ從フモ實際上何等ノ不
都合ヲ生スルヲナシト雖モ若シ偽証ノ罪ニ付キ刑ヲ宣告シ其言渡
ノ確定シタル後共犯人中ノ一人ナルヲ發覺セシキハ偽証ノ罪ニ付
テノ言渡ハ復タ之レヲ取消スノ道ナキヲ以テ共犯ノ罪ト數罪俱發
例ニ據リテ處分セラル、ニ至リ結局此二個ノ罪ヲ罰スルトナラ
ン然レモ此場合ノ如キハ被告人自ラ辯護ノ方法ヲ盡サ、ルニ由リ
其無罪トナル可キ事件ニ付キ有罪ノ言渡ヲ受ケタルモノナレハ法
律上之レヲ憫ムニ足ラサルモノトス仍テ余ハ其偽証ノ罪ニ付刑ノ
言渡ヲ爲サ、ル者共犯人中ノ一人ナルヲ發覺セシキハ過半ノ學者
ノ説ニ從ヒ偽証罪ヲ以テ論スルヲ得サルモノトス
問 我邦今日ニ在テ証人ニ宣誓ヲ爲サシムルハ獨リ刑事ニ止リ民事

商事等ニ於テハ之レヲ爲サシムルヲナシ然レモ若シ民事商事等ノ
裁判ニ關シ偽証ヲ爲シタル者アルモハ第二百二十三條ヲ以テ處分
スルヲ得可キ乎

答 我邦今日ニ在テ民事商事等ノ裁判ニハ証人ニ宣誓ヲ爲サシムル
ノ手續ナキヲ以テ事實參考人ト幾ト相異ナルナキカ如シト雖モ其
裁判官ニ心証ヲ起サシムルノ價格ニ至テハ縱令ヒ宣誓ノ式ナキモ
之カ式アル場合ト同一ニシテ事實參考人ノ比ニアラサルナリ且夫
レ民事商事等ノ裁判ニ付テハ刑事ト相異ナリ反對ノ證據ナキ限り
ハ裁判官其証人ノ証言ニ從ハサル可カラサルモノナレハ其証言ノ
力殊ニ大ナリ故ニ縱令ヒ今日宣誓ノ式ナキモ之カ爲メ証人ノ資格
ヲ變スルモノニアラス又其偽証ノ爲メニ生スルノ害ハ異ナラサル
ヲ以テ余ハ今日ト雖モ第二百二十三條ヲ適用シテ妨ナキモノト信

スルナリ

○第七節 度量衡ヲ偽造スル罪

夫レ度量衡ノ三者ハ物ノ分量ヲ確定スル爲メ必要ノ具ナレハ全國之
レヲ一定セサル可カラズ故ニ官ノ許可ヲ得タル者ニアラサレハ其製
造販賣ヲ爲スヲ得ス然ルニ若シ之カ偽造ヲ爲ス者アルニ於テハ爲メ
ニ世人ヲシテ度量衡ニ信ヲ置クヲ得サラシムルニ至ラン是此節ノ設
アル所以ナリ

此節ノ題目ニハ度量衡ヲ偽造スル罪トノミアレモ此節ヲ通覽スルモ
ハ左ノ四種ノ犯罪ヲ規定シタリ

- 一 度量衡偽造ノ罪
- 二 度量衡變造ノ罪
- 三 情ヲ知テ偽造變造ノ度量衡ヲ販賣セシ罪

四 定規ヲ増減シタル度量衡ヲ所有スルノ罪

度量衡偽造ノ罪ニ二種アリ一ハ則チ自ラ偽造シテ販賣シタル罪ニシテ一ハ則チ人ノ囑託ヲ受ケテ偽造シタル罪ナリ其第一種ノ罪ヲ組成スルニハ左ノ三條件ヲ具備スルヲ必要トス

第一 其外形ヲ真正ノ度量衡ニ擬シタル事

第二 度量衡規則ニ從ヒ檢査ヲ受ケサル事

第三 其度量衡ヲ販賣シタル事

右ニ掲ケタル三條件ヲ左ニ詳説セン

(一)其外形ヲ真正ノ度量衡ニ擬スルヲ必要トスル所以ハ蓋シ其外形ノ相似サルモノ例ヘハ楕ノ眞物ハ角形ナルニ圓形ニ造リタル如キハ何人モ其眞正ノ楕ナルヲ信スルナキヲ以テ楕ノ偽造ヲ爲シタルモノトスルヲ得サルニ由ル而シテ其外形ヲ擬シタルモノトナスニハ其外

形ヲ見テ人ノ眞物ト信スルニ足ル丈ケノ條件ヲ具ヘサル可カラズ夫ノ楕ノ如キ唯其形ノ角ナルノミヲ以テ足レリトセズ明治九年二月第十七號度量衡規則ノ雛形ニ相類シタルヲ必要トス加之ナラス眞正ノ度量衡ニハ必ス檢印ノアルヘキモノナレハ其檢印モ亦具備セサル可カラズト思考スルナリ然レモ定規ノ容量若クハ尺度ニ増減アルモ爲メニ外形ヲ擬シタルモトナスニ妨ナキナリ

(二)度量衡規則ニ據レハ度量衡ハ一定ノ製作所ニ於テ之レヲ製作スルモノトセリ縱令ヒ其製作所ニ以テ製作セシモノト雖モ若シ相當官吏ノ檢査ヲ受ケサル以上ハ其度量衡ヲ以テ眞正ノモノトナスヲ得ズ又其一定ノ製作所ニ於テ製造シタルモノニアラサレハ檢査ヲ爲シテ之レヲ許可スルノ等ナケレハ余ハ此罪ヲ組成スル第二ノ要件トシテ檢査ヲ受ケサル事ト云ヘル一ヲ掲ケタリ

三我カ刑法第二百二十七條ニ於テハ唯度量衡ヲ偽造シタルノミニテハ罪トセス之カ販賣ヲ爲スニ由リテ始メテ罪トナセリ是此第三ノ要件ヲ掲ケタル所以ナリ然レモ唯販賣トノミ掲ケタルヲ以テ交換贈與ヲ爲シタルモ又ハ自ラ不正ニ之レヲ使用スルモ我カ刑法ニ於テハ度量衡ノ偽造トシテ之レヲ罰スルヲ得ス然レモ若シ其偽造シタル度量衡ヲ使用シテ不正ノ利益ヲ得タルヲアレハ詐僞取財ノ罪ヲ組成スルアラシ

今ヤ第二種ノ度量衡偽造罪ヲ組成スルノ要件ヲ示スニ先クテ此ニ論決セサル可カラサルヲアリ我カ刑法第二百三十條ニハ人ノ囑託ヲ受ケテ度量衡ヲ偽造シ又ハ變造シタル者ハ其囑託シタル犯人ノ刑ニ照シ各一等ヲ減ス下此文ニ據レハ人ノ囑託ヲ受ケテ偽造シタル場合ニハ唯其偽造ノミヲ以テ罪ヲ組成スルカ如シト雖モ自ラ偽造シタル

者ハ販賣セサレハ罪ヲ組成セス而シテ人ノ囑託ヲ受ケテ偽造シタル者ハ偽造ノミニテ罪ヲ組成スルト云フ如キ區別ヲ生スルノ謂レナシ故ニ余ハ該條中犯人ノ刑ニ照シトノ一句アルヲ以テ其囑託ヲ爲セシ者ノ販賣ヲ爲セシト又ハ商賈農工ノ所有シタル時ニアラサレハ其偽造者ヲ罰スルヲ得サルモノト解スルヲ至當トナスナリ

因ニ云嘗テ草案ノ頃ニハ囑託ヲ受ケテ偽造變造シタル者ノ事ハ商賈農工ノ定規ヲ増減シタル度量衡ヲ所有シタル場合ニノミ同罪ヲ以テ罪スルヲトナセシカ今特別ノ一條トナシ殊ニ此節ノ末條ニ掲ケ敢テ之カ區別ヲ爲サ、リシニ由リ販賣ノ場合ト所有ノ場合トヲ問ハス共ニ及フモノトス

右ニ論決スル所ニ據レハ此第二種ノ偽造罪ヲ組成スルニハ左ノ四條件ヲ具備スルヲ必要トス

- 一 人ノ囑託ヲ受ケタル事
 - 二 其外形ヲ真正ノ度量衡ニ擬シタル事
 - 三 度量衡規則ニ從ヒ檢査ヲ受ケサル事
 - 四 囑託ヲ爲シタル者之レヲ販賣シ又ハ其囑託ヲ爲シタル農工商之レヲ所有シタル事
- 右ノ條件ニ付テハ別ニ説明ヲ要セサルヲ以テ直ニ度量衡變造罪ノ要件ヲ説カン
- 度量衡變造罪モ亦偽造ノ罪ノ如ク自ラ變造シテ販賣シタル者ト人ノ囑託ヲ受ケテ販賣シタル者トノ二種ニ區別セサル可カラス而シテ其第一種ノ變造罪ヲ組成スルニハ左ノ三條件ヲ具備スルヲ要ス
- 一 度量衡ノ定規ヲ増減シタル事
 - 二 真正ノ度量衡ニ就テ之レヲ爲シタル事

- 三 其度量衡ヲ販賣シタル事
- 又第二種ノ變造罪ヲ組成スルニハ左ノ條件ヲ具備スルヲ要ス
- 一 度量衡ノ定規ヲ増減シタル事
 - 二 真正ノ度量衡ニ就テ之レヲ爲シタル事
 - 三 人ノ囑託ヲ受ケテ之レヲ爲シタル事
 - 四 囑託ヲ爲シタル者之レヲ販賣シ又ハ其囑託ヲ爲シタル農工商之レヲ所有シタル事
- 右ニ掲ケタル變造罪ノ要件ニ付テハ別ニ説明ヲ要スルコトナキヲ以テ直ニ情ヲ知テ販賣セシ罪ノ要件ヲ説カン
- 情ヲ知リテ偽造變造ノ度量衡ヲ販賣シタル罪ヲ組成スルニハ左ノ三條件ヲ具備スルヲ要ス
- 一 偽造變造ノ情ヲ知リタル事

二 偽造變造ノ所爲ニ干與セザリシ事
 三 其度量衡ヲ販賣シタル事

右ニ掲クル三條件中此ニ説明ヲ要スルコトハ第二ノ條件ナリ抑モ此罪ニ付此條件ヲ必要トスルモノハ若シ其販賣ヲ爲セシモノニシテ偽造變造ノ所爲ニ干與セシキハ是偽造變造ノ共犯人ナリ故ニ第一又ハ第二ノ罪トナラン是余ノ此ニ第二ノ條件ヲ加ヘタル所以ナリ

又此ニ注意ス可キ一事アリ即チ第二百三十條即チ人ノ囑託ヲ受ケテ偽造變造シタル者ノ罪ヲ定メタル箇條ハ此節全体ヲ受ケタルモノナリト雖モ該條ハ實際此第三ノ罪ニ及フコトナシ何トナレハ其販賣ヲ爲セシ者人ニ囑託シテ之レヲ造ラシメシ平自ラ偽造又ハ變造ヲ爲サ、ルモノニ囑託シテ造ラシメタルカ故ニ偽造變造シテ販賣シタル者トナルニ由リ其囑託ヲ受ケテ造リタル者モ亦第一又ハ第二ノ罪ノ中ニ

入レハナリ

定規ヲ増減シタル度量衡所有ノ罪ヲ組成スルニハ左ノ三條件ヲ具備スルヲ要ス

- 一 定規ヲ増減シタル度量衡ナル事
- 二 商賈農工ノ之レヲ所有シタル事
- 三 商賈農工ノ其業務ニ用ヒン爲メニ備ヘタル事

右ノ條件ニ付テハ往々説明ヲ要スルコトアルヲ以テ順次左ニ之レヲ説明セン

(一) 嘗テ草案ノ頃ニハ偽造罪ニモ亦定規ヲ増減シタルコトヲ必要トセシカ修正ノ際之レヲ削除セラレ唯商賈農工ノ所有スル罪ニ付テノミ此條件ヲ保存セラレタリ抑モ偽造罪ニ付キ此條件ヲ削除セラレタルハ如何ナル理由ニ出テタル乎ハ余輩之レヲ確知スル能ハスト雖モ察ス

ルニ度量衡規則ヲ以テ其製作所及ヒ販賣所ヲ一定シタルニ擅マニ之レヲ製作シテ販賣スル者アルキハ其取締上甚タ困難ナルヲ以テ其定規ヲ増減セシト否トニ拘ハラズ之レヲ罰スルコトシタルナラン然レニ商賈農工ノ如キ畢竟其使用ニ供スルモノニシテ其度量衡ヲ販賣スルモノニアラサレハ定規ヲ増減シタルモノ、外之レヲ使用スルモ實際ニ害ヲ生スルコトナキモト思考シタルニ由ルナラン

(二)我カ立法者ノ特ニ商賈農工ニ限り定規ヲ増減シタル度量衡ヲ所有スル者ヲ罰スルコトナシタル所以ハ其餘ノ者ニ在テハ唯一家内ノ用ニ供スルニ過キサレハ縱令ヒ定規ヲ増減スル度量衡ヲ用ブルモ他ニ害ヲ及ホスコトナシ之レニ反シ商賈農工ニ在テハ其度量衡ヲ標準トシテ他人ト取引ヲ爲スモノナレハ唯不正ノ度量衡ヲ所有スルノミチ以テ既ニ危險ノ之アルモノナレハ特ニ立法者ノ之レヲ罰スルコトナシ

タルモノナリ

(三)余ノ前項ニ於テ講説シタル如ク我カ立法者ノ特ニ商賈農工ニ限り不正ノ度量衡ヲ所有スル者ヲ罰スル所以ハ是他人ト取引ヲ爲スノ用ニ供スルカ爲メナリ然ラハ則チ縱令ヒ商賈農工ト雖モ之レチ一家内ノ用ニ供スルハ社會ニ向テ何等ノ害モ之ナキニ由リ刑法以テ之レヲ罰スルノ必要アルコトナシ是余ノ特ニ其業務ニ用ヒンカ爲メニ備ヘタルコト必要トセシ所以ナリ

然ルニ此ニ注意ス可キコト三アリ左ニ之レヲ説明セン

其一 刑法第二百二十九條ニハ商賈農工ノ定規ヲ増減シタル度量衡ナルコト知リテ所有シタルト之レヲ知ラスシテ所有シタルトチ問ハサルモノ、如ク見フレモ若シ其定規ヲ増減シタル度量衡ナルコト知ラスシテ所有セシキハ所謂罪トナル可キ事實ヲ知ラサルモノナレ

ハ第七十七條第二項ニ由リテ無罪トセサル可カラサルナリ
 其二 第二百二十九條第二項ニ於テ其度量衡ヲ使用シテ利ヲ得タル者ハ詐欺取財ヲ以テ論ストノ明文ヲ掲ケタルニ由リ或ハ商賈農工ニアラサル者ノ之レヲ使用シテ不正ノ利益ヲ得タルヲアルモ詐欺取財ヲ以テ論スルヲ得サル乎ノ疑ヲ生スル者アラシ然レモ立法者ハ決シテ斯ノ如キ精神ヲ以テ此第二項ヲ掲ケタル者ニアラス即チ商賈農工ハ唯不正ノ度量衡ヲ所有スルノミチ以テ之レヲ罰スルカ故ニ其使用ニ由リ利ヲ得ルモ之カ結果トシテ之レヲ罰セサル乎ノ疑ヲ生スル者アラシトチ恐レテ特ニ此一項ヲ附加シタルモノナリ故ニ商賈農工ニアラサル者ト雖モ故ラニ不正ノ度量衡ヲ使用シテ利ヲ得タルハ詐欺取財ヲ以テ論セラレサル可カラサルヤ勿論ナリトス

其三 第二百二十九條第二項アルヲ以テ或ハ不正ノ度量衡ヲ使用シ

テ利ヲ得タルハ單ニ詐欺取財ノミチ以テ論シ不正ノ度量衡所有ノ罪ハ消滅スルモノナリトノ疑ヲ生スル者アラシ然レモ余ノ考フル所ニ據レハ不正ノ度量衡所有ノ罪ト詐欺取財ノ罪トハ其犯罪ノ性質ヲ異ニシ且其被害者ヲ異ニスル者ナレハ縱令詐欺取財ノ罪トナルモ爲メニ一旦成立チタル所有ノ罪ハ消滅スル者ニアラス仍テ余ハ數罪俱發例ニ由リテ處分セサル可カラサルモノトス尤モ詐欺取財ノ刑ハ第二百二十九條ノ重キヲ以テ通例此區別ヲ爲スノ益ナキカ如シト雖モ時トシテハ大ニ區別ノ益アルヲアリ即チ單ニ詐欺取財トナルモノナレハ第三百七十七條ニ掲ケル親屬間ニハ詐欺取財ヲ罰スルヲ得サルニ由リ商賈農工ニシテ不正ノ度量衡ヲ該條ノ親屬ニ對シテ使用シ之カ利ヲ得タルハ爲メニ所有ノ罪ヲモ免カル、ニ至ラン是豈ニ不正ト謂ハサルヲ得ンヤ是余ノ數罪俱發例ニ據ル可キモノト思考スル所

以ナリ

○第八節 身分ヲ詐稱スル罪

此節ニ規定スル所ノ罪ハ或ハ他ノ犯罪ノ豫備ノ爲メ之レヲ犯スヲア
 リ或ハ其罪跡ヲ蔽ハシ爲メ之レヲ犯スヲアリ又或ハ傲慢心ヨリ之レ
 ヲ犯スヲアリ唯此所有ノミニテハ社會ニ著シキ害ヲ爲スヲナキモ爲
 メニ社會ノ取締上ニ多少ノ妨害ヲ爲スモノナレハ立法者ハ之レヲ罰
 スルコトナシタルナリ然レモ之レヲ前數節ニ記スル所ノ犯罪ニ比ス
 レハ其犯人ノ道德ニ背クコト少ナク又其社會ニ生スル所ノ害モ大ナラ
 サレハ其刑モ從テ輕クシタリ

此節ノ題目ニハ身分ヲ詐稱スル罪トシタレモ此節ニ記スル所ハ唯身
 分ノ詐稱ニ止マラス即チ細別スレハ左ノ十種ノ罪トナルナリ

- 一 屬籍ヲ詐稱スル罪

- 二 身分ヲ詐稱スル罪
 - 三 氏名ヲ詐稱スル罪
 - 四 年齢ヲ詐稱スル罪
 - 五 職業ヲ詐稱スル罪
 - 六 官職ヲ詐稱スル罪
 - 七 位階ヲ詐稱スル罪
 - 八 官ノ服飾ヲ僭用スル罪
 - 九 官ノ徽章ヲ僭用スル罪
 - 十 勳章ヲ僭用スル罪
- 屬籍ナル語ニ付テハ我邦刑法ノ解釋者中種々ノ說ヲ爲ス者アレモ余
 ハ所謂屬籍ナル語ヲ住所ノ義ニ解スルヲ至當トナスナリ即チ自己
 ノ戶籍アル地名番號等ヲ詐稱セシ者ヲ以テ屬籍ヲ詐稱セシ者トナス

ナリ
 身分ナル語ハ或ハ親子兄弟夫婦等ノ分限ヲ指ス者ナリト解スル者アレ
 レモ余ハ華士族平民及ヒ戸主子弟等ノ分限ノ如キ公式上官署ニ對シ
 上申スルノ必要ナル分限ニ限リテ此中ニ包含スルモノト信スルナリ
 否ラサレハ則チ之レヲ詐稱スルモ決シテ取締上害ヲ生スルコトアラサ
 レハナリ
 上ニ列記シタル第一ヨリ第五ニ至ルマテノ罪ハ官署ニ對シテ詐稱シ
 タル者ニアラサレハ之レヲ罰セス是其一私人ニ對シテ詐稱スル如キ
 ハ社會ノ取締上ニ害ヲ及ホス可キモノニアラサレハ之レヲ罰スルノ
 必要ナキモノト見タルニ由ル之レニ反シ第六ヨリ第十ニ至ルマテノ
 罪ハ之レヲ詐稱シ之レヲ僭用スルノ一事ヲ以テ既ニ官ヲ蔑如シタル
 者トナスニ足ルヲ以テ官ニ對スルト一私人ニ對スルトヲ問ハス之レ

ヲ罰スルモノトス但シ自己ノ家屋内ニテ密ガニ之レヲ用ヒタル如キ
 ハ未ダ以テ僭用ノ罪ヲ組成セス是社會ニ對シテ何等ノ害ヲ生セサレ
 ハナリ然レモ縱令ヒ之レヲ一家内ニテ用フルモ他人ノ見聞ヲ憚カラ
 スシテ用フルモハ之レヲ罰セサルヲ得サルナリ
 此故ニ第一ヨリ第五ニ至ルマテノ罪ヲ組成スルニハ左ノ三條件ヲ具
 備スルヲ必要トス

- 一 官署ニ對スル事
- 二 故ラニ詐稱スル事但シ文書ヲ以テスルト言語ヲ以テスルトヲ問ハス
- 三 其詐稱セシ事柄ノ第一ヨリ第五ニ至ルマテ列記シタル中ノ一ナル事

又第六及ヒ第七ノ罪ヲ組成スルニハ左ノ三條件ヲ具備スル必要トス

- 一 故ヲニ詐稱スル事
 - 二 其詐稱セシ事柄ノ現政府ニ用フル官職又ハ位階ナル事
 - 三 外人ニ對シテ之レヲ爲ス事
- 右ニ列記シタル要件中第二及ヒ第三ノ要件ニ付一言此ニ説明セサル可カラサルコアリ即チ第二ノ要件中余ノ特ニ現政府ニ用フルト云ヘル一句ヲ附記シタルモノハ是其現政府ニ於テ用フルモノニアラサレハ之レヲ詐稱スルモ何等ノ害アルコトナケレハナリ又第三ノ要件トシテ特ニ外人ニ對スル事ヲ要セシモノハ其家族間ニテ詐稱スル如キハ爲メニ公害ヲ爲ス可キモノニアラサレハナリ
- 又第八及ヒ第九ノ罪ヲ組成スルニハ左ノ三條件ヲ具備スルヲ必要トス
- 一 官ニ於テ現ニ用フル所ノ服飾徽章ナル事

二 其之レヲ用フルノ權ナク又ハ其權外ニ出テ、之レヲ用ヒタル事

三 公然之レヲ用フル事

又第十ノ罪ヲ組成スルニハ左ノ三條件ヲ具備スルヲ必要トス

- 一 内外國ニ於テ嘗テ授與セシコトアル乎又ハ現ニ授與スル所ノ勳章ニ擬シタル物又ハ其眞物ナル事

- 二 之レヲ用フルノ權ナク又ハ其權外ニ出テ、之レヲ用ヒタル事
- 三 公然之レヲ佩用スル事

以上此節ニ規定スル罪ヲ組成スルノ要件ヲ述ヘタレハ以下此節ニ付テ起リタル問題中其主要ナルモノヲ掲ケテ余輩ノ意見ヲ附記セントス

問 刑事被告人紐問ノ際屬籍身分氏名等ヲ詐稱セシ時ニハ亦屬籍身

タル節ニハ之レヲ稱シテ變造トナセシモノナリ又人ヨリ投票ヲ記スルノ依頼ヲ受ケタル者其人ノ無筆ナルニ乗シ若クハ其人ノ現在セサルヲ奇貨トシ本人ノ指示シタル以外ノ人ヲ投票中ニ記シタル場合ノ如キは無形上ノ偽造ナリ

投票ノ數ヲ増減スルトハ其現ニ集リタル投票ヲ抜キ差シスルノ所爲ニシテ其害ヤ偽造ト相異ナルナシ何トナレハ之カ爲メ公衆ノ信用厚キ者ニシテ其選舉ニ當ラス其信用ノ乏シキ者却テ當選スルノ害アレハナリ

右ニ述ヘタル偽造罪及ヒ投票ノ數ヲ増減スルノ罪ハ之レヲ犯シタル者ノ分限ニ由リテ其刑ヲ異ニス即チ通常人ノ之レヲ犯シタルハ一月以上一年以下ノ輕禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス可キモノナレト投票ヲ檢査シ及ヒ其數ヲ計算スル者ニシテ此罪ヲ犯

シタル時ハ六月以上三年以下ノ輕禁錮ニ處シ四圓以上四十圓以下ノ罰金ヲ附加ス可キモノトナリ又調書ヲ造リ投票ノ結局ヲ報告スル者ニシテ此罪ヲ犯シタルハ一年以上五年以下ノ輕禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス可キモノトナル夫レ投票ヲ檢査シ及ヒ其數ヲ計算スルノ任アル者ニ在テ此罪ヲ犯シタルハ社會ノ信任ニ背キ其情ヤ惡ム可ク又是等ノ者ニ在テハ之レヲ犯スル容易ナレハ其害ヤ大ナリ是通常人ノ犯シタル時ヨリ其刑ヲ重クセシ所以ナリ又投票ノ調書ヲ造リ之カ結局ヲ報告スル者ノ此罪ヲ犯シタルハ之カ檢査ヲ爲シ及ヒ其數ヲ計算スル者ヨリ其刑ヲ重クシタル所以ハ蓋シ其結局ヲ報告スルノ所爲ハ公選最終ノ所爲ニシテ一ダヒ其報告ヲ爲シタル上ハ投票ハ廢滅ニ屬スルニ由リ其報告者ノ奸策ヲ監査スルル難ク又其者ニ在テ之レヲ犯スル容易ナレハ嚴刑以テ之カ犯罪ヲ未然ニ

分氏名等ヲ詐稱シタル者トシテ之レヲ罰ス可キ乎

答 此問題ニ付テハ世上既ニ議論アリ或ハ被告人辯護權ヲ行フタルモノナレハ之レヲ罰スルヲ得スト主張スル者アリ或ハ己レノ罪ヲ免カレントスルハ人情ノ常ナレハ縱令ヒ屬籍等ヲ詐稱スルモ之レヲ罰スルヲ得スト主張スル者アリ又或ハ被告人ト雖モ第二百三十一條ニ於テ別ニ區別セサル以上ハ之レヲ罰セサル可カラスト主張スル者アリ余ハ此最後ノ說ニ從ヒ被告人ト雖モ之レヲ罰セサル可カラストノ說ヲ採ラントス蓋シ辯護ナル者ハ法律ニ禁セサル所ニ止マルニ由リテ一ノ權利トナルモノナリ若シ夫レ不正ノ所爲ヲ以テ己レヲ辯護セントスル如キハ法律上之レヲ目シテ權利トナスヲ得サルナリ今問題ノ場合ノ如キ裁判官ヲ欺キ裁判事務ニ錯雜ヲ來サシムル如キハ決シテ之レヲ辯護權内ノ所爲ト謂フヲ得サルナリ

又己レノ罪ヲ免カレントスルハ人情ノ常ナルヲ以テ之レヲ罰スルヲ得ストセン乎獨リ被告人ニ限ラス己レノ罪ヲ蔽ハシカ爲メ屬籍等ヲ詐稱シタル者ハ皆之レヲ罰スルヲ得サル可シ果シテ斯ノ如クナレハ第二百三十一條ハ實際幾ト徒法ニ屬ス可シ何トトレハ此種ノ詐稱ヲ爲ス者ハ大約皆眞實ノ事ヲ述フレハ己レニ不利ナル事情ノ之レアル者ナレハナリ又被告人ト雖モ巧ミニ其年齡等ヲ詐リシ爲メ或ハ正當ノ刑ヲ免カル、トアリ此場合ニ於テ其所爲社會ニ害ナキモノトスル乎余ハ之レヲ信セサルナリ又自己ノ惡事ヲ蔽ハシカ爲メ屬籍等ヲ詐稱スル者アルキハ之カ爲メ犯人ノ搜索ニ害アルト尠少ナラス而モ仍ホ社會ノ之レヲ罰スル能ハサルノ理ハ萬々之ナカル可シ故ニ余ハ問題ノ場合ノ如キ第二百三十一條ヲ適用シテ毫モ妨ナキモノト信スルナリ

問 第二百三十一條ハ自己ノ屬籍等ヲ詐稱セシ場合ニ限り他人ノ屬籍等ヲ詐稱シタルキハ之レヲ適用スルヲ得サル乎

答 自己ノ屬籍等ヲ詐稱セシニアラサルモ官署ニ對シテ届出ツルノ責アル者之カ詐稱ヲ爲シタルキハ該條ヲ適用スルヲ得可キモノトス例ヘハ死去ノ届ヲ爲スノ義務アル者其死者ノ氏名年齢等ヲ故ラニ詐稱セシ場合ノ如キ爲メニ取締上害ヲ生スルヲ以テ必ス之レヲ罰セサルヲ得サルナリ

○第九節 公選ノ投票ヲ偽造スル罪

凡ソ投票ヲ以テ人ヲ選舉スル所以ハ是公衆ノ信用ヲ試ミルモノナリ然ルニ若シ其投票ヲ偽造スル者アルキハ大ニ公衆ノ信用ヲ害スルニ至ルヤ必然ナリ是此節ノ設アル所以ナリ然レモ此節ヲ以テ支配ス可キモノハ公事ニ關シテ人ヲ選舉スル場合ニ限ル其私事ニ關シテ人ヲ

選舉スル場合ハ此節ニ包含セサルナリ今我邦ニ於テ公事ニ關シテ人ヲ選舉スル事ハ府縣會議員町村區會議員戶長等ノ如キ專ラ政治上ニ關スル人ヲ選舉スル場合ニ之レヲ用フルナリ

今此節ニ規定スル罪ヲ細別スレハ左ノ五種トナル

- 一 投票ヲ偽造スル罪
 - 二 投票ノ數ヲ増減スル罪
 - 三 賄賂ヲ以テ投票ヲ爲サシメタル罪
 - 四 賄賂ヲ受ケテ投票ヲ爲シタル罪
 - 五 調書ヲ造リ投票ノ結局ヲ報告スル者詐僞ノ所爲ヲ行フタル罪
- 投票ヲ偽造スルト云ヘル語ハ有形ノ偽造及ヒ無形ノ偽造共ニ包含ス即チ現ニ人ノ爲シタル投票中ノ氏名ヲ改メ若クハ之レヲ塗抹シテ其意ヲ曖昧ナラシムル如キハ有形上ノ偽造ニシテ証書偽造罪ヲ規定シ

タル節ニハ之レヲ稱シテ變造トナセシモノナリ又人ヨリ投票ヲ記スルノ依頼ヲ受ケタル者其人ノ無筆ナルニ乗シ若クハ其人ノ現在セサルヲ奇貨トシ本人ノ指示シタル以外ノ人ヲ投票中ニ記シタル場合ノ如キは無形上ノ偽造ナリ

投票ノ數ヲ増減スルトハ其現ニ集リタル投票ヲ抜キ差シスルノ所爲ニシテ其害ヤ偽造ト相異ナルナシ何トナレハ之カ爲メ公衆ノ信用厚キ者ニシテ其選舉ニ當ラス其信用ノ乏シキ者却テ當選スルノ害アレハナリ

右ニ述ヘタル偽造罪及ヒ投票ノ數ヲ増減スルノ罪ハ之レヲ犯シタル者ノ分限ニ由リテ其刑ヲ異ニス即チ通常人ノ之レヲ犯シタルハ一月以上一年以下ノ輕禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス可キモノナレト投票ヲ檢査シ及ヒ其數ヲ計算スル者ニシテ此罪ヲ犯

シタル時ハ六月以上三年以下ノ輕禁錮ニ處シ四圓以上四十圓以下ノ罰金ヲ附加ス可キモノトナリ又調書ヲ造リ投票ノ結局ヲ報告スル者ニシテ此罪ヲ犯シタルハ一年以上五年以下ノ輕禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス可キモノトナル夫レ投票ヲ檢査シ及ヒ其數ヲ計算スルノ任アル者ニ在テ此罪ヲ犯シタルハ社會ノ信任ニ背キ其情ヤ惡ム可ク又是等ノ者ニ在テハ之レヲ犯スチ容易ナレハ其害ヤ大ナリ是通常人ノ犯シタル時ヨリ其刑ヲ重クセシ所以ナリ又投票ノ調書ヲ造リ之カ結局ヲ報告スル者ノ此罪ヲ犯シタルハ之カ檢査ヲ爲シ及ヒ其數ヲ計算スル者ヨリ其刑ヲ重クシタル所以ハ蓋シ其結局ヲ報告スルノ所爲ハ公選最終ノ所爲ニシテ一タヒ其報告ヲ爲シタル上ハ投票ハ廢滅ニ屬スルニ由リ其報告者ノ奸策ヲ監査スルチ難ク又其者ニ在テ之レヲ犯スチ容易ナレハ嚴刑以テ之カ犯罪ヲ未然ニ

防キタルモノナリ
 賄賂ヲ以テ投票ヲ爲サシムル者ヲ罰スル所以ハ蓋シ金圓ヲ以テ公職
 ヲ購ハントスル其所爲ヤ卑劣ニシテ此習慣ノ行ハル、キハ忽チ社會
 ノ風俗ヲ害スルニ至リ且ツ社會ノ信任ナキ者ニシテ其選舉ニ當ル如
 キコアレハ各人其處置ニ服セス爲メニ公益ヲ害スルヲ尠少ナラサル
 ナリ以テナリ又賄賂ヲ受ケテ投票ヲ爲シタル者ヲ罰スル所以ハ蓋シ選
 舉ヲ爲スノ權アル者ハ公平無私ノ心ヲ以テ相當ノ人ヲ選舉ス可キニ
 利ノ爲メニ己レノ思想ヲ曲ケ不適任ノ人ヲ選舉スル如キハ亦卑劣ノ
 所爲ニシテ其害モ亦大ナルニ由ル面シテ此二種ノ罪ハ夫ノ通常人ノ
 投票ヲ偽造シ又ハ其數ヲ増減シタル者ヨリ其刑ヲ重クシ二月以上二
 年以下ノ輕禁錮ニ處シ三圓以上三十圓以下ノ罰金ニ處スルモノトシ
 タル所以ハ是此種ノ所爲ハ之レヲ犯スニ易クシテ其之レヲ監査スル

ルヲ容易ナラサルヲ以テナリ
 調書ヲ作り投票ノ結局ヲ報告スルノ任アル者ハ唯投票ノ數ヲ増減シ
 又ハ投票ヲ偽造シタル時之レヲ罰スルノミナラス苟モ詐僞ノ所爲ヲ
 以テ調書ヲ造リタル時ハ亦同一ノ刑ニ處セラル、モノトセリ

〔附言〕此節ニ規定スル犯罪組成ノ要素ハ余輩ノ説明ヲ俟タス條文ヲ
 一覽スレハ自ラ明ナルニ由リ此ニ之レヲ略ス

○第五章 健康ヲ害スル罪

此章ニ規定スル所ハ專ラ一般公衆ノ健康ヲ害スル罪ニシテ一人一己
 ノ健康ヲ害スルノ罪ニアラス抑モ國內ノ健康ハ一國ノ盛衰ニ關係ヲ
 及ホス、大ナルモノナレハ苟モ之レヲ害スル者アレハ社會之レヲ嚴
 罰セサル可カラス是此章ノ設アル所以ナリ

○第一節 阿片烟ニ關スル罪

(刑法講義)

夫レ人ノ善ニ遷リ難クシテ惡ニ慣レ易キハ世ノ通患ナリ而シテ阿片烟ナルモノハ其性質大ニ健康ヲ害スルモノナルモ之レヲ吸食スレハ頗ル口ニ善味ヲ感スルニ由リ夫ノ支那人ノ如キ常ニ之レヲ吸食シテ已マス爲メニ害ヲ其國ニ流シタルト尠少ナラサルナリ我邦ノ如キ夙トニ阿片烟ヲ以テ應禁物トナセシコ由リ幸ニ之カ害ヲ蒙ムルニ至ラサルモ若シ其法ニ背ク者アルニ當リ嚴ニ之レヲ罰セサルハ其惡風忽チ全國ニ傳ハルニ至ラン是此節ヲ設ケ殊ニ嚴刑ヲ以テ其犯罪者ヲ罰スル所以ナリ

今此節ニ規定スル犯罪ヲ細別スルキハ左ノ十二トナル

- 一 阿片烟輸入ノ罪
- 二 阿片烟製造ノ罪
- 三 阿片烟販賣ノ罪

- 四 阿片烟吸食ノ器具ヲ輸入スル罪
 - 五 阿片烟吸食ノ器具ヲ製造スル罪
 - 六 阿片烟吸食ノ器具ヲ販賣スル罪
 - 七 税關官吏情ヲ知テ阿片烟及ヒ其器具ヲ輸入セシメタル罪
 - 八 阿片烟ヲ吸食スル爲メ房屋ヲ給與シテ利ヲ圖ル罪
 - 九 人ヲ引誘シテ阿片烟ヲ吸食セシメタル罪
 - 十 阿片烟吸食ノ罪
 - 十一 阿片烟及ヒ吸食ノ器具ヲ所有スル罪
 - 十二 阿片烟及ヒ吸食ノ器具ヲ受寄スルノ罪
- 右ニ列記シタル第一第二及ヒ第三ノ罪ヲ犯シタル者ハ有期徒刑ニ處スルモノトシ第四第五第六第八及ヒ第九ノ罪ヲ犯シタル者ハ輕懲役ニ處スルモノトシ第七ノ罪ヲ犯シタル者ハ阿片烟ニ係ル時ハ無期徒刑

刑ニ處シ吸食ノ器具ニ係ル時ハ重懲役ニ處スルモノトシ第十ノ罪ヲ犯シタル者ハ二年以上三年以下ノ重禁錮ニ處スル者トシ第十一及第十二ノ罪ヲ犯シタル者ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處スル者トセリ

右ニ述ヘタル如ク我カ刑法ニ於テハ阿片烟ヲ輸入シ製造シ若クハ販賣スル者ノ刑ヲ最モ重シクテ有期徒刑ニ處スルモノトシ之カ吸食ヲ爲シタル者ハ僅カニ輕罪ノ刑ニ止メタル者ハ是其思害ノ源ヲ絶タンカ爲メナリ蓋シ此種ノ罪ハ畢竟其有害ノ物質アルニ由リテ人ニ吸食ノ望ヲ懷カシムルモノナレハ其物質ヲ我邦ニ現出セシメタル者ハ其情最モ惡ム可ク其害最モ大ナリ是其刑ヲ重クシタル所以ナリ又阿片烟及ヒ吸食ノ器具ハ元來所有ヲ禁スル者ナレハ是一ノ應禁物ナリ故ニ其何人ノ所有ニ係ルモ總テ之レヲ沒収スルヲ得可キナリ

○第二節 飲料ノ淨水ヲ汚穢スル罪

飲用水ハ實ニ人ノ健康ニ關係ヲ有スル者ナレハ極メテ之レヲ清潔ナラシメサル可カラズ然ルニ若シ其淨水ヲ汚穢スル者アレハ未タ忽チニ害ヲ生スルニ至ラサルモ其結果自ラ害ヲ生シ得可キモノナレハ嚴ニ之レヲ罰セサル可カラズ況ンヤ現ニ人身ニ害ヲ生セシメタル者チヤ是此節ノ妨ケアル所以ナリ

今此節ニ規定スル罪ニ二種アリ左ノ如シ

- 一 人ノ飲料ニ供スル淨水ヲ汚穢シテ用フル能ハサルニ至ラシメタル罪
- 二 人ノ健康ヲ害ス可キ物品ヲ用ヒテ水質ヲ變シ又ハ腐敗セシメタル罪

其第一ノ罪ヲ組成スルニハ左ノ三條件ヲ具備スルヲ必要トス

一 人ノ飲料ニ供スル淨水ナル事
 二 之レヲ汚穢スル事
 三 之レヲ用フル能ハサルニ至ラシメタル事
 右ニ掲クル第一ノ條件ヲ必要トスルニ由リ獸類ノ飲料ニ供スル水ヲ汚穢スルモ未ダ以テ此罪ヲ組成セズ又第三ノ條件ヲ必要トスルニ由リ縱令人ノ飲料ノ淨水ヲ汚穢スルモ飲料ニ堪ヘサラシムルニアラサレハ亦此罪ヲ組成セサルナリ
 又第二ノ罪ヲ組所スルニハ左ノ三條件ヲ具備スルヲ必要トス
 一 人ノ健康ヲ害ス可キ物品ヲ用ヒタル事
 二 水質ヲ變シ又ハ腐敗セシメタル事
 三 人ノ飲料ニ供スル淨水ナル事
 右ニ掲クル第三ノ條件ハ條文中明ナラサルモ此節ノ題目ニ飲料ノ淨

水ヲ汚穢スルノ罪トアリ且第二ノ罪ハ第一ノ罪ヨリ其刑ヲ重クシタル立法者ノ精神ヨリ推スルハ亦此第三ノ條件ヲ具備セサル可カラスト思考スルナリ
 右ニ掲ケタル第一ノ罪ハ淨水ヲ汚穢シテ用フル能ハサルニ至ラシメタルモノニシテ人ノ必須ノ飲料ヲ欠乏セシムルニ由リテ罪トナルモノナリ然ルニ第二ノ罪ハ人ノ健康ヲ害ス可キ物品ヲ用ヒタルモノナレハ嘗ニ其需用ヲ欠カシメタルノミナラス其危害ヤ殊ニ甚シ此故ニ我立法者ハ其刑ニ輕重ヲ爲シ第一ノ罪ハ十一日以上一月以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上五圓以下ノ罰金ヲ附加スルニ止メタレ且第二ノ罪ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ三圓以上三十圓以下ノ罰金ヲ附加スルモノトセリ
 又人ノ健康ヲ害ス可キ物品ヲ用ヒ水質ヲ變シ又ハ腐敗セシメタルノ

結果人ヲ疾病又ハ死ニ致シタル時ハ毆打創傷ノ各本條ニ照シ重キニ從テ處斷スルモノトセリ然レモ初メヨリ殺意アリテ毒物ヲ飲料ノ水ニ投シタル時ハ毒殺ヲ以テ論セサル可カラズ故ニ殺意ナキ場合ニ限リ此節ノ罪ヲ組成スルモノト解セサルヲ得サルナリ

最後ニ一ノ注意ス可キコトアリ即チ此節ニ掲ケタル罪ハ有意犯ナルヲ以テ故ラニ淨水ヲ汚穢シタル者ニアラサレハ第一ノ罪ヲ組成セサルコト明ナリト雖モ其果シテ用フル能ハサルニ至リタルト否トハ結果ヨリ觀察ス可キモノナレハ必スシモ需用ヲ欠カシムルノ目的ヲ以テ之レヲ爲スヲ必要トセス又人ノ健康ヲ害ス可キ物品ナルコト知リテ故ラニ飲料ノ水ニ混シタル者ニアラサレハ第二ノ罪ヲ組成セサルコト明ナリト雖モ其水質ヲ變シ又ハ腐敗セシメタルト否トハ亦其結果ヨリ觀察ス可キモノナレハ初メヨリ水質ヲ變シ又ハ腐敗セシムルノ目的

ヲ以テ爲サ、ルモ此罪ヲ組成スルノ妨ケトナラサルナリ

○第三節 傳染病豫防規則ニ關スル罪

傳染病ノ種類甚タ多ク一々枚擧ニ遑アラズ且ツ其病ノ果シテ傳染ス可キ性質ヲ有スル者ナルヤ否ヤハ醫學上ノ問題ナレハ立法者モ此節ニ於テハ敢テ傳染病ノ種類ヲ示サズ總テ之レヲ特別ノ規則ニ譲リ今此節ニ於テハ特別ノ規則ヲ以テ定メタル所ニ背キタル者ヲ罰スルノ條文ヲ掲クルニ止メタリ

抑モ傳染病ナルモノハ其種類ニ由リテ自ラ其害ニ輕重アルモ要スルニ其傳播感染ノ速カナルモノナレハ各人皆之カ豫防ニ注意シ其害ヲ避ケサル可カラズ然ルニ若シ之カ豫防ヲ怠ル者アルニ於テハ啻ニ其身ヲ害スルノミナラス爲メニ公衆ヲ害スルニ至ル故ニ刑罰以テ豫防規則ニ背ク者ヲ罰セサル可カラサルナリ

今此節ニ規定スル罪ニ四種アリ左ノ如シ

- 一 傳染病豫防規則ニ背キ入港ノ船舶ヨリ上陸シタル罪
- 二 同上ノ規則ニ背キ入港ノ船舶ヨリ陸地ニ運搬シタル罪
- 三 傳染病流行ノ際豫防規則ニ背キ流行地方ヨリ他所ニ出テタル罪
- 四 獸類ノ傳染病流行ノ際豫防規則ニ背キ獸類ヲ他所ニ出シタル罪

右第一及第二ノ罪ヲ組成スルニハ左ノ二條件ヲ具備スルヲ必要トス

- 一 傳染病豫防規則ニ上陸又ハ陸揚ヲ禁シタル事
- 二 其規則ニ背キ上陸又ハ陸揚シタル事

此第一及ヒ第二ノ罪ヲ起シタル者ハ一月以上一年以下ノ輕禁錮ニ處シ又ハ二十圓以上二百圓以下ノ罰金ニ處セラル可キモノニシテ船長

ノ自ラ之レヲ犯シタル時又ハ人ノ犯スヲ知テ制セサル時ハ上ニ掲クル所ノ刑ヨリ一等ヲ加フ可キモノトス

又第三ノ罪ヲ組成スルニハ左ノ四條件ヲ具備スルヲ必要トス

- 一 傳染病豫防規則ニ於テ他所ニ出ツルヲ禁シタル事
- 二 傳染病流行地方ト定メラレタル事
- 三 流行地方ヨリ他所ニ出テタル事
- 四 其出テタルハ傳染病流行ノ際ナル事

此第三ノ罪ハ十五日以上六月以下ノ輕禁錮ニ處シ又ハ十圓以上百圓以下ノ罰金ニ處セラル可キモノトス

又第四ノ罪ヲ組成スルニハ左ノ四條件ヲ具備スルヲ必要トス

- 一 傳染病豫防規則ニ他所ニ出スヲ禁シタル事
- 二 獸類傳染病流行地方ノ定メラレタル事

三 流行地方ヨリ他所ニ出シタ事

四 其之レヲ出シタルハ獸類傳染病流行ノ際ナル事

此第四ノ罪ハ十一日以上二月以下ノ輕禁錮ニ處シ又ハ五圓以上五十圓以下ノ罰金ニ處セラル可キモノトス

此節ニ付キ一ノ注意ス可キ事アリ即チ此節ノ罪ハ裁判官ノ意見ヲ以テ或ハ之レヲ輕禁錮ニ處シ或ハ之レヲ罰金ニ處スルヲ自由ナリトス是此節ノ罪ハ專ラ公益ヲ保護センカ爲メ罰スルモノニシテ其心情ニ於テハ深ク惡ム可キ所アラサレハナリ

○第四節 危害品及ヒ健康ヲ害ス可キ物品製造ノ規則ニ關スル罪
此節ノ題目ニ掲ケタル危害品トハ火藥硝石々油其他爆發スルノ恐アル物品ヲ云フ夫レ是等ノ物品ハ人命ヲ害スルニ至ルノ恐アレハ特ニ取締ノ規則ヲ設ケテ豫メ其害ヲ防キタリ然ルニ若シ之レニ違背スル

スル者アレハ爲メニ生スル所ノ危險少ナカラス是此節ニ於テ之カ刑罰ヲ規定シタル所以ナリ

又此節ノ題目ニ掲ケタル健康ヲ害ス可キ物品トハ如何ナル物品ヲ謂フ乎今之カ文字ニ拘泥スルキハ人ノ健康ニ害アル物品ハ之レヲ製造スルニ付キ近隣ノ者ニ害ヲ與フルノ恐ナキト雖モ總テ此中ニ包含シ而シテ其物品ノ人ノ健康ニ害ナキハ之レヲ製造スルニ付キ或ハ惡臭ヲ發シ或ハ惡烟ヲ散シ之カ爲メ近隣ノ者ヲ害スルノ恐アルト雖モ此中ニ包含セサルカ如シ然レモ佛文章案ニ照スルハ此節ノ題目ハ危害ヲ生シ又ハ健康ヲ害ス可キ製造所ニ關スル規則ニ背キタル罪トアリ因是觀之ハ刑法起草者ハ其製造ノ危害ヲ生シ又ハ健康ヲ害ス可キモノナルキハ其物品自休ノ危害ヲ生シ又ハ健康ヲ害ス可キ物ニアラサルモ總テ此中ニ包含シ而シテ其製造ノ危害ヲ生シ又ハ健康ヲ

害スルノ恐ナキハ縦令ヒ其物品自体ノ危害ヲ生シ又ハ健康ヲ害スルノ恐アルキト雖モ此中ニ包含セサルノ精神ナリシト明ナリ尤モ危害品ニ付テハ其物品自体ノ危害ヲ生スルノ恐アルト同時ニ之カ製造ニ付テモ亦危害ヲ生スルノ恐アルヲ以テ此節ノ項目ノ如ク記スルモ妨ナシト雖モ健康ヲ害ス可キ物品ニ付テハ其物品ノ害アリテ製造ノ害ナキトアリ又物品ノ害ナクシテ製造ノ害アルトアリ例ヘハ繪具染料ノ如キ往々其物品ノ健康ニ有害ナル物アリト雖モ之ヲ製造スルニ付キ惡嗅ヲ發スルトナク又惡烟ヲ散スルトナク毫モ害ヲ近隣ニ及ホストナキモノアリ又革皮ノ如キ其物品自体ニ付テハ毫モ人身ニ害ナキモノト雖モ之レヲ製造スルニ付テハ屢ハ惡嗅ヲ發シ或ハ惡煙ヲ散シ大ニ人身ノ健康ヲ害スルトアリ而シテ今此節ハ一般ノ健康ヲ害スルノ罪ヲ規定シタル章中ニ在ルヲ以テ其害ノ廣ク近隣ニ及フ場合即

チ製造ノ爲メニ害ヲ近隣ニ及ホス場合ノ事ヲ規定シタルモノト解セサルヲ得ス故ニ此節ノ題目ニ掲ケタル文字ニ拘泥スルトナク健康ヲ害ス可キ製造所例ヘハ煤氣製造製革ノ如キ惡嗅ヲ發シ惡煙ヲ散シ若クハ惡水ヲ流ス所ノ製造所等ニ關スル規則ニ背キタル者ヲ此節ニ規定シタルモノトナスナリ

今此節ニ記スル所ノ罪ニ三種アリ左ノ如シ

- 一 官許ヲ得スシテ危害ヲ生ス可キ物品ノ製造所ヲ創設シタル罪
- 二 官許ヲ得スシテ健康ヲ害ス可キ物品ノ製造所ヲ創設シタル罪
- 三 官許ヲ得テ之レヲ創設シタルモ危害ヲ豫防シ健康ヲ保護スル規則ニ違背シタル罪

右ニ掲クル第一ノ罪ヲ組成スルニハ左ノ三條件ヲ具備スルヲ必要トス

一 官許ヲ得ル事
 二 危害ヲ生ス可キ物品ノ製造所ナル事
 三 之レヲ創設シタル事

右ニ掲ケタル第二ノ要件即チ危害ヲ生ス可キ物品ナルヤ否ヤハ特別ノ法律ヲ以テ規定ス可キモノトス

又第三ノ要件ナル創設ト云ヘル語ハ唯其家屋ヲ建造セシノミチ云フニアラス即チ其製造ノ業ヲ爲シ始メタル後チ云フモノナリ

右ニ掲ケタル第二ノ罪ヲ組成スルニハ左ノ三條件ヲ具備スルチ必要トス

一 官許ヲ得サル事
 二 健康ヲ害ス可キ製造所ナル事
 三 之レヲ創設シタル事

右第二ノ要件ナル健康ヲ害ス可キ製造所ナルヤ否ヤハ亦特別ノ法律ヲ以テ規定ス可キモノトス

又第三ノ罪ヲ組成スルニハ左ノ三條件ヲ具備スルチ必要トス

一 危害ヲ生シ又ハ健康ヲ害ス可キ製造所ナル事
 二 官許ヲ得テ創設シタル事
 三 危害ヲ豫防シ又ハ健康ヲ保護スル規則ニ違背シタル事

右第一種ノ罪ハ二十圓以上二百圓以下ノ罰金ニ處ス可シ第二種ノ罪ハ十圓以上百圓以下ノ罰金ニ處ス可シ第三種ノ罪ハ危害ヲ生ス可キ物品ノ製造所ニ關スルキハ十五圓以上百五十圓以下ノ罰金ニ處シ健康ヲ害ス可キ製造所ニ關スルキハ七圓五十錢以上七十五圓以下ノ罰金ニ處ス可キモノトス

又此節ニ掲ケル罪ヲ犯シ因テ人ヲ疾病死傷ニ致シタル時ハ過失殺傷

ノ各本條ニ照シ重キニ從テ處斷ス可キモノトス

○第五節 健康ヲ害ス可キ飲食物及ヒ藥劇ヲ販賣スル罪

健康ヲ害ス可キ飲食物ナル語ハ甚タ廣キニ過キタリト雖モ第二百五十三條ニ據レハ人ノ健康ヲ害ス可キ物品ヲ飲食物ニ混和シテ販賣シタル者ニ非サレハ此節ノ罰スル所ニアラス夫ノ不熟ノ菓物又ハ腐敗シタル飲食物ノ如キ是亦健康ヲ害ス可キ物ナリト雖モ第四百二十六條第三ニ於テ特ニ之カ罰條ヲ掲ケタレハ違警罪トシテ之レヲ罰スルモ此節ニ因リ支配ス可キモノニアラサルナリ而シテ健康ヲ害ス可キ物品ヲ飲食物ニ混和スルトハ着色又ハ加味ノ爲メニ用フルノ類ヲ云フ

又此節ノ題目ニハ藥劑トアレモ第二百五十四條ニ據レハ規則ニ違背シテ毒藥劇藥ヲ販賣シタル者ノミ此節ノ支配スル所トス而シテ毒藥

トハ其性効峻烈ニシテ僅少ノ分量ト雖モ直チニ生命ヲ傷害スルニ足ルヘキモノヲ云ヒ劇藥トハ其性効毒藥ノ如ク峻烈ナラサルモ用量ニ因テ容易ニ危害ヲ來ス可キモノヲ云フ

此節ニ掲グル第一種ノ罪ヲ組成スルニハ左ノ三條件ヲ具備セサル可カラス

- 一 人ノ健康ヲ害ス可キ物品ナル事
- 二 飲食物ニ混和シタル事
- 三 之レヲ販賣シタル事

此ニ一ノ注意ス可キナリ即チ此第一種ノ罪ハ有意犯ナルヲ以テ若シ人ノ健康ヲ害ス可キ物品ナルヲ知ラスシテ用ヒタルキハ罪トナル可キ事實ヲ知ラサリシモノナルニ付第七十七條第二項ニ據リテ無罪トセサル可カラズ

此節ニ拘クル第二種ノ罪ヲ組成スルニハ左ノ二條件ヲ具備スルヲ必要トス

- 一 藥石取扱規則ニ於テ毒藥又ハ劇藥ト定メラレタル物ナル事
- 二 賣品取扱規則ニ背キ販賣シタル事

右第一種ノ罪ハ三圓以上三十圓以下ノ罰金ニ處ス可キモノニシテ第二種ノ罪ハ十圓以上百圓以下ノ罰金ニ處ス可キモノナリ

又此節ノ罪ヲ犯シ因テ人ヲ疾病又ハ死ニ致シタル者ハ過失殺傷ノ各本條ニ照シ重キニ從テ處斷ス可キモノトス

○第六節 私ニ醫業ヲ爲ス罪

醫ハ固ヨリ國ニ一日モ欠ク可カラサルモノナリト雖モ濫ニ其術ヲ施スルハ爲メニ人ノ生命ヲ害シ却テ醫ナキノ優レルニ若カサルニ至ラシ此故ニ特別ノ規則ヲ以テ醫業ヲ爲スニハ必ス豫メ官許ヲ得サル可カ

ラサル者トセリ是醫術ノ濫用ヲ防止センカ爲メナリ然ルニ若シ豫メ官許ヲ得スシテ醫業ヲ爲ス者アルモ之レヲ罰スルナケレハ其規則ハ遂ニ徒法ニ屬シ社會ニ生スル所ノ害ヤ少カラサル可シ是此節ノ設アル所以ナリ

今此節ニ規定シタル私ニ醫業ヲ爲スノ罪ヲ組成スルニハ左ノ二條件ヲ具備スルヲ必要トス

- 一 官許ヲ得サル事
- 一 醫業ヲ爲シタル事

嘗テ草案ノ頃ニハ平常醫術ヲ行ヒタル事ヲ要セシニ由リ此種ノ罪ハ慣行犯ニシテ平常之レヲ行フヲ要セシカ修正ノ際平常之ヲ行フノ要件ヲ削除セシニ由リ今ハ則チ平常之レヲ行フヲ要セス苟モ醫業ヲ爲シタルノ事實アレハ此罪ヲ組成スルニ充分ナリトス然レモ醫業ナル

語ハ唯脈ヲ診シ又ハ藥ヲ與ヘタルノ一事ヲ以テ足レリトセス必ス開業ノ醫師ナルヲ外形ニ表明セサル可カラズ既ニ之レヲ外形ニ表明シタルハ實際管テ人ニ藥ヲ與ヘタルヲナク又人ノ脈ヲ診セシヲナキモ醫業ヲ爲シタルモノトスルヲ得可キナリ而シテ此ニ所謂ル醫業ト云ヘル中ニハ獸醫ノ如キ人間ノ病ヲ治スルヲ業トセサル者ヲ包含セス何トナレハ此節ハ健康ヲ害スル罪ノ事ヲ規定シタル章中ニ在リ而シテ所謂ル健康トハ人間ノ健康ヲ指スモノナレハナリ

此節ニ掲クル罪ヲ犯シタル者ハ十圓以上百圓以下ノ罰金ニ處スルモノナレトモ若シ此節ノ罪ヲ犯カシ其治療ノ方法ヲ誤リ因テ人ヲ死傷ニ致シタル時ハ過失殺傷各本條ニ照シ重キニ從テ處斷ス可キモノトス

○第六章 風俗ヲ害スル罪

此章中ニ記スル所ノ罪ヲ大別スレハ三種アリ第一猥褻ノ罪第二正業

ヲ棄テ浮利ヲ圖ルノ罪第三神佛ニ對スル信仰ヲ害スルノ罪ニシテ皆一般ノ風俗ヲ害スルノ罪ナリ抑モ社會ノ開明ハ其國ノ風俗ニ基ク者ナレハ苟モ之カ風俗ヲ害スル者アレハ刑罰以テ之レヲ懲ラシ善良ナル風俗ニ化セシメサル可カラズ是此章ノ設アル所以ナリ
此章中ニ掲クル第一ノ罪ヲ區別シテ二種トナス即チ左ノ如シ

- 一 公然猥褻ノ所行ヲ爲シタル罪
- 二 風俗ヲ害スル冊子圖書其他猥褻ノ物品ヲ公然陳列シ又ハ販賣スル罪

猥褻ノ所行トハ通常人ノ見ルニ忍ヒサル醜体ヲ行爲ニ顯ハスヲ云フ而シテ如何ナル行爲ハ果シテ猥褻トナルヤ否ヤハ事實裁判官ノ認定ニ委テ立法者ハ敢テ之レヲ示サズ是一々此ニ之レヲ示スハ却テ法律ノ体面ヲ汚スニ至レハナリ故ニ今余輩モ亦如何ナル行爲ヲ猥褻ノ所

爲トナス乎ハ之レヲ諸君各自ノ判定ニ委テ敢テ喋々之レヲ説カサルナリ又其所行ノ猥褻ニ属スル事ト雖モ公然之レヲ行フニアラサレハ未タ以テ風俗ヲ害スルニ至ラス故ニ公然之レヲ行フタル者ニアラサレハ此罪ヲ組成セサルナリ而シテ所謂ル公然トハ陰密ナル語ニ對スルモノニシテ公衆ノ目撃シ得可キ場所ニ於テ顯然此所行ヲ爲シタルトハ其家ノ内外ヲ問ハス皆之レヲ公然ト稱スルヲ得可キナリ且ツ此ニ注意ス可キハ猥褻ノ所行トハ現ニ行爲ニ之レヲ顯ハシタルモノニ限ル若夫レ言語ニ説キ筆ニ記スル如キハ此罪ヲ組成スルニ至ラサルナリ

第二種ノ罪ハ自ラ猥褻ノ所行ヲ爲シタルニ非スト雖モ猥褻ナル冊子圖書例ヘハ春畫又ハ猥褻ナル事ヲ記シタル人情本ノ如キヲ云フ其他猥褻ノ物品(男女陰部ノ形ヲ作りタル玩弄物ノ如キヲ云フ)ヲ公然陳列シ

又ハ販賣シタル者ナリ是亦爲メニ風俗ヲ害スルニ由リ之レヲ罰セサル可カラサルナリ

右ニ掲クル第一種ノ罪ハ三圓以上三十圓以下ノ罰金ニ處シ第二種ノ罪ハ四圓以上四十圓以下ノ罰金ニ處ス可キモノトス其第一種ノ罪ヨリ第二種ノ罪ニ其刑ヲ重クシタル所以ハ蓋シ斯ノ如キ風俗ヲ害スルノ物品ヲ以テ利ヲ射ントスルノ情狀惡ム可キモノト見タルニ由ルナラン

又此章中ニ記スル第二ノ罪即チ正業ヲ棄テ淨利ヲ圖ルノ罪ヲ區別シテ二種トナス即チ左ノ如シ

- 一 賭博ニ關スル罪
- 二 富籤ニ關スル罪

此二種ノ罪各特別ノ法律アリ即チ賭博犯ニ付テハ明治十七年第一號

布告ヲ以テ當分ノ内行政警察官ノ處分ニ屬シ其犯人ハ之レヲ懲罰及
 ヒ過料ニ處スルモノトセリ故ニ今日ニ在テハ賭博犯ハ刑法上ノ罪ト
 ナラス何トナレハ其科スル所ノ罰ハ刑法第七條以下ニ掲クル所ノ刑
 ニアラサルヲ以テ重罪輕罪又ハ違警罪トナラサレハナリ然レモ是唯
 一時ノ法律ナレハ早晚正則ニ復スルナラン仍テ余ハ刑法ノ條文ニ就
 テ之レヲ簡說セン又富籤ニ關スル罪ニ付テハ明治十五年第二十五號
 ノ布告アリ富籤賣買ノ牙保幫助ヲ爲シ及富籤ヲ販賣シタル者ヲ罰ス
 ルノ規則ヲ設ケタリ右ノ布告ハ當時外國ノ富籤ヲ販賣スルノ流行
 セシニ由リ發セラレタルモノニシテ其各條ニ就キ多少論ス可キ者ア
 レモ他ニ仍ホ主要ナル部内ノ之アルヲ以テ今ハ此ニ論及スルニ違ア
 ラス仍テ唯刑ノ條文ノミニ就テ之レヲ簡說セン
 抑モ此二種ノ所爲ノ罪トナル所以ハ人ヲシテ正業ニ安スルナク万一

ノ僥倖ヲ得ントスルノ心ヲ起サシメ屢ハ其産業ヲ失フタル結果種々
 ノ犯罪ヲ企ツルニ至ルトハ古來實例ノ存スレハナリ
 今賭博ニ關スル罪ヲ更ラニ細別スルハ左ノ四種トナル

- 一 賭場ヲ開張シテ利ヲ圖ル者
- 二 博徒ヲ招結シタル者
- 三 財物ヲ賭シテ現ニ博奕ヲ爲シタル者
- 四 情ヲ知テ房屋ヲ給與シタル者

賭場ヲ開張シテ利ヲ圖ルトハ賭博ヲ爲スノ場所ヲ設ケ自ラ主トナリ
 人ヲシテ來テ博奕ヲ爲サシメ因テ利ヲ得ントスルノ所爲ヲ云フ
 博徒ヲ招結スルトハ自ラ巨魁トナリ多クノ博徒ヲ集メテ圍結スルノ
 類ヲ云フ
 右二種ノ罪ハ何レモ張本人トナリシ者ナレハ其情狀惡ム可キニ由リ

三月以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ十圓以上百圓以下ノ罰金ヲ附加ス可キモノトス

財物ヲ賭スルトハ金錢其他ノ動産不動産ヲ問ハス苟モ之レヲ賭スル者皆之レヲ包含スルト雖モ飲食物ヲ賭スル如キハ禁スルノ限ニアラズ是唯一時ノ遊戯ニ屬シ爲メニ浮利ヲ圖リタル者トナスニ足ラサレハナリ然レモ飲食食物ト雖モ即時ニ消費スルニ止マル物ニ限ラサルヲ得ス若夫レ酒幾樽米何石ト云フ如キニ至テハ等シク之レヲ罰セサルヲ得サルナリ又博奕トハ必スシモ骨子骨牌ヲ以テスルニ限ラス財物ヲ賭シテ圍碁將棋ヲ爲シタルモ亦博賭ト稱スルヲ得ク其他競馬角力ノ際其勝敗ヲ標準トシテ傍觀者ノ財物ヲ賭スルモ亦之レヲ賭博ト稱スルヲ得可キナリ

情ヲ知テ房屋ヲ給與シタル者トハ自ラ主トナリテ賭博ヲ開キタル者

ニアラス畢竟賭博ノ所爲ヲ幫助シタルニ過キス然レモ之カ爲メ此罪ヲ犯スニ大ナル便宜ヲ與ヘタル者ナレハ亦之レヲ罰セサル可カラサルナリ

右ニ掲ケタル第三及ヒ第四ノ罪ハ一月以上六月以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス可キモノトス

然リ而シテ我カ刑法ニ於テハ此第三第四ノ罪ハ賭博ヲ現ニ行フタル時ニアラサレハ之レヲ罰セス尤モ第四ノ罪ニ付テハ我邦ノ刑法解釋者中異論アリト雖モ此罪ノ如キハ其性質第三ノ罪ノ從犯トナル可キモノナレハ其正犯トナル可キ賭博者ノ現ニ之レヲ行フニアラサレハ未タ以テ其犯罪ヲ幫助シタル者トスルヲ得ス仍テ余ハ此罪モ亦房屋ヲ借用セシ者ノ現ニ賭博ヲ爲シタルニアラサレハ成立セサルモノトナスナリ

我カ刑法ニ於テ現ニ博奕ヲ爲シタルト云ヒシハ現行犯ト云フノ義ナルヲ以テ其現場ニ於テ逮捕セラレタル時ニアラサレハ之レヲ罰スルヲ得ス是此種ノ罪ハ證據ノ後ニ存セサル者ナルニ由リ現行犯ニノミ制限シタル者ナル乎然レモ其證據ノ擧ケ難キト否トハ實際上ノ問題ニシテ其罪ノ成否ニ關係ス可キモノニアラサレハ余ハ苟モ證據アルニ於テハ現行犯ニアラスト雖モ總テ之レヲ罰スルヲ可トスルナリ

又賭博犯ニ付テハ我カ刑法總則ノ沒收例ニ一ノ變例ヲ設ケ賭博ノ器具財物其現場ニ在ル者ニ限り之レヲ沒收スル者トセリ蓋シ此規定ハ四個ノ點ニ於テ總則ト相異ナル所アリ即チ左ノ如シ

其一 總則第四十三條ニ據レハ罪体トナル可キモノハ之レヲ沒收スルヲ得サル規則ナリ然ルニ博奕ノ爲メ賭シタル財物ノ如キ此罪ヲ組成スルノ一元素トナリシモノナレハ一ノ罪体ナリ然レモ其現場ニ

在ルモノハ之レヲ沒收ス是第一ノ變例ナリ

其二 總則ニ據リ犯罪ノ用ニ供シタル物件又ハ犯罪ニ因テ得タル物件トシテ沒收セントスルニハ現ニ其犯罪ノ用ニ供シタル事又ハ犯罪ニ由リテ得タル事ノ證據ナキヲ得ス然レモ博奕ノ器具及ヒ財物其現場ニ存スルキハ現ニ犯罪ノ用ニ供シタルト否トヲ問ハス又犯罪ニ由リテ得タルト否トヲ論セス總テ之レヲ沒收ス是第二ノ變例ナリ

其三 總則ニ據リ沒收スルニハ其物件ノ現場ニ在ルト否トヲ問ハス之レヲ沒收スルヲ得可キモ賭博犯ノ場合ニハ如何ナル確証アルモ現場ニ在リシ物件ニアラサレハ之レヲ沒收スルヲ得ス是第三ノ變例ナリ

其四 總則ニ據リ犯罪ノ用ニ供シタル物件トシテ沒收スルニハ其物

件犯人ノ所有ニ係リ又ハ所有主ナキ時ノ外之ヲ沒収スルヲ得サレ
賭博犯ノ場合ニハ其所有者ノ如何ヲ問ハス苟モ現場ニ在リシ物
件ハ總テ之レヲ沒収スルヲ得可シ是第四ノ變例ナリ

以上列記シタル四個ノ變例ヲ除クノ外ハ賭博犯ニ付テモ亦總則ヲ適
用ス可キニ由リ其沒収ヲ爲スニ付テハ宣告ヲ爲サ、ルヲ得ス又犯罪
間接ノ用ニ供シタル物件則チ賭博ノ爲メニ給與シタル房屋又ハ燭臺
蠟燭ノ如キハ之レヲ沒収スルヲ得サルナリ

富籤ノ罪ニ付我カ刑法ニ於テ罰スル所ノ者ハ財物ヲ醜集スル事富籤
ヲ以テ利益ヲ僥倖スルノ業ヲ興行シタル事ノ二條件ヲ具備スルヲ要
ス

其所謂ル財物トハ金錢其他一切ノ動産不動産ヲ包含スルト雖モ其性
質利益ヲ僥倖センカ爲メニ爲ス所ノ者ニ限り罰スル者ナレハ夫ノ遊

戯ノ爲メニ飲食物ヲ醜集シ又ハ各人同價ノ物品ヲ醜集シ抽籤ヲ以テ
分配スル如キハ此中ニ包含セサルナリ

又富籤ナルモノハ其方法ニ種々アリト雖モ若シ其方法ニシテ各人平
等ノ利益ヲ分配シ敢テ過不及ナキハ亦利益ヲ僥倖スルノ業ニアラ
サルヲ以テ此罪ヲ組成セサルナリ

富籤興行ノ罪ハ一月以上六月以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以
下ノ罰金ニ處ス可キモノトス

此章ニ掲クル第三ノ罪即チ神佛ニ對シ信仰ヲ害スル罪ヲ區別シテ左
ノ二種トス

- 一 神祠佛堂墓所其他禮拜所ニ對シ公然不敬ノ所爲ヲ加ヘタル罪
 - 二 說教又ハ禮拜ヲ妨害シタル罪
- 抑モ信教ノ自由ハ各人固有ノ權利ニシテ之レヲ信スルト否トハ各自

ノ隨意ナリ然レモ已レ宗教ヲ信セサルノ故ヲ以テ他ノ信仰ヲ妨クル
 ナ得ス否ラサレハ亦他ノ自由權ヲ害スルニ至レハナリ尤モ法律ト宗
 教トハ自ラ其司ル所ヲ異ニスルヲ以テ二者相混同ス可カラスト雖モ
 法律ヲ以テ宗教ノ自由ハ必ス之レヲ保護セサルヲ得ス是各人行爲ノ
 自由ヲ保護スルト敢テ異ナラサルナリ此故ニ若シ人アリ他ノ信教自
 由ヲ害スルコトアレハ刑罰以テ之レヲ懲サ、ルヲ得ス是此罪ヲ我カ刑
 法ニ規定シタル所以ナリ
 上ニ掲ケタル第一種ノ罪ハ公然不敬ノ所爲ヲ加ヘタルヲ必要トスル
 モノナレハ或ハ他宗ノ者相集マリテ密カニ他宗ノ神佛ヲ罵詈シ其他
 不敬ノ所爲ヲ爲ストモ未タ以テ公然不敬ノ所爲アルモノトスルヲ得
 サルナリ
 右第一種ノ罪ハ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス可キモノニシテ第

二種ノ罪ハ四圓以上四十圓以下ノ罰金ニ處ス可キモノトス

○第七章 死屍ヲ毀棄シ及ヒ墳墓ヲ發掘スル罪

此章ニ規定スル所ノ罪ハ其性質上ヨリ言ヘハ風俗ヲ害スルノ罪ナリ
 太古野蠻ノ頃ニ在テハ人ノ屍體ヲ尊重スルノ思想未タ各人ニ之アラ
 サリシヲ以テ或ハ之レヲ山野ニ棄テ或ハ之レヲ河海ニ投スル等ノ蠻
 風アリシト雖モ少シク開明ノ域ニ達シテヨリ以來斯ノ如キ蠻風ハ其
 蹟ヲ斷チ今ヤ各國共ニ死屍ヲ尊重スルノ風習ヲ生シタリ是實ニ善良
 ノ風習ト謂フ可シ然ルニ若シ死屍ヲ毀棄シ墳墓ヲ發掘スル者アルハ
 ハ之ヲ目シテ善良ノ風俗ヲ害スル者ト謂ハサルヲ得ス是此章ノ設ア
 ル所以ナリ
 今此章ニ規定スル所ノ罪ヲ區別スレハ三種アリ左ノ如シ

- 一 埋葬ス可キ死屍ヲ殘毀スルノ罪

二 埋葬ス可キ死屍ヲ移棄スルノ罪

三 墳墓ヲ發掘スルノ罪

今ヤ右ニ掲ケタル三種ノ罪ヲ組成スルノ要素ヲ説クニ先ツテ一二ノ注意セサル可カラサル事アリ即チ立法者ハ第一第二ノ罪ニ冠セシムルニ埋葬ス可キト云ヘル一句ヲ以テセリ是果シテ他ニ埋葬ス可カラサル者アルカ爲メ乎ト問ハンニ余ノ考フル所ニ據レハ此一句ハ次條ニ定メタル既ニ一旦埋葬シタル死屍ヲ毀棄シタル者ニ對センカ爲メニ掲ケタルモノニシテ別ニ埋葬ス可カラサル死屍アルモノニアラスト思考ス何トナレハ如何ナル死屍ト雖モ埋葬ヲ要セサルモノアル可キ理ナケレハナリ又刑法第二百六十四條ニ死屍ヲ毀棄シタルト云ヘル語ヲ用ヒタリ此語ハ二個ノ所爲ヲ合シテ言シモノニシテ一個ノ所爲ニアラス即チ草案ニハ死屍ヲ殘毀シ又ハ他所ニ移棄シタル者トア

リシニ由リテ明ナリ故ニ余ハ二個ノ所爲ナルヲ明ニ示サンカ爲メ草案ノ語ヲ假借シ以テ第一及ヒ第二ノ罪トナセリ

右ニ掲ケタル第一ノ罪ヲ組成スルニハ左ノ二條件ヲ具備スルヲ要ス

一 埋葬ス可キ死屍ナル事

二 之レヲ殘毀シタル事

然ルニ此第一ノ罪ニ付一ノ注意ス可キアリ即チ醫學上ノ研究ノ爲メ死體ヲ解剖スル如キ今其所爲自体ヨリ觀察スレハ死屍ヲ殘毀スルモノ、如シト雖モ此所爲ヤ醫學上亦欠ク可カラサルトナルヲ以テ官許ヲ得テ之レヲ爲シタルトハ所謂ル不正ノ元素ヲ欠クモノナレハ決シテ死屍ヲ殘毀スルノ罪ヲ組成セサルナリ又官許ヲ得スシテ之レヲ爲シタルモ元ト醫學上研究ノ爲メニ爲シタルモノナレハ其情惡ム可キ所ナシ仍テ此所爲ハ第四百二十五條第七ニ於テ違警罪トシテ之レ

ヲ罰シタリ又戰場ニ於テ其父ノ戰死シタルヲ見敵ニ首級ヲ奪ハレ
トテ恐レテ其首級ヲ斫リタル場合ノ如キ是亦不正ノ所爲ト謂フヲ得
サルニ由リ不正ノ元素ヲ欠クモノトセサル可カラサルナリ

又第二ノ罪ヲ組成スルニモ左ノ二條件ヲ具備スルヲ要ス

一 埋葬ス可キ死屍ナル事

二 之レヲ移棄シタル事

此第二ノ罪ニ付一ノ論決ス可キ問題アリ即チ此種ノ罪ハ埋葬スルノ
責任アル者ノ之レヲ犯シタル時ニアラサレハ之レヲ組成セサル乎ノ
事是ナリ我邦刑法ノ解釋者中埋葬スルノ責任アル者ノ之レヲ犯シタ
ル時ニアラサレハ此罪ヲ組成セサルトノ說ヲ主張スル者アレモ余ハ
未ダ其說ノ基ク所ヲ知ラス抑モ余ノ上ニ述ヘタル如ク此種ノ罪ハ其
性質風俗ヲ害スルノ罪ニシテ死屍ニ對シ無情ナル取扱ヲ爲スニ由リ

テ成立ツモノナリ而シテ此所爲ノ風俗ヲ害スルハ獨リ埋葬ノ責任ア
ル者ノ爲セシ時ノミナラス他人ト雖モ此所爲ヲ爲セシキハ爲メニ善
良ナル風俗ヲ害スルニ至ルヤ必セリ且夫レ我カ刑法上何等ノ區別ヲ
モ爲サ、リシニ由リ余ハ或解釋者ノ如キ區別ヲ爲サ、ルナリ然レモ
埋葬ノ責アル者ノ之レヲ爲シタルキト他人ノ之レヲ爲シタルキト幾
分歟之カ區別ヲ爲サ、ル可カラサル場合アリ即チ埋葬ノ責アル者ニ
於テ之レヲ犯シタルキハ其情ヤ重シ故ニ道路ニ於テ死シタル場合ニ
之レヲ他所ニ移棄スルモ此罪ヲ組成スルニ足レモ他人其所有地内ニ
死屍アルトチ知テ之レヲ他所ニ移シタルキハ第四百二十五條第八ニ
於テ違警罪トシテ罰シタルニ由リ死屍ヲ毀棄スルノ罪ヲ以テ罰スル
ヲ得ス是唯厄介ヲ免カレントスルノ意ニ出テタルニ過キサレハ其情
輕キニ由ル今此所爲ヲ以テ違警罪トナシタル立法者ノ精神ヨリ推ス

并ハ水中ニ於テ死屍ヲ引揚ケ再ヒ之レテ水中ニ投シタル所爲ノ如キ
 ハ之レヲ罰スルヲ得サルニ至ラン何トナレハ是亦厄介ヲ免カレント
 スルノ意ニ出テタルニ過キサレハナリ而シテ此場合ノ如キハ自己ノ
 所有地内ニアラサレハ之レヲ官ニ申告スルノ責ナキヲ以テ違警罪モ
 亦之レヲ組成セサルナリ夫レ斯ノ如ク埋葬ノ責アル者ト他人トノ間
 ニ差異アリト雖モ他人ニシテ死屍ヲ移棄スルノ罪ヲ組成スル場合亦
 往々ニシテ之アリ例ヘハ生存中ニ怨恨アル者之レヲ露サンカ爲メ私
 カニ死屍ヲ盗出シテ之レヲ山野ニ投シタル如キ即チ死屍ヲ移棄スル
 ノ罪ヲ犯シタル者ト爲スニ足ル可シ要之ニ其埋葬ノ責アル者ニ於テ
 之レヲ犯シタル者ト爲スニ足ル可シ要之ニ其埋葬ノ責アル者ニ於テ
 テタルトチ問ハス苟モ故ラニ移棄シタル者ト爲スニ足ル可シ要之ニ
 モ他人ノ之レヲ犯シタル場合ニハ唯故意ヲ以テ移棄シタルノミニテ

ハ足レリトセス死者若クハ其親屬ヲ辱カシムルノ惡意アルニアラサ
 レハ此罪ヲ組成セサルナリ

又此ニ一ノ注意ス可キヲアリ即チ犯罪ノ跡ヲ蔽ハシカ爲メ死屍ヲ移
 棄スルモ此第二ノ罪ヲ以テ論スルヲ得サル事是ナリ例ヘハ已レ人ヲ
 殺害シ其被害者ノ死骸ヲ河海ニ投セシ場合ノ如キ其犯人ノ意思ハ已
 レノ罪跡ヲ隱蔽センカ爲メナリ仍テ此場合ノ如キハ其犯罪ノ結果ニ
 シテ別ニ一罪ヲ組成セサルナリ然レモ他人ノ罪ヲ免カレシメンカ爲
 メ此所爲ヲ爲シタル者ナレハ第百五十二條即チ罪証隱蔽ノ罪ヲ罰ス
 ルヲ得可キナリ
 右ニ述ヘタル第一第二ノ罪ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ二圓
 以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス可キモノトス
 又第三ノ罪ハ之レヲ二種ニ區別シテ之カ組成ノ要素ヲ説カサルヲ得

ス

其一 墳墓ヲ發掘シテ棺槨又ハ死屍ヲ見ハシタル罪
 其二 墳墓ヲ發掘シテ死屍ヲ毀棄シタル罪
 其第一種ノ罪ヲ組成スルニハ左ノ二條件ヲ具備スルヲ必要トス
 一 墳墓ヲ發掘シタル事
 二 棺槨又ハ死屍ヲ見ハシタル事
 其第二種ノ罪ヲ組成スルニハ左ノ二條件ヲ具備スルヲ必要トス
 一 墳墓ヲ發掘シタル事
 二 死屍ヲ毀棄シタル事
 右ニ掲クル二屍ノ罪共ニ故意ヲ以テ墳墓ヲ發掘スルノ必要ナルヲ勿
 論ナリト雖モ其棺槨又ハ死屍ヲ見ハス事ニ付テハ特別ナル意思ナル
 ヲ必要トセス何トナレハ墳墓ヲ發掘スレハ棺槨又ハ死屍ヲ見ハス

ニ至ルヲハ當然ノ果結ナレハナリ然レモ其死屍ヲ毀棄スルノ事タル
 墳墓發掘ノ所爲ヨリ當然ニ生スル結果ト謂フヲ得サルニ由リ必ス特
 別ナル意思アリテ毀棄シタルヲ要ス故ニ墳墓ヲ發掘シタルノ結果
 偶々其死屍ヲ毀損スルヲアルモ第二種ノ罪ヲ組成シタルモノト謂フ
 ヲ得サルナリ
 右ニ掲クル第一種ノ罪ハ既ニ埋葬シタル者ヲ發掘セシ者ナレハ未タ
 埋葬セサル者ヲ毀棄スルヨリ其情重シ故ニ二月以上二年以下ノ重禁
 錮ニ處シ三圓以上三十圓以下ノ罰金ヲ附加ス可キモノトス又第二種
 ノ罪ハ第一種ノ罪ヨリ其情惡ム可ク其害亦大ナリ仍テ三月以上三年
 以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス可キモノト
 セリ
 又此章ニ規定シタル罪ハ皆有意犯ニシテ且未タ之レヲ遂ケサルモ既

ニ幾分歟風俗ヲ害スルヲ以テ其罪ハ輕罪ナリト雖モ未遂犯ノ例ニ照シテ處斷スルモノトセリ

○第八章 商業及ヒ農工ノ業ヲ妨害スル罪

農工商ノ三者ハ國ノ本ニシテ其盛衰ハ大ニ一國ノ經濟ニ關係ヲ有スル者ナレハ法律以テ其自由ヲ保護セサル可カラス然ルニ之カ自由ヲ害スル者ハ則チ一國ノ經濟ニ害ヲ及ホスモノナレハ必ス之レヲ罰セサル可カラズ是此章ノ設アル所以ナリ

此章ニ規定スル所ノ罪ヲ大別シテ三トス左ノ如シ

- 一 偽計又ハ威力ヲ以テ賣買ヲ妨害シタル罪
 - 二 偽計又ハ威力ヲ以テ農工ノ業ヲ妨害シタル罪
 - 三 虛偽ノ風説ヲ流布シテ需用物品ノ價直ヲ昂低セシメタル罪
- 右ニ掲クル第一ノ罪ヲ細別シテ左ノ三種トス

其一 偽計又ハ威力ヲ以テ穀類其他衆人ノ需用ニ缺ク可カラサル食用物ノ賣買ヲ妨害シタル罪

其二 偽計又ハ威力ヲ以テ右ニ掲ケタル以外ノ物品ノ賣買ヲ妨害シタル罪

其三 偽計又ハ威力ヲ以テ糶賣又ハ入札ヲ妨害シタル罪

右第一種ノ罪ヲ組成スルニハ左ノ三條件ヲ具備スルヲ必要トス

- 一 偽計又ハ威力ヲ用ヒタル事
- 二 賣買ヲ妨害シタル事
- 三 賣買ノ目的物穀類又ハ衆人ノ需用ニ缺ク可カラサル食用物ナル事

偽計トハ策略ヲ云ヒ威力トハ暴行脅迫ヲ云フ又穀類トハ米麥豆粟黍稗胡麻ノ類皆之レヲ總稱スルノ語ナリト雖モ今此ニ所謂ル穀類トハ

唯人ノ食用ニ欠ク可カラサル穀類ノミチ包含スルモノトス而シテ人
 ノ食用ニ欠ク可カラサル穀類ナルヤ否ヤハ各地方ニ由リテ自ラ相異
 ナルヲ以テ此ニ之レチ一定スル能ハス即チ米麥ニ富メル地方ニ於テ
 ハ豆粟黍稗ノ類ヲ欠ク可カラサルノ食用物ト爲サ、ルモ米麥ニ乏シ
 キ地方ニ於テハ豆粟黍稗ノ類ヲ以テ常用ノ飲食ト爲スコアリ故ニ今
 刑法ニ於テ之レチ一定スルヲ得サルナリ又衆人ノ需用ニ欠ク可カラ
 サル食用物モ各地方自ラ相異ナレトモ鹽醬油ノ如キハ大約相通シテ欠
 ク可カラサルノ食用物トナスナリ其他薪炭石油ノ類亦今日各人ノ需
 用ニ欠ク可カラサルモノナリト雖モ食用物ニアラサルヲ以テ第二種
 中ニ入レ第一種中ニ包含セシムルヲ得サルナリ
 右ニ掲ケタル物品ノ如キハ衆人必須ノ食用物ナレハ其賣買ヲ妨害ス
 ルニ由リ生スル所ノ害大ナルヲ以テ一月以上六月以下ノ重禁錮ニ處

シ三圓以上三十圓以下ノ罰金ヲ附加ス可キモノトセリ

又第二種ノ罪ヲ組成スルニハ左ノ三條件ヲ具備スルヲ必要トス

- 一 偽計又ハ威力ヲ用ヒタル事
- 二 賣買ヲ妨害シタル事

三 賣買ノ目的物人ノ食用ニ欠ク可カラサル以外ノ物品ナル事

此種ノ罪ハ第一種ノ罪ヨリ其害ノ少ナキヲ以テ第一種ノ罪ニ科スル
 所ノ刑ヨリ一等ヲ減ス可キモノトセリ

今此ニ第一種及ヒ第二種ノ罪ニ通シテ一ノ注意ス可キ事アリ即チ賣
 買ヲ妨害スルトハ此一二ノ人ニ對シテ賣買ヲ妨害スルノ所爲ヲ云フ
 ニアラスシテ多少一般ニ涉リ流通ヲ妨害スルノ所爲ヲ云フ例ハ通
 路ヲ塞キ商品ノ運搬ヲ妨ケ或ハ某地方ニ戰爭アルコトヲ流言シテ其地
 方ノ取引ヲ妨クル如キ即チ是ナリ故ニ例ハ甲ナル商家アリ乙ナル

商家ノ花主ヲ奪ハンカ爲メ人ヲシテ乙家ヲ誹謗シ甲家ヲ賞譽セシムル如キハ甲家ニ對シテ多少ノ害アルモ爲メニ一般ノ流通ヲ害スルモノニアラサレハ此第一種又ハ第二種ノ罪ヲ組成セサルナリ尤モ刑法ノ條文中別ニ是等ノ區別ヲ明示セサルニ由リ唯一二人ニ對シテ賣買ヲ妨害シタル場合モ此章中ニ包含スル如ク解スル者アルヘシト雖モ元來此章ハ第二編中ニ在リテ直接ニ社會ニ對シ害ヲ加フルノ罪ヲ定メタル編中ニ在ルヲ以テ立法者ノ精神ハ唯一二人ニ對シテ賣買ヲ妨害スル所爲ヲ支配センカ爲メニ定メタルモノニアラスト解セサルヲ得サルナリ

又第三種ノ罪ヲ組成スルニハ左ノ二條件ヲ具備スルヲ必要トス

- 一 偽計又ハ威力ヲ用ヒタル事
- 二 糶賣又ハ入札ヲ妨害シタル事

糶賣トハ物件ヲ賣拂ハントスルニ當リ之レヲ買ハント欲スル數人ヲ集メ各其見込ム所ノ代價ヲ述ヘシメ最高ノ價ヲ述ヘタル者ニ賣渡スノ方法ヲ以テ爲ス所ノ賣買ヲ云ヒ入札トハ物品ヲ買入又ハ工事ヲ託スルニ付キ數人ノ賣主又ハ請負人ヲシテ積書ヲ出サシメ其最モ廉價ナル者ヨリ買得シ又ハ其者ニ工事ヲ託スルノ方法ヲ謂フ其工事ヲ託スル如キハ賣買ニアラスト雖モ是亦一ノ商業ニ屬スルヲ以テ此中ニ包含セシメタルモノナリ

又此第三種ノ罪ハ一般ノ商業ニ對シテ妨害ヲ與ヘタルモノニアラスト雖モ多數ナル人ノ間ニ爲ス所ノモノナレハ之カ自由ヲ保護センカ爲メニ此章中ニ附記シタルモノナリ然レモ第一種及ヒ第二種ノ賣買ノ如キ一般ノ流通ヲ害スルモノニアラサルヲ以テ其刑ヲ輕クシ十五日以上三月以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

ルモノトセリ

以下第二ノ罪即チ農工ノ業ヲ害スル罪ノ事ヲ説カン
第二ノ罪ヲ細別シテ左ノ三種トナス

其一 偽計又ハ威力ヲ以テ農工ノ業ヲ妨害シタル罪

其二 農工ノ雇人雇賃ヲ増サシメ又ハ農工業ノ景況ヲ變セシムル

爲メ雇主及ヒ他ノ雇人ニ對シ偽計威力ヲ以テ妨害シタル罪

其三 雇主其雇賃ヲ減シ又ハ農工業ノ景況ヲ變スル爲メ雇人及ヒ

他ノ雇主ニ對シ偽計威力ヲ以テ妨害ヲ爲シタル罪

右ニ掲ケタル第一種ノ罪ヲ組成スルニハ左ノ二條件ヲ具備スルヲ必要トス

一 偽計又ハ威力ヲ用ヒタル事

二 農工ノ業ヲ妨害シタル事

右第二ノ要件ニ付一ノ注意ス可キ事アリ即チ農工ノ業ヲ妨害スルニモ自ラ大小アリ例ヘハ農工ノ用具ヲ毀損シ又ハ農工ノ作物若シハ製造物ヲ毀損スルモノ、如キ是農工ノ業ヲ害シタル者ニ相違ナシト雖モ是等ハ別ニ罰條アリ(第四百十七條以下)立法者ハ斯ノ如キ一二ノ人ニ對シテ妨害ヲ爲シタル者ヲ此章ニ於テ罰スルノ精神ニアラサル可シ何トナレハ是等ハ唯一個人ニ對シテ加フルノ害ニシテ直接ニ社會ノ經濟上ニ害ヲ及ホスモノニアラサレハナリ仍テ案スルニ其所謂ル妨害トハ少クモ一村又ハ一地方ノ農工業ヲ妨害スル如キ一般ニ涉リタルヲ要スルナリ

右第一種ノ罪ハ十五日以上三月以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス可キモノトス
又第二種ノ罪ヲ規定シタル刑法ノ條文頗ル曖昧ナリト雖モ余カ解ス

ル所ニ據レハ此罪ヲ組成スルニハ左ノ三條件ヲ具備スルヲ必要トス
一 農工ノ雇人ヨリ雇主又ハ他ノ雇人ニ對シ偽計又ハ威力ヲ用ヒタル事

二 農工ノ業ヲ妨害シタル事

三 雇賃ヲ増サシメ又ハ農工ノ業ニ變動ヲ起サシムルノ目的ヲ以テ爲シタル事

此ニ一ニ注意ス可キ事アリ我カ刑法第二百七十條ニハ雇主及ヒ他ノ雇人ニ對シ偽計威力ヲ以テ妨害ヲ爲シタル者云々トアリ其所謂ル及ヒト云ヘル接續詞ニ拘泥スルキハ唯雇主ニ對シテノミ偽計威力ヲ用ヒタルモ罪ヲ組成セス又他ノ雇人ニ對シテノミ之レヲ用ヒタルモ罪ヲ組成セサルカ如シ然レモ立法者ノ意ハ恐ク斯クノ如キ意味ニ此語ヲ用ヒタル者ニアラスト思考スルニ由リ余ハ又ハト云ヘル接續詞

ヲ以テ之レニ代ヘタリ又該條文ニハ突然妨害ヲ爲シタル者トアルニ由リ何ヲ妨害シタルヤ詳ナラスト雖モ此章ノ題目ヨリ推シ又佛文章案ニ照スキハ農工ノ業ヲ妨害シタル者ヲ指スヲ明ナリ又該條文ニハ偽計威力トアリ又ハト云ヘル接續詞ヲ用ヒサレモ是決シテ此二個ノ所爲ヲ具備セサル可カラサルノ精神ニアラサル可シト思考スルニ由リ余ハ特ニ偽計又ハ威力ト掲ケタリ又該條ノ文中農工業ノ景況ヲ變セシムル爲メトアリ是或ハ就業ノ時間ヲ減セシメ或ハ其就業ノ方法ヲ己レニ利益ナル様ニ改メシメントスル等苟モ農工ノ業ニ變動ヲ及ホスヲ謂フモノナリ故ニ余ハ農工ノ業ニ變動ヲ起サシムルト云ヘル語ヲ以テ之レニ代ヘタリ
抑モ勞動ハ各自ノ自由ニシテ賃銀ハ時々其相場ヲ變更スルモノナリト雖モ唯自己ノ自由ヲ保存スルニ止メス或ハ偽計ヲ以テシ或ハ威力

チ以テシテ他ノ自由ヲ害セントスル如キハ法律以テ之レニ干渉セサルヲ得ス又其賃銀ヲ自然ノ昂低ニ委テス或ハ偽計ヲ以テシ或ハ威力ヲ以テシテ之レヲ増減セシメントスル如キハ亦法律ノ干渉セサルヲ得サルノ所爲ナリ何トナレハ是カ爲メ或ハ物品ノ欠乏ヲ來シ或ハ殖産ノ衰微ヲ來シ其社會經濟上ニ變動ヲ來スノ害大ナレハナリ此故ニ我カ立法者ハ此第二種ノ罪ハ一月以上六月以下ノ重禁錮ニ處シ三圓以上三十圓以下ノ罰金ヲ附加スルモノトセリ

第三種ノ罪ハ雇主ト雇人ト其地ヲ換ヘタルマテニテ其組成ノ要件及ヒ其刑モ亦一ナリ故ニ余ハ別ニ之レヲ説明セサルナリ

以下第三ノ罪即チ虚偽ノ風説ヲ以テ物價ヲ昂低セシメタル罪ヲ説カ

此第三ノ罪ヲ組成スルニハ左ノ三條件ヲ具備スルヲ必要トス

- 一 虚偽ノ風説ヲ流布シタル事
 - 二 爲メニ物價ヲ昂低セシメタル事
 - 三 其物品ハ穀類其他衆人需用ノ物品タル事
- 虚偽ノ風説ヲ流布スルトハ自ラ其虚偽ナルヲ知リテ或ハ某地方ニ戦争アリ或ハ某地方ニ大火アリシト云フ如キ苟モ物價ニ昂低ヲ及ホスニ足ルヘキ風説ヲ傳播セシムルノ所爲ヲ云フ然レモ自ラ之アリト信シテ誤謬ヲ傳ヘタル如キハ所謂ル罪トナル可キ事實ヲ知ラサル者ナルニ由リ第七十七條第二項ニ據リテ無罪トセサル可カラス
- 又縱令ヒ虚偽ノ風説ナルヲ知リテ流布シタルモ其風説ノ爲メニ物價ヲ昂低セシメタルニアラサレハ此罪ヲ組成セス然ルニ此ニ疑點トス可キモノハ虚偽ノ風説ナルヲ知リシ以上ハ物價ヲ昂低セシムルノ目的ヲ以テセサルモ此罪ヲ組成スルニ足ル可キ乎將又之カ目的ヲ

以テシタルニアラサレハ縦令ヒ物價ヲ昂低セシムルニ至リタルモ此罪ヲ組成セサル乎ノ疑是ナリ今余ノ考フル所ニ據レハ其風説ノ性質物價ヲ昂低セシムルニ足ル可キモノナレハ其如何ナル目的ヲ以テスルモ爲メニ物價ヲ昂低スルニ至リタルハ此罪ヲ組成スルニ足ル可キモノトス然レモ其風説ノ通常斯ル物價ノ變動ヲ生ス可キモノニアラサレハ縦令ヒ偶然ソ事ヨリシテ物價ニ變動ヲ來シタルモ此罪ヲ組成セサルナリ而シテ其風説ノ通常物價ノ變動ヲ生スルモノナルヤ否ヤハ事實ノ問題ニ属スルヲ以テ此ニ之レヲ一定スル能ハサルナリ又衆人需用ノ物品トハ如何ナル物品ヲ云フ乎其語漠然トシテ此ニ其區域ヲ定ムルニ甚ダ困難ナリ尤モ第二百六十七條ノ如ク衆人ノ需用ニ欠ク可カラサル食用物ニ限ラサルヲ以テ其區域該條ヨリ廣キヲ勿論ナリト雖モ所謂ル需用物トハ土地家屋其他絹布ノ類ニマテ及フ乎

更ラニ一步ヲ進メテ生糸又ハ株數ノ價直ヲ昂低セシメタル如キモ亦需用物ノ價直ヲ昂低セシメタルモノト謂フ可キ乎今佛文草案ニ照スルハ穀類其他衆人ノ需用ニ欠ク可カラサル食用物及ヒ膏油薪炭木材ノ價直ヲ昂低セシメタル者ノミ之レヲ罰シタリト雖モ今ヤ法文ニハ斯ノ如キ制限ヲ設ケサルヲ以テ苟モ各人ノ衣食住ニ必要ナル物品ハ皆之レヲ包含セシメテ可ナリト思考ス但シ株數ノ如キハ各人ノ衣食住ニ必要ナルモノト謂フヲ得サルニ由リ之レヲ目シテ需用物品ト稱スルヲ得サルナリ

右第三ノ罪ハ十圓以上百圓以下ノ罰金ニ處ス可キモノトス

○第九章 官吏瀆職ノ罪

凡ソ官吏ナルモノハ人民ノ上ニ立テ公權ノ一部ヲ行フモノナレハ殊ニ其身ヲ護ミ苟モ其職ヲ瀆ス如キ所爲ヲ爲ス可カラズ然ルニ若シ官

吏ニシテ其職務ヲ全フセス或ハ其威權ヲ濫用スルニ於テハ爲メニ公私ノ害ヲ生スルコト少ナカラス故ニ嚴ニ之レヲ罰セサルヲ得ス是此章ノ設アル所以ナリ

此章ノ罪ヲ別テ三種トナシ第一節ニハ官吏公益ヲ害スル罪ヲ定メ第二節ニハ官吏人民ニ對スル罪ヲ定メ第三節ニハ官吏財産ニ對スル罪ヲ定メタリ仍テ余モ亦節ヲ追テ之レヲ詳説セン

今ヤ各節ノ罪ヲ解説スルニ先タツテ一言セサル可カラサル事アリ即チ官吏タルノ身分ヲ有セサル者ハ縱令ヒ官吏ト共ニ謀テ爲スモ此等ノ罪ヲ組成セサル乎ノ事是ナリ此問題ニ付テハ我カ刑法ノ解釋者中其説ヲ區々トシ裁判例モ亦未タ一定セサルニ似タリ然レモ余ノ考ル所ニ據レハ此章ノ罪ハ官吏ニ固有ノ罪ニシテ常人ノ得テ犯ス可カラサルモノトナス請フ暫ク其理由ヲ説カン凡ソ罪ハ其本分ニ背ク所

アルニ由リテ成立スルモノナリ故ニ其本分ニ背カサルモ何等ノ罪ヲモ組成スルコトナキモノトス而シテ今此章ノ題目ヲ案スルニ官吏瀆職ノ罪トアリ是其職ヲ守ルノ本分ニ背クニ由リテ成立スル所ノ罪ナリ而シテ此本分ヲ有スル者ハ獨リ官吏ニ限ラサルヲ得ス其餘ノ者ニ在テハ之カ本分アルコトナシ試ミニ見ヨ常人ニ於テ法律規則ヲ公布スルノ本分アル乎又兵ヲ出シテ騷擾ヲ鎮撫スルノ本分アル乎何人ト雖モ常人ニ此本分ナキコトハ疑ナカル可シ既ニ之カ本分ナキモノトセン乎縱令ヒ其官吏ヲ教唆シ若クハ幫助シタルモ自ラ其職ヲ瀆シタル者ニアラス從テ此章ノ罪ヲ組成スル本質ヲ備ヘタル者ト謂ハサルヲ得ス仍テ余ハ官吏ニアラサレハ此章ノ罪ヲ組成セサルモノト確信スルナリ

○第一節 官吏公益ヲ害スル罪

(刑法講義)

我カ刑法第二編ハ公益ニ關スル重罪輕罪ヲ規定シタルモノニシテ此章ハ則チ第二編中ニ在リ然ルニ今此節ノ題目ニ於テ官吏公益ヲ害スル罪トアレハ或ハ第二節及ヒ第三節ノ罪ハ公益ヲ害スル罪ニアテサルモノ、如シ果シテ然ラハ之レチ此章中ニ掲クルハ其處ヲ得サルモノト謂ハサルチ得ス然レハ立法者ノ特ニ此節ノ題目ニ公益ヲ害スル罪トノ語ヲ用ヒタルモノハ單ニ公益ノミチ害シ一私人ニ害チ及ホサル罪ノミチ列記シタルニ由ル而シテ第二節及第三節ノ罪ハ公益ヲ害スルト同時ニ害チ一私人ニ加フルアルチ以テ之カ區別ヲ爲シタルモノナリ然レハ其官吏タル身分チ以テ其職ヲ瀆スル點ニ至テハ直接ニ公益ヲ害スルモノナルニ由リ之レチ第二編中ニ列記シタルハ敢テ其處ヲ得サルモノト謂フチ得サルナリ

今此節ニ規定シタル罪ヲ別テ四トス左ノ如シ

- 一 官吏其管掌ニ係ル法律規則ヲ公布施行セサル罪
 - 二 官吏他ノ官吏法律規則ヲ公布施行スル妨害ヲ爲シタル罪
 - 三 兵隊ヲ要求シ及ヒ之チ使用スル權アル官吏地方ノ騷擾其他兵權ヲ以テ鎮撫ス可キ時ニ當リ其處分ヲ爲サ、ル罪
 - 四 官吏規則ニ違背シテ商業ヲ爲シタル罪
- 右第一ノ罪ヲ組成スルニハ左ノ二條件ヲ具備スルチ要ス

一 法律規則ヲ公布シ又ハ施行スル任アル官吏ナル事

二 法律規則ヲ公布シ又ハ施行セサル事

此第一種ノ罪ハ其任ニ背キ應サニ公布シ若クハ施行スヘキ法律規則ヲ公布シ又ハ施行セサルニ由リテ成立ツモノナリ故ニ此罪ノ不行犯ナルヲ論チ俟タス然レハ此罪ハ果シテ有意犯ナル乎將ク無意犯ナル乎ト釋ヌルニ余ハ之レチ有意犯トセサルチ得ス何トナレハ故ラニ其

任ニ背キタル者ニアラサレハ職ヲ瀆シタル者ト謂フヲ得サレハナリ故ニ例ヘハ過失ニ由リテ其公布施行ヲ解リシ場合ノ如キ別ニ懲戒令ヲ以テ罰スルハ格別此節ヲ以テ之レヲ罰スルヲ得サルナリ

又第二ノ罪ヲ組成スルニハ左ノ二條件ヲ具備スルヲ要ス

一 官吏ノ法律規則ヲ公布シ又ハ施行スルヲ妨害シタル事

二 其妨害ヲ爲シタル者モ亦之レヲ公布シ又ハ施行スルノ任アル

官吏ノ事

右第二ノ條件ヲ必要トスルニ由リ常人ニ於テ之レヲ妨害セシキ或ハ第三百三十九條ノ罪ヲ組成スルヲアル可キモ未タ以テ此第二種ノ罪ヲ組成スルヲアラヌ又其身官吏ナリト雖モ其職務上關係ナキ者ナレハ職ヲ瀆シタル者トナスヲ得サルニ由リ亦此權ノ罪ヲ組成セサルナリ而シテ此種ノ罪ハ行犯ニシテ且ツ有意犯ナリトス

以上第一及ヒ第二ノ罪ハ二月以上六月以下ノ輕禁錮ニ處シ十圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス可キモノトス

又第三ノ罪ヲ組成スルニハ左ノ三條件ヲ具備スルヲ要ス

一 兵隊ヲ要求シ又ハ兵隊ヲ使用スル權アル官吏ナル事

二 地方ノ騷擾其他兵權ヲ以テ鎮撫ス可キ時ナル事

三 鎮撫ノ處分ヲ爲サル事

兵隊ヲ要求スル權アル官吏トハ何ソヤ明治十四年第八十二號達ニ據レハ裁判官檢察官司法警察官ノ如キ皆兵隊ヲ要求スルヲ得可シト雖モ今此ニ所謂ル兵隊ヲ要求スルノ權アル官吏ト云ヘル中ニハ裁判官檢察官ノ如キハ之レヲ包含セサルモノト思考ス抑モ此第三ノ罪ハ畢竟其騷擾ヲ鎮撫スルノ本分アル者之レヲ怠ルニ由リテ組成スル者ナリ而シテ裁判官檢察官ノ如キハ元ト騷擾ヲ鎮撫スルノ本分ヲ有スル

者ニ非ス然ルニ之レヲ怠タルトテ罪ヲ組成スルノ謂ハレアラサレハナリ然ラハ則チ此ニ所謂ル兵隊ヲ要求スルノ權アル官吏トハ地方官又ハ警視總監ノ如キ騷擾ヲ鎮撫スルノ本分アル者ニ限ラサルヲ得サルナリ

又兵隊ヲ使用スル權アル官吏トハ陸海軍ノ將校ヲ云フ

此種ノ罪ハ不行犯ナリト雖モ亦故ラニ之カ處分ヲ爲サ、リシトテ要スルニ由リ有意犯ナリトス而シテ此種ノ罪ハ第一種及ヒ第二種ノ罪ヨリ其害ノ大ナルニ由リ三月以上三年以下ノ輕禁錮ニ處シ二十圓以上百圓以下ノ罰金ヲ附加ス可キモノトス

又第四ノ罪ヲ組成スルニハ左ノ三條件ヲ具備スルヲ要ス

- 一 特別規則ヲ以テ官吏ニ禁シタル商業ナル事
- 二 其規則ニ背キテ商業ヲ爲シタル事

三 其商業ヲ爲シタル者ノ官吏ナル事

明治八年第六十五號ヲ以テ官吏ニ商業ヲ爲スヲ禁シタリ是官吏ニシテ商業ヲ爲スルハ自然利ニ趨リテ官吏ノ威嚴ヲ損シ又屢ハ職務上知り得タル機密ニ乘シテ利益ヲ私スルノ弊アレハナリ

此第四ノ罪ハ二十圓以上五百圓以下ノ罰金ニ處ス可キモノトス

○第二節 官吏人民ニ對スル罪

今此節ノ題目ニ拘泥スルルキハ此節ノ罪ハ之レヲ第三編ニ規定ス可キモノ、如シト雖モ余ノ釋キニ述ヘタル如ク其身分ノ官吏タルノ故ヲ以テ一人ヲ害スルト同時ニ其本分ニ背キ直接ニ公益ヲ害スルヲ以テ之レヲ第二編中ニ規定シタルモノナリ

此節ニ規定シタル罪ヲ別テ十二トス即チ左ノ如シ

- 一 官吏擅ニ威權ヲ用ヒ人ヲシテ其權利ナキ事ヲ行ハシメタル罪

- 二 官吏擅ニ威權ヲ用ヒ爲ス可キ權利ヲ妨害シタル罪
- 三 人ノ身體財産ヲ妨害スルノ犯人アルニ當リ豫審判事檢察官其報告ヲ受ケテ速ニ保護ノ處分ヲ爲サ、ル罪
- 四 逮捕官吏法律ニ定メタル程式規則ヲ遵守セスシテ人ヲ逮捕シ又ハ不正ニ人ヲ監禁シタル罪
- 五 司獄官吏程式規則ヲ遵守セスシテ囚人ヲ監禁シタル罪
- 六 司獄官吏囚人ヲ出獄セシム可キノ時ニ至リ之ヲ放免セサル罪
- 七 逮捕官吏司獄官吏又ハ護送者囚人ニ對シ飲食衣服ヲ屏去シ其他苛刻ノ所爲ヲ施シタル罪
- 八 水火震災ノ際官吏囚人ノ監禁ヲ解クヲ怠リ因テ死傷ニ致シタル罪
- 九 裁判官檢察事又ハ警察官吏被告人ニ對シ罪狀ヲ陳述セシムル爲

メ暴行ヲ加ヘ又ハ凌虐ノ所爲ヲ施シタル罪

- 十 裁判官檢察官故ナクシテ訴ヲ受理セス又ハ遷延シテ審理セサル罪

十一 官吏人ノ囑託ヲ受ケテ賄賂ヲ收受シ又ハ之ヲ聽許シタル罪

- 十二 裁判官檢察官警察官吏賄賂ヲ收受聽許セスト雖モ情ニ徇カヒ又ハ怨ヲ狹サミ被告人ヲ曲庇陷害シタル罪

右ニ掲ケタル第一ノ罪ヲ組成スル要件ヲ説クニ先ツテ二個ノ論決セサル可カラサル事アリ仍テ左ニ之レヲ述ヘン

〔一〕刑法第二百七十六條ニハ「官吏擅ニ威權ヲ用ヒ人ヲシテ其權利ナキ事ヲ行ハシメ」トアリ何レノ場合ニ之レヲ行ハシメタル乎ヲ明示セス然レモ佛文草案ニハ官吏タル分限ヲ以テ事ヲ處スル際ナルヲ附記シタリ今道理上ヨリ解スルモ必ス其職務執行ノ際ナルヲ要ス否ラ

サレハ常人ト相異ナルナリ從テ其職ヲ演カヌコアラサレハナリ故ニ
今法文ニ明示セサルモ此章ノ題目ヨリ推スルハ其職務執行ノ際ト解
セサルヲ得サルナリ

〔二〕又該條ノ文面ニ據レハ人ヲシテ其權利ナキ事ヲ行ハシメトアリ所
謂其ナル文字ハ官吏ヲ指ス乎將タ人ヲ指ス乎我カ刑法ノ解釋者中往
々人ナル語ヲ指スモノ、如ク解スル者アレハ佛文草案ニ照セハ此語
ハ官吏ヲ指スモノト解セサルヲ得ス何トナレハ該草案ニハ該官吏ノ
要求スルノ權ヲ有セサル所ノ所爲ヲ行ハシメテ擅ニ人民ニ命シ云々
ト云ヘル、一句アレハナリ然ルニ邦文草案ヨリ以來其文曖昧ニ歸シ幾
ト人ヲシテ其人ノ行フ權ナキコトヲ行ハシメタルヲ云フモノ、如ク
見フレハ理ニ於テ考フルキハ今仍ホ佛文草案ノ如ク解セサルヲ得サ
ルナリ

以上説明スル所ニ基キ今此第一ノ罪ヲ組成スル要素ヲ掲クレハ左ノ
四條件トナル

- 一 官吏擅ニ威權ヲ用ヒタル事
 - 二 其職務ヲ行フ際ナル事
 - 三 其官吏之カ要求ヲ爲スノ權ナキ事柄ナル事
 - 四 人民ヲシテ強テ之レヲ行ハシメタル事
- 又第二ノ罪ヲ組成スルニハ左ノ三條件ヲ具備スルヲ必要トス
- 一 官吏擅ニ威權ヲ用ヒタル事
 - 二 其職務ヲ行フ際ナル事
 - 三 人民ノ爲ス可キ權利ノ實行ヲ妨害シタル事
- 右第一及ヒ第二ノ罪ハ十一日以上二月以下ノ輕禁錮ニ處シ二圓以上
二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス可キモノトス

今ヤ第三ノ罪ヲ組成スル條件ヲ説クニ當リ一言ノ注意セサル可カラサルヲアリ即チ此第二節中檢事ナル語ト檢察官ナル語トヲ混用セシ事是ナリ我カ治罪法ニ於テハ廣ク檢察ノ職務ヲ行フ者ヲ指スニ當リテハ檢察官ナル語ヲ用ヒ其中ノ一ナル檢事ノミヲ指スニ當リテハ檢事ナル語ヲ用フルヲ例トセリ故ニ單ニ檢事トノミ稱スル時ハ檢事長檢事補又ハ檢察官ノ職務ヲ行フ警部ノ如キハ其中ニ包含セサルナリ然ルニ今此節ニ於テ第二百七十七條第二百八十二條第二百八十六條及ヒ第二百八十七條ニハ檢事ナル語ヲ用ヒ獨リ第二百八十三條ニミ檢察官ナル語ヲ用ヒタリ今治罪法ノ例ニ照シ此節ヲ解スルキハ檢事長檢事補又ハ警部ノ如キハ第二百八十三條ヲ除ク外ハ如何ナル瀆職ノ所爲アルモ之レヲ罰スルヲ得サルニ似タリ然レモ立法者ハ斯ノ如キ精神ヲ以テ刑法ヲ規定シタルニアラサル可シ仍テ案スルニ我

カ刑法編纂ノ當時未ダ治罪法ノ制定アラザリシヲ以テ刑法ノ立法者ハ治罪法ノ用例ヲ履マザリシモノト解セサルヲ得ス故ニ此節ニ檢事ナル語ヲ用ヒタルモ其意檢察官ヲ指スニ在ルモノト解スルヲ至當トナス

此第三ノ罪ヲ組成スルニハ左ノ四條件ヲ具備スルヲ要ス

- 一 現ニ人ノ身體財産ヲ妨害スルノ犯人アル事
- 二 其報告ヲ受ケタル事
- 三 其報告ヲ受ケタル者ノ豫審判事又ハ檢事又ハ警察官吏ナル事
- 四 保護ノ處分ヲ爲サル事

右第四ノ要件トシテ掲ケタル保護ノ處分トハ何ソヤ其語漠然タリト雖モ余ノ解スル所ニ據レハ其妨害ヲ受ケタルニ際シ或ハ犯人ヲ逮捕シ或ハ被害者ノ不正ニ拘束ヲ受ケタルキハ之レヲ解ク等ノ處分ヲ云フ

モノニシテ其負傷者ヲ介抱スル如キハ保護ハ則チ保護ナリト雖モ立法者ノ此ニ命スル所ニアラサル可シ
 抑モ此第三ノ罪ハ元ト草案ニ載セサル所ノモノニシテ余輩大ニ解釋ニ苦ム所アリ蓋シ豫審判事及ヒ檢事ハ現行ノ犯人アルニ當リ臨機處分ヲ爲スノ權アルヲハ治罪法ニ照シテ明ナリ然レモ果シテ豫審判事又ハ檢事ニ此處分ヲ爲サ、ル可カラサルノ本分アル乎余ノ考フル所ニ據レ、豫審判事又ハ檢事ニ於テハ各當然ノ職務アリ其犯人ヲ逮捕スル如キハ司法警察官ノ職分ナリ然ルニ豫審判事又ハ檢察官ノ犯人逮捕ヲ爲サ、リントテ其本分ニ背キタルモノトスルヲ得ス然ルニ我刑法ニ於テ之レヲ罰スルモノハ余輩ノ解釋ニ苦ム所ナリ然レモ草案第三百十五條ニ於テ擅ニ人ヲ監禁スルノ犯人アルニ當リ檢事警察官吏之ヲ知リ速ニ檢査解放ノ處分ヲ爲サス又ハ之ヲ其長官ニ報告セサ

ル者ノ罪ヲ定メタリ而シテ現行刑法中別ニ此條文ナシ仍テ案スルニ第二百七十七條ハ草案第三百十五條ノ轉シタルモノナラント若夫レ草案ニ規定スル所ニ止メハ是皆其職分内ノ事ナルヲ以テ余輩敢テ解釋ニ苦マサルナリ
 又第二百七十七條ニハ明示ナキモ此罪ヲ組成スルニハ必ス其職務ヲ行フ時間ニ此報告ヲ受ケタル事ヲ要スト是其非番等ノ場合ニハ之カ報告ヲ受クルノ本分ナク從テ保護ノ處分ヲ爲スノ本分ナケレハナリ
 右第三ノ罪ハ十五日以上三月以下ノ輕禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス可キモノトス
 又第四ノ罪ヲ組成スルニハ左ノ三條件ヲ具備スルヲ必要トス
 一 逮捕官吏ナル事
 二 法律ニ定メタル程式規則ヲ遵守セサル事

(刑法講義)

三 人ヲ逮捕シ又ハ不正ニ人ヲ監禁シタル事

逮捕官吏トハ犯人ヲ逮捕スルノ職掌ヲ有スル官吏ヲ云フ而シテ此職掌ヲ有スル官吏トハ司法警察官巡查憲兵ノ如キニ止マル乎ノ疑ヲ懷ク者アラシ然レモ裁判官檢察官ノ如キ逮捕ヲ命スルノ職掌ヲ有スル者モ亦逮捕官吏ト云ヘル中ニ列セサル可カラサルナリ

又程式トハ法式ノ義ニシテ例ヘハ現行犯ニアラサル時ハ令狀ヲ携帯セサル可カラサルノ類ヲ云ヒ規則トハ逮捕又ハ監禁ニ關スル一切ノ規則ヲ指ス然レモ規則ト云ヘハ其義廣キヲ以テ別ニ程式ナル語ヲ掲グルヲ必要トセサルナリ

然ルニ此ニ一ノ論ス可キヲアリ即チ第三ノ要件中逮捕ノ事ニ付テハ不正ト云ヘル語ヲ附記セス監禁ノ上ニ不正ト云ヘル語ヲ附記シタル事はナリ固ヨリ此第四ノ罪ハ有意犯ナルヲ以テ其規則ニ背キタルコトナリ

ルコトナリ既ニ逮捕シ又ハ監禁シタルコトヲ必要トスルヤ明ナリ既ニ規則ニ背キタルコトナリ既ニ之レヲ爲シタルハ其所爲ハ則チ不正ナリ亦何ソ不正ナル語ヲ加フルヲ要センヤ故ニ余ハ監禁ノ下ニ附記シタル不正ノ語ハ寧ロ削除スルヲ可トスルナリ

此第四ノ罪ハ十五日以上三月以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス可キモノニシテ其中監禁ノ罪ハ其監禁ノ日數十日ヲ過クル毎ニ一等ヲ加フルモノトス是此種ノ罪ハ其日數ノ繼續スルニ從テ人身ノ自由ヲ害スルコト多キニ至レハナリ

- 一 司獄官吏ナル事
- 二 程式規則ヲ遵守セサル事
- 三 囚人ヲ監禁シタル事

此第五ノ罪ト第四ノ罪トニ付キ一ノ注意ス可キ事アリ即チ第四ノ罪ノ監禁罪中ニハ其解放ス可キ時ニ至ルモ故テニ解放セサル者モ包含スレド此第五ノ罪ノ中ニハ解放ス可キ時ニ解放セサル者ヲ包含セサルハ是ナリ何トナレハ別ニ第六ノ罪アリテ其解放ス可キ時ニ解放セサル者ノ罪ヲ明定シタレハナリ

又第六ノ罪ヲ組成スルニハ左ノ三條件ヲ具備スル必要トス

一 司獄官吏ナル事

二 出獄セシム可キ時ニ至リタル囚人ナル事

三 之レヲ放免セサル事

右第五及ヒ第六ノ罪ハ第四ノ罪ト同シク十五日以上三月以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加シ監禁日數十日ヲ過クル毎ニ一等ヲ加フ可キモノトス

又第七ノ罪ヲ組成スルニハ左ノ三條件ヲ具備スルヲ要ス

一 逮捕官吏司獄官吏又ハ護送者ナル事

二 囚人ニ對スル事

三 飲食衣服ヲ屏去シ其他苛刻ノ所爲ヲ施シタル事

此罪ハ三月以上三年以下ノ重禁錮ニ處シ四圓以上四十圓以下ノ罰金ヲ附加ス可キモノトス然ルニ若シ此第七ノ罪ヲ犯シタルノ結果囚人ヲ死傷ニ致シタル時ハ毆打創傷ノ各本條ニ照シ一等ヲ加ヘ重キニ從テ處ス可キモノトス

又第八ノ罪ヲ組成スルニハ左ノ四條件ヲ具備スルヲ必要トス

一 水火震災ノ際ナル事

二 囚人ノ監禁ヲ解カサリシ事

三 官吏之レヲ解クヲ怠リシ事

四 之カ爲メニ囚人ヲ死傷ニ致シタル事

右ノ條件中ニ在ル官吏トハ囚人ヲ監守スル所ノ官吏ヲ云フ其官吏ニシテ其職務ヲ怠ルニ由リテ此罪ヲ組成スルナリ
又監禁ヲ解クヲ怠リトアルニ由リテ考フルハ此罪ハ故意ヲ以テセサルモ成立スルモノ、如シ然ルニ我立法者ハ此罪ヲ罰スルニ毆打創傷ノ各本條ニ照シ一等ヲ加フ可キモノトセリ是無意犯ニ取リテハ其刑ノ重キニ過クル如シト雖モ怠リト云ヘル語アル以上ハ已ムヲ得ス無意犯ト解セサルヲ得サルナリ

又第九ノ罪ヲ組成スルニハ左ノ四條件ヲ具備スルヲ必要トス

- 一 裁判官檢事又ハ警察官ナル事
- 二 被告人ニ對スル事
- 三 罪狀ヲ陳述セシムル爲メナル事

四 暴行ヲ加ヘ又ハ陵虐ヲ加ヘタル事

右第四ニ所謂ル暴行トハ腕力ヲ以テ白狀ヲ促スヲ云ヒ陵虐トハ或ハ衣服ヲ屏去シ或ハ飲食ヲ屏去スル如キ苛酷ナル取扱ヲ爲シテ白狀ヲ促スヲ云フ然ルニ我カ刑法中脅迫ナル語ナキヲ以テ其脅迫ニ由リ爲シタル白狀ハ固ヨリ無効ナルモ其脅迫ヲ爲シタル者ハ之レヲ罰スルヲ得サルナリ

此第九ノ罪ハ四月以上四年以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス可キモノトス若之カ爲メ被告人ヲ死傷ニ致シタル時ハ毆打創傷ノ各本條ニ照シ一等ヲ加ヘ重キニ從テ處斷ス可キモノトス

又第十ノ罪ヲ組成スルニハ左ノ三條件ヲ具備スルヲ必要トス

- 一 裁判官又ハ檢察官ナル事

二 訴ヲ受理セス又ハ遷延シテ審理セサル事

三 之レヲ受理セス又ハ遷延スル正當ノ理由ナキ事
此罪ニ付キ三個ノ注意ス可キコアリ左ニ之ヲ説カン

(一)右ノ條件中所謂ル訴トハ民刑共ニ包含スルコトハ刑法ニ明文アル所ナリ然ルニ行政又ハ商事ノ訴ニ付テハ刑法ニ明文ナシ是精密チ欠クモノト謂ハサルヲ得ス然レモ方今我邦ニ於テハ商事ノ訴ニ付キ別段其手續ヲ異ニスルコトナク又其裁判官ヲ異ニスルコトナキヲ以テ之レチ民事ノ訴トナスモ妨ナシ但シ行政裁判ニ至テハ其裁判管轄并ニ其手續ヲ異ニシ且其性質上民事トモ刑事トモ謂フ能ハサルモノナレハ之レチ民事ノ訴ト云ヘル中ニ包含セシムルハ比附援引ノ嫌アリ故ニ是等ハ速カニ増補アラントチ希望ス

(二)又右ニ所謂ル訴トハ告訴告發ヲ包含スルヤ否ヤニ付キ我カ刑法ノ

解釋者中包含セサル者トナス者往々之アリ尤モ告發ヲ以テ訴ニアラストナスハ余モ亦同説ナリト雖モ告發ヲ以テ訴ニアラストスルハ余ノ取ラサル所ナリ若シ告訴ヲ訴ニアラストセハ檢察官ハ訴ヲ受ケ又ハ之レヲ審理スルコトナキヲ以テ立法者ノ第二百八十三條ニ檢察官ノ稱ヲ掲ケタルハ全ク無要ナリト謂ハサルヲ得ス而シテ無要ノ義ト有要ノ義ト何レニモ解セラル、キハ有要ノ義ニ解スルヲ以テ原則トス故ニ余ハ告訴モ亦包含スルモノトナスナリ

(三)第二百八十三條ニハ民刑ノ訴共ニ包含スルト雖モ檢察官ハ民事ノ訴ニ干渉セサルヲ以テ檢察官ハ唯刑事ノ告訴ヲ受理セサル場合ニ限ルモノト解セサルヲ得サルナリ

此第十ノ罪ハ十五日以上三月以下ノ輕禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス可キモノトス

右ニ掲ケタル第十一ノ罪ハ賄賂收受ノ罪ナリ抑モ官吏賄賂ヲ收受スルノ所爲ハ古來其國ノ制度未タ整頓セス官吏ノ威權盛ナル片ニ當テハ大ニ行ハレタルモノナリト雖モ此所爲ノ如キハ所謂ル其官權ヲ賣ルモノニシテ其情ヤ惡ム可ク又之カ爲メニ生スル公私ノ害ハ尠少ナラス故ニ苟モ其制度ノ整頓セル國ニ在テハ嚴ニ之レヲ罰スルコト爲セリ而シテ此罪ヲ組成スル普通ノ要件ハ左ノ如シ

第一 官吏タルノ資格ヲ有スル者之カ犯人ナル事

第二 贈送ヲ受ケ又ハ之レヲ受クルノ約束ヲ爲シタル事

第三 其職務上ノ事ニ關シテ之レヲ受ケ又ハ約束シタル事

右ニ列記スル所ハ賄賂收受罪ニ普通ナル要件ナリト雖モ其官吏ノ種類并ニ職掌ニ由リテ自ラ其害ニ輕重アルヲ以テ更ラニ之レヲ細別セサル可カラス今我カ刑法ニ於テハ之レヲ三種ニ區別シタリ

一 裁判官民事ノ裁判ニ關シテ賄賂ヲ收受シ又ハ之ヲ聽許シタル罪

二 裁判官檢察官吏刑事ノ裁判ニ關シテ賄賂ヲ收受シ又ハ之ヲ聽許シタル罪

三 官吏人ノ囑託ヲ受ケ賄賂ヲ收受シ又ハ聽許シタル罪(但シ前二種ノ罪トナラサル場合ニ限ル)

右第一種ノ罪ヲ組成スルニハ左ノ三條件ヲ具備スルヲ要ス

一 裁判官タル身分ヲ有スル者之カ犯人ナル事

二 贈與ヲ收受シ又ハ之レヲ受クルコトヲ約シタル事

三 其已レノ職務上關係セル民事ノ訴訟ニ關シテ之レヲ收受シ又ハ約束シタル事

裁判官タル者ハ一國ノ公道正義ヲ維持センカ爲メニ設ケタル官職ナ

レハ他ノ官吏ニ比スレハ殊ニ最モ其行ヲ正フシ其職ヲ守ラサルヲ得
 ス然ルニ其官職ヲ奇貨トシ不義ノ利益ヲ得ントスルノ風盛ニ行ハル
 、ニ於テハ其國ノ公道正義ハ將タ何ニ依リテ之レヲ維持センヤ是他
 ノ官吏ヨリ特ニ其刑ヲ重クシテ之レヲ罰セサル可カラサル所以ナリ
 而シテ賄賂ヲ收受シタルモノトナスニハ金錢若クハ有價物ノ贈遺ヲ
 受ケタルハ勿論縱令ヒ其表面ヲ賣買又ハ貸借ニ裝フモ其實贈遺ヲ
 爲スニ在リシキハ亦以テ賄賂トナスニ足ル可ク又直接ニ其裁判官カ
 爲サ、ルモ其妻子又ハ家族ノ者ニ爲シタル場合ニ於テモ亦賄賂ヲ収
 受シタル者トナスヲ得可シ然レハ賄賂收受ノ罪ヲ以テ罰スルニハ其
 官吏ニ於テ情ヲ知リタルヲ要ス故ニ其訴訟ノ關係人ニ在テハ贈遺
 ナ爲スノ意ナリシモ裁判官ハ賣買又ハ貸借ノ意ヲ以テ爲シタルキハ
 裁判官ニ賄賂收受ノ罪ヲ組成セズ又妻子若クハ家族ニ於テ訴訟ノ關

係人ヨリ贈遺ヲ受ケタルヲアルモ裁判官ニ於テ之レヲ知ラサキハ亦
 此罪ヲ組成セサルナリ

然ルニ此ニ注意ス可キハ其身裁判官ナリト雖モ其已レノ關係セル事
 件ニ付テ贈遺ヲ受ケ又ハ約束ヲ爲シタルヲアルモ其已レノ關係セサ
 ル事件ナレハ常人ト異ナルナキヲ以テ或ハ詐欺取財等ノ罪ヲ組成ス
 ルヲアル可キモ賄賂收受ノ罪ヲ組成スルヲアラサルナリ

右第一種ノ罪ハ賄賂ヲ收受シ又ハ之レヲ聽許セシニ止マルキハ二月
 以上二年以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス可
 キモノナレハ若シ其賄賂ノ爲メニ不正ノ裁判ヲ爲シタルキハ一等ヲ
 加フ可キモノトス

又第二種ノ罪ヲ組成スルニハ左ノ三條件ヲ具備スルヲ要ス

一 裁判官檢事警察官吏タル者之カ犯人ナル事

- 二 贈與ヲ收受シ又ハ之ヲ收受ス可キヲ約シタル事
- 三 其已レノ職務上關係セル刑事ノ訴訟ニ關シテ之ヲ收受シ又ハ約シタル事

此第二種ノ罪ハ唯其賄賂ヲ收受シ又ハ約シタルニ止マルキハ第一種ノ罪ト同シク二月以上二年以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス可キモノトスレド此場合ニハ其賄賂ノ爲メニ被告人ヲ曲庇シタルト陷害シタルトヲ區別シ其曲庇シタル場合ニハ三月以上三年以下ノ重禁錮ニ處シ十圓以上百圓以下ノ罰金ヲ附加シ其陷害シタル場合ニハ二年以上五年以下ノ重禁錮ニ處シ二十圓以上二百圓以下ノ罰金ヲ附加ス可キモノトセリ是其陷害ノ場合ニハ當ニ公道正義ヲ曲クルニ止マラス被告人ナル者ノ直接ニ害ヲ受クルヲ大ナルヲ以テナリ又唯陷害ニ止マラス被告人ヲ枉斷シ其枉斷ノ刑上ニ掲ケタ

ル所ヨリ重キキハ第二百二十一條第二百二十二條ノ例ニ照シテ反坐ス可キモノトセリ

又第三種ノ罪ヲ組成スルニハ左ノ三條件ヲ具備スルヲ要ス

- 一 官吏タル資格ヲ有スル者ノ犯人ナル事但シ前二種ノ罪ノ中ニ包含セサル場合ニ限ル
 - 二 贈遺ヲ收受シ又ハ之レヲ收受ス可キヲ約シタル事
 - 三 其已レノ職務上ノ事ニ關シ人ヨリ囑託ヲ受ケタル事
- 此第三種ノ官吏ト云ヘル中ニハ司法官ト行政官トヲ問ハス廣ク官吏タルノ資格ヲ有スル者ヲ包含スルト雖モ前二種ノ罪トナル場合ハ此中ニ包含セサルナリ此故ニ例ヘハ行政裁判ニ付裁判官ノ賄賂ヲ收受シタル場合ノ如キ余ノ曩キニ述ヘタル如ク行政裁判ハ官民ノ間ニ生スル事柄ニシテ民事ノ訴訟タル性質ヲ有スルモノニアラス又刑事ノ

- 二 贈與ヲ收受シ又ハ之ヲ收受ス可キヲ約シタル事
- 三 其已レノ職務上關係セル刑事ノ訴訟ニ關シテ之ヲ收受シ又ハ約シタル事

此第二種ノ罪ハ唯其賄賂ヲ收受シ又ハ約シタルニ止マルキハ第一種ノ罪ト同シク二月以上二年以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス可キモノトスレド此場合ニハ其賄賂ノ爲メニ被告人ヲ曲庇シタルト陷害シタルトヲ區別シ其曲庇シタル場合ニハ三月以上三年以下ノ重禁錮ニ處シ十圓以上百圓以下ノ罰金ヲ附加シ其陷害シタル場合ニハ二年以上五年以下ノ重禁錮ニ處シ二十圓以上二百圓以下ノ罰金ヲ附加ス可キモノトセリ是其陷害ノ場合ニハ當ニ公道正義ヲ曲クルニ止マラス被告人タル者ノ直接ニ害ヲ受クルト大ナルヲ以テナリ又唯陷害ニ止マラス被告人ヲ枉斷シ其枉斷ノ刑上ニ掲ケタ

ル所ヨリ重キキハ第二百二十一條第二百二十二條ノ例ニ照シテ反坐ス可キモノトセリ

又第三種ノ罪ヲ組成スルニハ左ノ三條件ヲ具備スルヲ要ス

- 一 官吏タル資格ヲ有スル者ノ犯人ナル事但シ前二種ノ罪ノ中ニ包含セサル場合ニ限ル

- 二 贈遺ヲ收受シ又ハ之レヲ收受ス可キヲ約シタル事

- 三 其已レノ職務上ノ事ニ關シ人ヨリ囑託ヲ受ケタル事

此第三種ノ官吏ト云ル中ニハ司法官ト行政官トヲ問ハス廣ク官吏タルノ資格ヲ有スル者ヲ包含スルト雖モ前二種ノ罪トナル場合ハ此中ニ包含セサルナリ此故ニ例ニハ行政裁判ニ付裁判官ノ賄賂ヲ收受シタル場合ノ如キ余ノ彙キニ述ヘタル如ク行政裁判ハ官民ノ間ニ生スル事柄ニシテ民事ノ訴訟タル性質ヲ有スルモノニアラス又刑事ノ

訴訟ニアラサルヲ勿論ナリ故ニ第一種及ヒ第二種ノ罪ヲ組成ス可キ
モノニアラス仍テ此第三種ノ罪ノ中ニ包含セシメサル可カラサルナ
リ
此第三種ノ罪ハ賄賂ヲ收受シ又ハ之レヲ約シタルニ止マルキハ一月
以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ四圓以上四十圓以下ノ罰金ヲ附加ス可
キモノナレモ若シ其賄賂ノ爲メニ不正ノ處分ヲ爲シタルキハ一等ヲ
加フ可キモノトス

然ルニ此ニ一ノ注意ス可キヲアリ即チ草案ノ頃ニハ特ニ明文ヲ掲ケ
テ其賄賂ヲ贈與シ又ハ之レヲ與ヘント約シタル者モ亦官吏ト同罪ニ
處スルモノトシタルモ修正ノ際之レヲ削除セラレタルヲ以テ今ヤ此
罪ノ性質ニ基キ其賄賂ヲ贈與シ又ハ與ヘント約シタル者ハ之レヲ罰
スルヲ得サルナリ何トナレハ其之レヲ贈與シタル者ノ如キハ其職務

ヲ濫シタル者ト謂フヲ得サルニ由リ毫モ之レヲ罰スルノ理由アラサ
レハナリ

又此ニ一ノ注意ス可キヲアリ即チ我カ刑法ノ解釋者中官吏賄賂ヲ収
受シ又ハ聽許シタルモ其不正ノ處分ヲ爲サ、ル前之レヲ返還シ又ハ
取消シタル時ハ未遂犯ノ例ニ據リテ處分ス可キモノト爲ス者アレモ
是誤謬ノ極端ト謂フ可シ蓋シ此事タル世ニ信用ナキ者ノ説ナレハ余
輩敢テ駁スルニ足ラスト雖モ方今我カ邦ニ於テ信用アル人ニシテ此
説ヲ爲スニ由リ一言此ニ駁セサル可カラス抑モ賄賂收受罪ニ關スル
刑法ノ各條ヲ通覽スルニ此種ノ罪ハ其賄賂ヲ收受シ又ハ聽許シタル
ニ由リテ成立スルモノナリ既ニ此罪ヲ成立シタル以上ハ縱令ヒ其後
ニ至リ之レヲ返還シ又ハ其聽許ヲ取消シタリトテ既遂ノ罪變シテ未
遂トナル可キノ理由ナシ是誤謬ノ第一ナリ又賄賂收受ノ罪ハ皆輕罪

ノ刑ヲ以テ處分ス可キモノナレハ特ニ明文アルニアラサレハ未遂犯
ヲ罰スルコトナシ而シテ我カ刑法中之カ明文ナシ然ルニ問題ノ場合ニ
於テ未遂犯ノ例ヲ以テ處分スルモノトシタルハ是誤謬ノ第二ナリ以
上二個ノ誤謬ハ刑法ヲ知ラサル者ニアラサレハ不注意ノ最モ甚シキ
ニ出テタルモノナリ是余ノ之レヲ評シテ誤謬ノ極端ナリト云ヒシ所
以ナリ

第十二ノ罪ヲ組成スルニハ左ノ三條件ヲ具備スルヲ必要トス

- 一 裁判官檢事又ハ警察官吏タル資格ヲ有スル者之カ犯人ナル事
- 二 情ニ徇カヒ又ハ怨ヲ挾サミタル事
- 三 被告人ヲ曲庇シ又ハ陷害シタル事

此場合ニ於テ其曲庇ヲ爲シタルキハ三月以上三年以下ノ重禁錮ニ處
シ十圓以上百圓以下ノ罰金ヲ附加ス可ク陷害ヲ爲シタルキハ二年以

上五年以下ノ重禁錮ニ處シ二十圓以上二百圓以下ノ罰金ヲ附加ス可
ク又枉斷ヲ爲シ其枉斷シタル所ノ刑曲庇又ハ陷害ノ刑ヨリ重キ時ハ
第二百二十一條第二百二十二條ノ例ニ照シテ反坐ス可キモノトス
以上述ヘタル賄賂收受ノ罪ニ付キ己ニ賄賂ヲ收受シタル時ハ其現存
スル者ハ之レヲ沒収シ費用シタル者ハ其價ヲ追徴ス可キモノトセリ
蓋シ總則ノ沒収例ニ據レハ其收受シタル賄賂ノ如キハ罪体トナル可
キモノナリ何トナレハ此賄賂ヲ受ケタルコトハ此犯罪ヲ組成スルノ一
原素ナレハナリ故ニ之レヲ沒収セサルチ原則トス然ルニ今之レヲ沒
収スルモノトシタルハ一ノ變例ナリ又殊ニ沒収ハ其現存スル物ニ付
テノミ之レヲ行フ可キニ其費用シタル物マテ其價ヲ追徴スルモノト
シタルハ亦一ノ變例ナリトス抑モ刑法ニ於テ此罪ニ限り之カ變例ヲ
設ケタルモノハ是之レヲ以テ刑罰ノ効ヲ補ハンガ爲メニ過キサル可

○第三節 官吏財産ニ對スル罪

此節ニ規定スル所ノ罪ニアリ即チ左ノ如シ

- 一 官吏自ラ監守スル所ノ金額物件ヲ竊取シタル罪
- 二 租税官吏其他諸般ノ入額ヲ徴収スル官吏正數外ノ金穀ヲ徴収シタル罪

右第一ノ罪ヲ組成スルノ要件ヲ説クニ方リ一言セサル可カラサル事アリ即チ我カ刑法第二百八十九條ニハ金穀物件ヲ竊取シタル者トアルニ由リ恰モ竊盜罪ノ一種ニ似タリト雖モ其性質ハ竊盜罪ニアラス何トナレハ竊盜ハ必ス自己ノ保管内ニ之ナキ物ヲ奪去ルノ事實ナカル可カラス而シテ此種ノ罪ハ自己ノ保管内ニ存スルモノナレハ此要件ヲ具フルコアラサレハナリ故ニ今此罪ヲ組成スルニハ左ノ三條件

ヲ具備スルヲ必要トス

- 一 官吏タル資格ヲ有スル者ナル事
- 二 擅マニ使用シ又ハ隱匿シタル事
- 三 監守スル所ノ金穀又ハ物件ナル事

右第一ノ罪ハ輕懲役ニ處ス可キモノナレモ之カ爲メ官ノ文書簿冊ヲ消滅變換シ又ハ毀棄シタル時ハ第二百五條ノ例ニ照シテ處斷ス可キモノトス

又第二ノ罪ヲ組成スルコハ左ノ二條件ヲ具備スルヲ必要トス

- 一 租税其他諸般ノ入額ヲ徴収スル官吏ナル事
- 二 正數外ノ金穀ヲ徴収シタル事

此第二ノ罪ハ二月以上四年以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス可キモノトス

此節ニ規定シタル罪ニシテ輕罪ノ刑ニ處スル場合ニハ六月以上二年以下ノ監視ニ付ス可キモノトス

○第三編 身體財産ニ對スル重罪輕罪

我カ刑法ニ於テハ直接ニ社會ヲ害スル重罪輕罪ト直接ニ一私人ヲ害シ間接ニ社會ヲ害スル重罪輕罪トヲ區別シ其第一ノモノヲ第二編ニ掲ケ其第二ノモノヲ此編ニ掲ケタリ

○第一章 身體ニ對スル罪

此章ノ題目ニ掲ケタル身體ナル語ハ第二章ノ財産ナル語ニ對スル稱ニシテ其區域甚タ廣ク畜ニ人ノ形體ニ害ヲ加フルモノ、ミナラス人ノ名譽ヲ害スルモノモ亦此章中ニ包含ス

○第一節 謀殺故殺ノ罪

此節ハ則チ人ノ形體ニ對シ害ヲ加フル犯罪中其最モ重キモノヲ規定シタリ即チ謀殺及ヒ故殺ノ罪是ナリ今余輩ハ便宜上先ツ故殺罪ノ事ヲ説キ後ニ謀殺ノ事ヲ説カン

○故殺罪ノ事

故殺ノ罪ヲ組成スルニハ左ノ二條件ヲ具備スルヲ必要トス

一 人ヲ殺スノ所爲ヲ行フタル事

二 人ノ生命ヲ奪フノ意ニ出テタル事

右ニ掲ケタル二個ノ要件ニ付キ暫ク左ニ説明セン

〔一〕故殺ト云ヘル文字ハ必スシモ人ヲ殺害スル場合ニノミ限ルニアラズ苟モ故意ヲ以テ生アル物ノ命ヲ奪フ所爲ハ皆故殺ト云フヲ得可シ然レモ今刑法上故殺ト稱スルモノハ必ス生アル人ノ命ヲ故意ヲ以テ奪フ所爲ニ限ル故ニ禽獸ノ命ヲ故意ヲ以テ奪フモ第四百二十二條及ヒ第四百二十三條ノ罪ヲ組成スルハ格別決シテ此節ノ罪ヲ組成セサルナリ

〔二〕其所爲ハ縱令ヒ人ヲ殺スノ所爲ナリシモ犯人ニ於テ人ノ生命ヲ奪

フノ意思ナカリシキハ或ハ毆打殺ヲ組成シ或ハ過失殺ヲ組成スルコトアルモ決シテ故殺罪ヲ組成セサルナリ故ニ故殺罪ヲ以テ論セントスルニハ先ツ犯人ニ人ノ生命ヲ奪フノ意思アリシコトヲ証明セサル可カラサルナリ然レモ犯人ニ人ノ生命ヲ奪フノ意思アリシコトハ其所爲自体ヲ見テ推測スルニ足ルコトアリ例ヘハ白刃ヲ以テ人ヲ撃テハ其結果自ラ人ノ生命ヲ奪フニ足ルコトハ苟モ辨別心ヲ備フル者ノ豫知ス可キ所ナレハ此所爲ヲ爲シタル犯人ニ於テ元ト生命ヲ奪フノ意ニ出テタルニ非ス毆打センカ爲メニ爲シタルナリト弁解スルモ此弁解ハ之レヲ採用スルヲ得サルナリ故ニ裁判官ハ其故ラニ白刃ヲ以テ撃チシ事實ニ由リ故殺罪ト認定スルモ決シテ越權ニアラサルナリ又故殺罪ヲ組成スルニハ必スシモ兇惡ノ心アルコトヲ要セス例ヘハ國家ノ爲メニ兇徒ヲ殺害セシコトアルモ其身其職分ニアラスシテ擅マニ人ヲ殺傷ス

ルハ決シテ法ノ許サ、ル所ナリ故ニ唯人ノ生命ヲ奪フノ意ヲ以テ殺害ノ所爲ヲ爲シタルモハ縦合ヒ兇惡ノ心ナキモ故殺罪ヲ組成スルニ充分ナリトス

上ニ述ヘタル如ク故殺罪ヲ組成スルニハ必ス人類ヲ殺シタルモノニ限ルトセハ此ニ如何ナルモノヲ人類トナスヲ得可キ乎ノ問題ヲ生ス今此問題ヲ詳ニスレハ人ノ腹中ヨリ出テタル者ト雖モ人類ノ形体ヲ備ヘケル者アリ又獸類ノ腹中ヨリ出テタルモノト雖モ必スシモ人類ノ形体ヲ備ヘタル者之ナシトセス此場合ニ於テ人ノ腹中ヨリ出テタル者ナレハ其形体ノ如何ヲ問ハス人類トナス可キ乎又獸類ノ腹中ヨリ出テタルモノナレハ其形体ノ如何ヲ問ハス之レヲ獸類トナス可キ乎ト謂フニ在リ此問題ニ付テハ種々ノ說アリト雖モ余ハ其何レノ腹中ヨリ出テタルヲ問ハス苟モ人ノ形体ヲ備ヘ何人ノ見ルモ其人類ナ

ルコトヲ知り得可キモノナレハ之レヲ人類トナシ之レヲ殺シタル者ハ人ヲ殺シタルモノト爲スヲ可トスルナリ

抑モ人ノ生命ハ各人ノ最モ重スル所ノモノナレハ人類互ニ尊重スルモ亦他ノ名譽財産ヨリモ上ニ位ス可キモノナリ然ルニ若シ之レヲ害スルモノアレハ其刑ヤ重カラサルヲ得ス故ニ我カ立法者ハ無期徒刑ヲ以テ之レヲ罰スルコトセリ

通常ノ故殺罪ハ無期徒刑ヲ以テ罰ス可キモノナレハ其情狀ニ由リテ更ラニ其刑ヲ加重ス可キ場合アリ刑法第二百九十五條及ヒ第二百九十六條ニ於テ二個ノ場合ヲ規定シタリ

第二百九十五條ニハ支解折割其他慘刻ノ所爲ヲ以テ人ヲ故殺シタル者ハ死刑ニ處ス可キモノトセリ支解トハ手足ヲ離スノ類ヲ云ヒ折割トハ骨ヲ折リ又腹背ヲ剖キ割ルノ類ヲ云フ夫レ斯ノ如キ慘刻ノ所爲

ヲ以テ人ヲ殺シタル者ハ通常ノ故殺ヨリ其情狀重キヲ以テ死刑ニ處スルモノトナセシナリ

第三百九十六條ニハ重罪輕罪ヲ犯スニ便利ナル爲メ又ハ已ニ犯シテ其罪ヲ免カル、爲メ人ヲ故殺シタル者ハ死刑ニ處ス可キモノトセリ是其故殺ヲ爲スノ原由他ノ重罪又ハ輕罪ヲ犯スニ便利ナラシメ又ハ之レヲ免カレンカ爲メニ在リテ其情狀惡ム可キ所アレハナリ何トナレハ通常ノ故殺ハ一時ノ熱情ニ出テタルモノナリト雖モ此條ノ故殺ハ之レヲ以テ他ノ犯罪ノ補助トナシタルモノナレハ奸惡ノ程度自ラ同一ナラサレハナリ

此ニ一ノ問題アリ曰ク重罪輕罪ヲ犯スノ便利ニセンカ爲メ人ヲ故殺シタルキハ未タ其重罪輕罪ニ着手セサルモ亦第二百九十六條ヲ適用スルヲ得可キ乎ト此問題ニ付テハ我邦ノ解釋者中種々ノ說アレモ余ハ

其重罪輕罪ヲ犯スニ便利ナル爲メニシタリトノ確証アルニ於テハ未タ重罪輕罪ニ着手セサルモ該條ヲ適用シテ妨ナシト思考ス蓋シ該條ノ加重ハ故殺罪ニ附屬スル加重ノ情狀ニシテ其故殺ヲ以テ情狀ノ惡ム可キハ其格別ナル意思ヲ以テ之レヲ爲シタルカ爲メナリ然ラハ則チ他ノ重罪輕罪ニ着手セサルモ其故殺ヲ爲ス當時ノ意思ニ於テ情ノ惡ム可キハ同一ナラサルヲ得サレハナリ

○謀殺罪ノ事

謀殺ノ罪ハ故殺罪ニ一ノ豫謀ナル條件ヲ加フルモノトス仍テ此罪ヲ組成スルニハ左ノ三條件ヲ具備セサル可カラス

- 一 人ヲ殺スノ所爲ヲ行フタル事
- 二 人ノ生命ヲ奪フノ意ニ出テタル事
- 三 豫メ謀リタル事

右ニ掲ケタル第一第二ノ條件ハ故殺罪ノ爲メニ説明セシ所ト相異ナ
 ラサルニ由リ余ハ唯第三ノ條件ニ付之カ説明ヲ下サン
 抑モ豫謀トハ其殺害ノ所爲ニ先ダテ殺害ノ方法ヲ計畫スルノ所爲ヲ
 云フモノニシテ例ヘハ兇器ヲ準備シ同類ヲ集ムルノ類皆豫謀ノ所爲
 トナスヲ得可シ而シテ豫謀ヲ爲スノ時間ニハ多少ノ長短アリト雖モ
 其決意ヨリ實行ニ至ルマテ靜思熟考ノ暇アリシ事ヲ必要トス例ヘハ
 甲者乙者ノ爲メニ侮辱セラレ憤怒ニ乘シ乙者ヲ殺害セントスルモ兇
 器ナキヲ以テ一旦家ニ歸リテ兇器ヲ携ヘ再ヒ甲ノ家ニ往キ甲ヲ殺害
 シタル場合ノ如キ決意ヨリ殺害ニ至ルマテ多少ノ時間ヲ隔テタルモ
 憤怒ノ裡ニ爲シタル行爲ニシテ靜思熟考ノ暇アラザリシニ由リ謀殺
 ノ所爲トナスヲ得サルナリ
 又犯人ノ中ニハ未必ノ條件ヲ以テ豫謀ヲ爲スコトアリ例ヘハ彼レ若シ

大金ヲ有スレハ殺害セント決意シ又ハ彼レ我レニ對抗スレハ殺害セ
 ント決意シタル場合ノ如キ是ナリ夫レ此場合ニ於テハ確然決意シタ
 リト謂ヒ難キ所アルモ其像メ企圖シタル條件ノ果シテ之アリ其殺害
 ノ所爲ニ着手セシキハ最初ヨリ決意シタルト同一ノ結果ヲ生シ其時
 間ニ豫謀ノ見ル可キ所爲アリシキハ之レヲ謀殺トナスニ妨ナキナリ
 又犯人ノ中ニハ豫メ何某ヲ殺サント確定セス其處ヲ通行スル者ヲ殺
 サント決意スル者アリ縱令ヒ其殺害ス可キ人ヲ確定セサルモ或ハ待
 伏等ヲ爲シタル如キ豫謀ノ所爲アルキハ亦之レヲ謀殺トナスニ妨ナ
 キナリ
 然レモ豫謀ノ條件ヲ具フルモノトナスニハ其殺害ノ事ヲ計畫シタル
 所爲ノ見ル可キモノナカル可カラズ縱令ヒ豫メ殺意アリシモ之カ殺
 害ノ豫備ヲ爲シタル事實ナキニ於テハ謀殺トナスヲ得ス例ヘハ甲者

乙者ヲ殺サント欲スルヤ年既ニ久シカリシカ絶テ乙者ニ邂逅セザリ
 シヲ以テ其意ヲ果サハリシ然ルニ一日途中ニテ乙者ニ邂逅セシニ由
 リ其携フ所ノ杖ヲ以テ毆殺セシ場合ノ如キ其殺意ハ夙トニ之アリシ
 モ別ニ乙者ニ付ケ狙ヒシ等ノ事實ナケレハ豫謀ノ所爲アリトスルヲ
 得サルニ由リ故殺ヲ以テ論ズ可ク謀殺ヲ以テ論ス可カラサルナリ
 謀殺ノ罪ハ上ニ述ヘタル如ク殺害ノ所爲ニ先テ決意アリ且ツ計畫
 ナ爲シタルモノナレハ其惡意ハ一時ノ憤怒ニ乘シテ爲シタル者ヨリ
 モ深ク又巧ミニ計畫ヲ爲スキハ人其害ヲ避クルヲ難シ故ニ其情狀惡
 ム可ク其害モ亦大ナリ仍テ我カ刑法ニ於テハ此罪ニ科スルニ死刑ノ
 極刑ヲ以テシタリ

○毒殺ノ事

毒殺トハ毒物ヲ施用シテ人ヲ殺スノ所爲ヲ云フ故ニ此罪ヲ組成スル

ニハ左ノ二條件ヲ具備セサル可カラス

一 毒物ヲ施用シタル事

二 人ヲ殺サン爲メニ施用シタル事

右ノ二條件ヲ左ニ説明セシ

(一)毒物トハ如何ナル物ヲ云フ乎廣ク此語ヲ解スルキハ人ノ健康ヲ害
 スルニ止マル物ト雖モ亦此中ニ包含スルモノ、如シ然レモ今此ニ所
 謂ル毒物トハ人ヲ死ニ致スニ足ル可キ性質ヲ具フル物ナラサル可カ
 ラズ夫ノ毒藥ノ如キハ僅少ノ分量ト雖モ直ニ人ノ生命ヲ害スル物ナ
 ルニ由リ此ニ所謂ル毒物中ニ包含スルヲ勿論ナリ然レモ劇藥ト稱ス
 可キ物ハ其用量ニ由リテ危害ヲ生スル物ナルニ由リ僅少ノ分量ニテ
 ハ人ノ生命ヲ害スルニ至ラス故ニ其人ヲ殺スニ足ル可キ分量ヲ含マ
 サルハ毒物ヲ施用シタルモノトナスヲ得サルナリ

右ニ述ヘタル如ク毒物ト稱スルニハ人ノ生命ヲ害スルニ足ル可キ物ナルヲ必要トスルモ其効驗ハ必スシモ即時ニ生スルヲ要セス縱令多少ノ時日ヲ隔ツルモ其効驗ニ由リテ人ヲ死ニ致スニ足ルキハ亦毒物ヲ施用シタルモノト爲ヌヲ得可キナリ

又施用ノ方法ニ至テハ種々アリ或ハ口ヨリ服用セシムルアリ或ハ肛門ヨリ注入スルアリ或ハ身体ニ注射スルアリト雖モ苟モ爲メニ人ヲ死ニ致スニ足ルキハ敢テ其方法如何ヲ問フヲ要セサルナリ

又毒物ヲ施用シタリトスルニハ犯人自ラ毒物ヲ其殺サントスル人ノ體中へ注入スルヲ必要トセス或ハ良藥ト偽リ或ハ通常ノ飲食物ニ混シ其人ヲシテ自ラ飲食セシメタルキモ亦毒物ヲ施用シタルモノトナスニ足ル可シ然レモ既ニ之レヲ施用シタルモノトナスニハ少ナクモ其人ノ自ラ其儘飲食シ得可キ處マテニ仕向ケタル事ヲ必要トス例

へハ膳部ニ盛リタル飲食物中ニ毒物ヲ混入シタルモ未ダ之レヲ其人ノ面前へ差出ス乎又ハ其人ノ必然來テ食ス可キ場所ニ供ヘサル中ハ仍ホ豫備ノ所爲ニ止マルヲ以テ既ニ毒物ヲ施用シタルモノトナスヲ得サルナリ

〔二〕毒物ヲ施用スルハ必スシモ人ヲ殺サンカ爲メニ施用スルモノニアラス或ハ獸類ヲ殺サンカ爲メニ之レヲ施用スルヲアリ故ニ特ニ第二ノ條件ヲ掲ケ人ヲ殺サン爲メニ施用シタル事ヲ必要トセサル可カラサルナリ

以上述ヘタル二個ノ條件ヲ具備スルキハ毒殺ノ罪ヲ組成スルニ足ルモ毒殺既遂トナスニハ仍ホ一ノ條件ヲ加ヘサル可カラズ即チ毒物ノ効ニ由リテ人ヲ死ニ致シタル事はナリ故ニ人ヲ殺スノ目的ヲ以テ毒物ヲ施用シ且ツ其人ヲ死ニ致シタルモ其死ハ則チ毒物ノ効驗ニ原由セ

シモノニアテサレハ毒殺既遂ト爲スヲ得サルナリ例ハ此ニ毒物ヲ
 飲食ニ混シテ其殺サント欲スル人ニ差メ其人之レヲ食シ盡シタル時
 偶然流丸ノ來リテ其人ニ命中セシ爲メ其人ノ死シタル場合ノ如キ毒
 物ノ爲メニ死シタルニアラサレハ毒殺既遂トナスヲ得ス寧ロ意外ノ
 舛錯ニ由リ遂ケサルモノトセサル可カラサルリ斯ク言フキハ人或ハ
 其殺サント欲スル人ノ死シタルニモ拘ハラズ意外ノ舛錯ニ由リテ遂
 ケサルモノトナスヲ疑フナラン然レモ其犯人ハ元ト毒物ヲ用ヒテ殺
 サント欲シタルニ他ノ原由ニテ死シタル爲メ毒物其効ヲ奏セサリシ
 片ハ是意外ノ舛錯ニ相違ナケレハ決シテ疑フニ足ラサルナリ
 我カ刑法第二百九十三條ニ於テ毒物ヲ施用シテ人ヲ殺シタル者ハ謀
 殺ヲ以テ論シ死刑ニ處ストアルヲ見テ或ハ之レヲ批難スル者アリ曰
 シ毒殺ハ其性質謀殺トナル可キモノナリ立法者ニ於テ特ニ謀殺ヲ以

テ論ストナスハ贅言ト謂ハサルヲ得ス且ツ其刑モ謀殺ト同シク死刑
 ナレハ別ニ該條ヲ設クルヲ必要トセスト成程毒殺ハ大概子皆豫謀ノ
 所爲アルニ由リ性質上ノ謀殺トナスニ足ル可シ此點ニ付テハ第二百
 九十三條ハ無要ト謂ハサルヲ得ス然レモ立法者ノ特ニ該條ヲ設ケタ
 ルモノハ其性質故殺トスルニ足ル可キ場合ト雖モ毒物ヲ施用シテ殺
 シタルモ謀殺トナスノ精神ニ出テタルモノナリ上ニ述ヘタル如ク
 毒殺ハ大概子豫謀ノ所爲アリト雖モ亦時トシテハ決意ヲ爲スヤ即時
 ニ毒物ヲ施用スルヲナシトモス故ニ該條ハ之レヲ無要ノ條文トナス
 ヲ得サルナリ
 抑モ立法者ノ毒殺罪ヲ罰スル斯ノ如ク嚴刑ヲ以テシタルモノハ兇器
 ヲ以テ人ヲ殺害シタル者ヨリ其情狀惡ム可ク其禍害モ亦大ナルニ由
 ル請フ暫ク左ニ之レヲ説明セン

一 毒殺ハ奸佞ノ所爲ニ出テタルモノニシテ其情狀最モ惡ム可キモノナリ何トナレハ兇器ヲ以テ殺害ヲ爲ス者ノ如キハ自ラ其人ニ對シテ襲撃ヲ爲ス者ナレトモ毒殺ハ陰密ニ害ヲ加ヘントスルモノニテ卑怯モ亦甚シケレハナリ

二 通常ノ故殺ハ一時ノ憤怒ノ抑制ス可カラサルニ出テタルモノナレハ疎暴慘刻ノ所爲タルヲ免カレスト雖モ奸惡ノ程度ニ至テハ強テ深カラス之レニ反シテ毒殺ノ如キハ隱然惡計ヲ逞フスルモノナレハ一時ノ憤怒ニ乘シテ爲シタルモノトハ奸惡ノ程度漸ヤ深シ是其情狀ノ最モ惡ム可キ所以ナリ

三 兇器ヲ以テ襲撃スル者ノ如キハ被害者ノ目ニ觸ルハニ由リ之レヲ避クルノ道モ亦之ナキニアラス然レトモ毒殺ニ至テハ隱然之レヲ行フモノナレハ被害者ニ於テ其害ヲ受クレトモ覺知セズ從テ之レヲ避

クルノ道ナシ是其禍害ノ大ナル所以ナリ

四 毒殺ハ隱然之レヲ行フモノナレハ其犯罪ヲ知ルヲ難ク又其犯人ノ誰タルヲ發見スルヲ容易ナラス何トナレハ毒殺ハ兇器ヲ以テ殺害シタル如ク其犯罪ノ痕跡ヲ留ムルモノニアラス又犯人ノ身体ニモ血痕等ノ微憑ヲ存スルヲナケレハナリ是等ノ事ヨリ毒殺罪ハ往々發覺セサル事アリテ社會ニ取リテ其禍害ノ大ナルモノナリ

以上ノ理由アルヲ以テ毒殺罪ハ之レヲ嚴刑ニ處シ其犯人ヲ成ルヘク之ナキニ期セサル可カラス是我カ立法者ノ特ニ毒殺罪ヲ嚴罰セシ所以ナリ

毒殺罪ニ付テハ數個ノ主要ナル問題アレハ左ニ之レヲ説明セン

問 甲者アリ乙者ヲ殺サン爲メ毒物ヲ飲マシタレトモ甲者其非ヲ覺リ直ニ消毒藥ヲ與ヘタルニ由リ乙者ノ死セザリシ場合ニハ甲ハ毒殺

未遂ヲ以テ論ス可キ乎

答 今皮相上ヨリ考フル時ハ甲者ノ如キ既ニ殺意アリ而シテ毒物ヲ服用セシメタルモノナレハ内部及ヒ外部ノ元素ヲ具備スルニ由リテ社會之レヲ罰セサル可カラサルカ如シト雖モ余ノ嘗テ總則未遂犯ノ事ヲ説クニ當リ説明シタル如ク犯人自ラ其執行ヲ止メタルハ社會之レヲ罰セサルヲ可トス是其害ノ未タ生セサルニ犯罪ヲ止メシムルノ餘地ヲ存スルヲ社會ニ利益アレハナリ(上卷四百八十)而シテ問題ノ甲者ハ自ラ其非ヲ覺リテ毒殺ノ害ヲ未生ニ防止シタルモノナレハ亦自ラ中止シタル者トシテ無罪トセサル可カラス且刑法ノ條文ニ照スモ甲者ノ如キハ之レヲ罰スルノ條文ナシ試ミニ第百十二條ヲ見ヨ凡ソ未遂犯ハ障礙ト舛錯トヲ問ハス意外ニ出テ、遂ケサル時ニアラサレハ未遂犯トセス而シテ甲者ノ如キハ其意ヨ

リ出テ、遂ケサルモノニシテ意外ニ出テタルモノトスルヲ得サレハナリ

問 甲者乙者ヲ殺サン爲メ毒ヲ飲食物ニ混シテ豫備シタルニ甲者自ラ其飲食物ヲ取出シテ之レヲ飲食シ死シタル時ハ甲者ノ罪如何

答 此問題ニ付テハ甲者ノ其飲食物ヲ置キタル場所如何ヲ區別シテ説明セサル可カラス若シ其之レヲ置キタルハ乙者ノ必然來リテ取出ス可キ場所ナレハ乙者ノ面前ニアラスト雖モ其場所ニ置キタルハ豫備ニアラストシテ既ニ毒殺ニ着手シタルモノトス故ニ其毒物ノ爲メ乙者ノ死シタル時ハ甲者ハ毒殺ノ既遂タル可シ又其場所ハ乙者ノ必然來ル可キ場所ニアラサルニ由リ其毒殺ヲ爲スニハ更ラニ乙者ノ面前ニ差出スノ存意ナリシニ乙者ノ偶然來リテ之レヲ飲食セシ場合ノ如キハ甲者ニ毒殺ノ責アルヲナシ何トナレハ未タ毒殺

ニ着手シタルモノトスルヲ得サレハナリ但シ其當時ノ景狀ニ由リ過失殺傷ノ責ヲ負ハサル可カラサルコトアルナリ

問 甲者アリ乙者ヲ殺サン爲メ毒ヲ飲食物ニ混シテ戸棚ニ仕舞置キタルニ其夜盜賊ノ潜入りテ之レヲ食ヒ之カ爲メ死シタル時ハ甲者ノ罪如何

答 此問題ニ付テハ甲者ニ責ヲシト決セサル可カラス蓋シ夜間盜賊ノ入來ルコトハ通常豫知ス可カラサル所ナリ然ラハ則チ甲者ノ之レヲ戸棚ニ仕舞置キタルハ過失ナリト謂フヲ得ス畢竟盜賊ノ死シタルハ自業自得ト謂ハサルヲ得サルナリ尤モ盜賊ノ如キ偶然外ヨリ來リタル者ニアラスシテ家内ノ者ノ之レヲ食シタルハ其之レヲ仕舞置キタル場所ニ由リ區別セサル可カラス即チ家内ノ者ト雖モ擅マニ取出シテ飲食ス可カラサル場所ニ置キタル物ヲ取出シテ食

シタル場合ノ如キハ其之レヲ取出シタル者ノ惡シキニ由リ之レヲ仕舞置キタル者ニ過失ナケレハ亦其責ヲ負ハシム可カラス要之ニ此種ノ場合ハ過失ノ有無ニ由リテ決ス可キモノナレハ事實ノ認定ニ委テサル可カラサルナリ

問 人ヲ殺サンカ爲メ一個ノ茶碗ニ毒物ヲ盛り他ノ茶碗ニ毒ニアラサル物ヲ盛り之レヲ其殺サントスル人ニ供シタルニ其人毒ニアラサル方ヲ服シタルハ意外ノ障礙トス可キ乎將タ舛錯トス可キ乎將タ又毒殺罪ヲ組成セサル乎

答 右ノ問題ニ付我邦ノ刑法解釋者中意外ノ舛錯ナルニ由リ未遂犯ヲ以テ論ス可シト謂フ者アリ是大ナル誤謬ト謂フ可シ今毒殺罪ニ付キ障礙ト舛錯トハ其毒物ノ未タ体中ニ入ラサルト既ニ入りタルトニ由リテ區別セサル可カラス本問題ノ場合ニ於テ毒ニアラサル

物ハ既ニ之レヲ服シタルニ由リ體中ニ入りタレハ毒物ハ未ダ體中ニ入ラサルニ由リ其遂ダサルハ舛錯ニアラスシテ障礙トセサル可カラサルナリ

同 此ニ人ヲ死ニ致スニ足ラサル物ヲ毒物ナリト信シテ飲食セシメタルニ其飲食セシ者ノ體力ノ虚弱ナリシカ又ハ飲合セノ惡カリシ爲メ死ニ至リタルハ毒殺既遂ヲ以テ論ス可キ乎

答 凡ソ毒物ト稱スルニハ必ス人ヲ死ニ致スニ足ル可キモノナラサル可カラズ今問題ノ事實ニ據レハ其飲食セシメタル物品ハ人ヲ死ニ致スニ足ラサリ物ナルニ由リ毒物ヲ施用シタルモノトスルヲ得ス故ニ毒殺罪ヲ成立セサルナリ然レモ殺意アリ而シテ其已レノ所爲ニ由リ死ニ致シタルハ通常ノ謀殺又ハ故殺ヲ組成スルヲ得可キナリ

問 故意ヲ以テ疱瘡又ハ黴毒ノ如キ傳染病ヲ感染セシメ仍テ人ヲ死ニ致シタルハ毒殺ヲ以テ論ス可キ乎

答 此問題ヲ決スルニハ先ツ疱瘡又黴毒ハ人ヲ死ニ致スニ足ル可キ性質ヲ有スルモノナルヤ否ヤヲ決セサル可カラズ尤モ疱瘡又ハ黴毒ノ爲メ屢ハ生命ヲ失フアルモ醫術ノ益ス進歩シタル今日ニ在テハ十ニ八九ハ治療其効ヲ奏スルヲ得可シ然ラハ則チ疱瘡又ハ黴毒ノ如キハ人ノ生命ヲ害ス可キ毒物ナリト謂フヲ得ルナリ故ニ余ハ問題ノ場合ノ如キ第三百七條ヲ以テ處分シ毒殺罪ニ問ハサルヲ可トスルナリ

○謀故殺ニ準ス可キ罪ノ事

我カ刑法ニ於テハ二種ノ謀故殺ニ準ス可キ罪ヲ定メタリ即チ左ノ如シ

一 人ヲ殺スノ意ニ出テ詐稱誘導シテ危害ニ陷レ死ニ致シタル罪
 二 謀殺故殺ヲ行ヒ誤テ他人ヲ殺シタル罪
 右第一ノ罪ニ謀殺トナル可キモノト故殺トナル可キモノトノ二種アリ其謀殺トナル可キモノハ故殺トナル可キ罪ヲ組成スル條件ノ外ニ豫謀ノ一條件ヲ加フルニ過キサレハ余ハ先ツ其故殺トナル可キ罪ヲ組成スル條件ヲ列記センニ其條件四個ヲ具備スルヲ必要トス

- 一 殺意アル事
- 二 詐稱誘導シタル事
- 三 危害ニ陷レタル事
- 四 死ニ致シタル事

以上四個ノ要件ヲ左ニ説明セン

(一) 純然タル謀殺ニアラサルモ之レニ準スルニハ必ス殺意ナカル可

カラス若夫レ殺意ナキハ第三百八條ヲ以テ罰ス可キモノトナル故ニ殺意ハ此罪ヲ組成スルニ欠ク可カラサルモノトス

(二) 詐稱誘導トハ河水ノ淺瀬ナリト詐ハリテ深キ處へ誘ヒ又ハ橋梁ノ腐朽シタルニ堅固ナリト詐ハリテ渡ラシムル如キ皆詐稱誘導ト稱ス可キモノナリ然レモ詐稱誘導トナスニハ犯人自ラ其事實ヲ知リテ故ラニ詐稱スルモノニ限ルナリ

(三) 殺意アリ且ツ詐稱誘導シタリト雖モ危害ニ陷レサリシキハ未タ以テ此罪ヲ組成セス例へハ詐稱シテ猛獸ノ出ツル山中へ誘導シタルモ偶々猛獸ノ出テサリシ場合ノ如キ是ナリ此場合ニハ管ニ實害ヲ生セサリシノミナラズ仍ホ殺害ノ豫備ニ止マリ未タ生命ヲ害セントスルノ域ニ達セサルモノナレハ未遂犯トモナラサルナリ

(四) 死ニ致シタル事ノ要件ハ之レヲ具備セサレハ此罪ノ未遂犯トモナ

ラサル乎我邦ノ解釋者中死ニ致シタル事ノ要件ヲ具備セサレハ全ク
 此罪ヲ組成セス即チ未遂犯トモナラスト云フ者アレモ余ハ此說ニ從
 フヲ得ス今論者ノ引例ヲ以テ言ヘハ腐朽シタル橋梁ヲ渡ラシメタル
 ニ其人橋下ニ陥リタルモ水練ニ達シタルカ爲メ死ニ至ラサリシ場合
 ノ如キ既ニ一旦危害ニ陷レタルモノニシテ其人ノ生命ヲ保全シタル
 ハ偶マ水練ニ達シタルカ爲メナリ夫レ斯ノ如ク危險ノ域ニ達シタル
 モ仍ホ論者ノ無罪トナスハ果シテ如何ナル理由ニ基ク乎若シ論者ノ
 如ク言フキハ橋下ニ陥リ一旦水ニ溺レテ死シタルモ他人ニ救ハレテ
 蘇生シタル場合ニモ亦無罪ト謂ハサルヲ得サルニ至ラン是豈ニ奇怪
 ノ說ト謂ハサルヲ得ンヤ論者ハ法文中死ニ致シタル者云々トノ一句
 アルヲ以テ其要件ヲ欠ケハ未遂トモナラスト言フト雖モ果シテ此說
 ノ如クソハ人ヲ殺シタルニアラサレハ故殺ノ未遂トモナラスト謂ハ

サルヲ得サルニ至ラン何トナレハ法文中人ヲ殺シタル者トノ一句ア
 レハナリ然レモ余ハ縱令ヒ其人ヲ死ニ致サ、ルモ其陷レントスル所
 ノ危害ニ陷レタル以上ハ犯人既ニ其所爲ヲ終リタルモノトナス故ニ
 縱令ヒ之カ爲メ死ニ致スノ結果ヲ生セサルモ畢竟犯人意外ノ舛錯ニ
 出テ、此結果ヲ生セサリシモノナレハ宜シク無効犯ヲ以テ論スヘキ
 ナリ決シテ無効トナスヘカラサルナリ此故ニ余ノ說ニ從ヘハ此第四
 ノ要件ハ此罪ノ既遂トナスニ欠ク可カラサルノ要件ニシテ未遂犯ト
 ナスニハ敢テ必要トラスト思考スルナリ
 又皮想上ヨリ考フルキハ此種ノ罪ハ常ニ謀殺トナリ故殺トナル可キ
 場合ナキカ如シト雖モ決シテ然ルニアラサルナリ例ヘハ常ニ已レノ
 怨恨ヲ懷ク者ニ偶然邂逅シ臨時殺意ヲ發シテ即時ニ詐稱誘導ヲ爲シ
 タル場合ノ如キ縱令ヒ詐稱誘導ノ所爲アリテ後危害ニ陷ル、モノナ

レハ通常ノ故殺トハ姦佞ニシテ其情惡ム可キ所アリト雖モ之レヲ以テ豫メ計畫ヲ爲シタルモノトスルヲ得サルニ由リ仍ホ故殺ノ性質ヲ有スルモノトセサル可カラズ之ニ反シ豫メ土中ニ阱ヲ造リ其處ニ詐稱誘導セシ場合ノ如キ是豫メ計畫ヲ爲シタルモノナレハ謀殺トセサル可カラサルナリ

又世ノ論者中或ハ此種ノ罪ハ純然タル謀殺又ハ故殺ナルヲ以テ別ニ第二百九十七條ヲ掲クルヲ必要トセスト言フ者アリ然レモ此種ノ所爲ハ通常ノ謀故殺ト自ラ相異ナル所アリ蓋シ通常ノ謀故殺ニ在テハ犯人ノ所爲ヨリ直接ニ生命ヲ害スルニ至ル可キモ此種ノ罪ハ犯人ノ所爲ハ危害ニ陷レル迄ニ止マリ其生命ヲ害スルニ至ルハ危害ニ陷レタルヨリ直接ニ生スル所ノ結果ナレハ犯人ノ所爲ハ生命ヲ害スル直接ノ所爲ニアラス仍テ或ハ通常ノ謀故殺ヲ以テ論スルヲ得ストノ疑

ヲ生スル者アラソコヲ恐レテ此條ヲ設ケタル者ナレハ決シテ無要ノ條文ニアラサルナリ

右ニ述ヘタル如ク通常ノ謀殺又ハ故殺ト此種ノ罪トハ自ラ相異ナル所アルモ犯人既ニ殺意アリ而シテ其目的ヲ達センカ爲メ之カ手段トシテ詐稱誘導ヲ爲シタルモノナレハ立法者ハ通常ノ謀故殺ニ準シテ論スルモノトセリ然レモ今其犯人ノ情狀ト禍害トノ點ヨリ觀察スレハ余ハ却テ其情惡ム可ク其害ノ大ナルヲ知ル何ヲ以テ其情惡ム可シト云フ乎ト問ハンニ通常ノ謀故殺ト相異ナリ詐稱誘導スル如キハ一ノ姦計ヲ用フルモノニシテ單純ノ所爲ニアラス是余ノ其情惡ム可シトナス所以ナリ又何チカ其害大ナリト云フ乎ト問ハンニ斯ノ如キ姦計ヲ以テ誘導スルニ於テハ被害者不知不識死地ニ陷リ之レヲ避クルノ道ヲ得ルニ難シ之レヲ目前兇器ヲ以テ追マルモノニ比スレハ其害

大ナリト謂ハサルヲ得サルナリ夫レ斯ノ如ク其情惡ム可ク其害大ナリト雖モ既ニ死刑又ハ無期徒刑ノ極ニ達シタル上ナレハ立法者ハ別ニ之カ加重ヲ爲サ、リシモノナラン

又謀故殺ニ準ス可キ第二種ノ罪ハ其殺サント欲スル目的外ノ人ヲ殺シタル場合ニシテ法律上之レヲ稱シテ誤殺ト謂フ所ノモノナリ

今ヤ此罪ヲ組成スル要素ヲ説クニ先ツテ此ニ論決セサル可カラサル事アリ即チ誤殺トナル可キ區域是ナリ或ハ第二百九十八條ノ條文中何等ノ區別ヲモ爲サ、リシヲ以テ苟モ謀殺故殺ヲ行フニ際シ他人ヲ殺シタルモ其性質過失殺傷トナル可キ場合ト雖モ仍ホ謀殺又ハ故殺ヲ以テ論セサル可カラス故ニ甲者ヲ殺サント欲シテ發銃セシニ其彈丸甲者ニ中ラス其傍ラニ在リシ乙者ニ中リタル場合ノ如キ又甲者ヲ殺サント欲シテ刀ヲ振揚ケタルニ其切先キ後ロニ立チタル共犯人ニ

觸レテ死ニ致シタル場合ノ如キ皆誤殺ヲ以テ論セサル可カラスト主張スル者アリ然レ凡余ハ決シテ此説ニ從フヲ得ス余ノ信スル所ノ説ハ例ヘハ乙者ヲ甲者ナリト誤認シテ發銃シ又ハ切付ケタル如キ唯其人ヲ誤リタルモ故ラニ手ヲ下シタル場合ニ限り誤殺ヲ以テ論ス可キモノトス故ニ甲者ニ向テ發銃セシニ彈丸過テ傍人ニ中リタル場合又ハ甲者ヲ殺サント欲シテ刀ヲ振揚ケタルニ後ロニ立チシ共犯人ヲ死ニ致シタル如キ是皆過失殺傷ヲ以テ論ス可キモ誤殺ヲ以テ論ス可キモノモアラスト言フニ在リ若シ或者ノ如ク誤殺ノ區域ヲ擴ムルモハ第二百九十八條ハ甚タ嚴酷ニ過キテ不正ト謂セハルヲ得サルニ至ラシ故ニ縱令ヒ法文中明カニ區別ヲ爲サ、ルモ立法ノ精神ヨリ推シテ此ニ之カ區域ヲ畫定スルハ決シテ解法者ノ權外ニ出テスト信スル也斯ク論スルモハ人或ハ言ハシ乙者ヲ甲者ナリト誤認シテ故ラニ殺害

ノ所爲ヲ加ヘタル場合ノ如キハ純然タル謀故殺ナリ何トナレハ其甲者ナルカ故ニ殺スト云フハ所謂ル殺意ヲ起サシメタルノ原因トナルモ犯罪直接ノ意思ニアラス現ニ乙ナルヲ知ラサルモ其目前ノ人ヲ殺サント欲シテ手ヲ下シタルニ相違ナシ從テ純然タル謀故殺ノ條件ヲ具備スレハナリ既ニ之カ條件ヲ具備セン乎別ニ第二百九十八條ヲ掲クルヲ要セサルナリト夫レ然リ豈ニ夫レ然ランヤ抑モ此種ノ犯罪ニ付テハ佛國ニ於テ嘗テ學者ノ說數派ニ岐レタルヲアリ或ハ曰ク其元ト殺サント欲シタル人ニ對シテハ無効犯又ハ未遂犯タリ而シテ其現ニ害ヲ蒙リタル人ニ對シテハ元ト其人ヲ殺スノ意思アラサリシモノナレハ過失殺ナリト又或ハ曰ク其元ト殺サント欲セシ人ニ對シテハ豫謀ノアリシ場合ト雖モ其現ニ害ヲ蒙リタル人ニ對シテハ豫謀ノアラサリシモノナレハ故殺ヲ以テ論セサル可カラスト其他ノ一說ハ

則チ謀殺又ハ故殺ナリト云フノ說ニシテ我カ刑法ニ採用セシ所ノ說ナリ夫レ斯ノ如ク學者間ニ其說ノ區々タリシヲアレハ我カ立法者ハ第二百九十八條ニ於テ之レヲ規定シタルモノニシテ決シテ無要ノ條文ニアラサルナリ而シテ上ニ掲ケタル第一說及ヒ第二說ハ各々誤謬アルヲ免カレス若シ上ニ述ヘタル如ク目的トセル人ニ彈丸ノ中ラスシテ意外ノ人ニ中リシ場合ノ如キチ誤殺トスルナレハ第一說或ハ至當ナラン然レモ余ノ解釋ニ從ヒ誤殺ノ意義ヲ定ムルハ此說ノ取ルニ足ラサルヲ明ナリ何トナレハ故意ヲ以テ其人ニ殺害ノ所爲ヲ施シ而シテ過失殺ナリトスルノ理ハ万々之アラサレハナリ又第二說ノ如キ一應道理アルカ如シト雖モ亦誤謬タルヲ免レス試ミニ一例ヲ舉ケテ其誤謬タル所以ヲ証センニ例ハ此ニ乙者ノ容貌甲者ニ相似ルヲ以テ甲者ナリト誤認シ加勢ヲ頼ミテ途ニ之ヲ要殺セシ者アリトセヨ此場

合ニ於テハ元ト誤認ニ出テタリト雖モ犯人ノ意思ニ於テハ既ニ惡意ノ鞏固ナルモノアリ又乙者ノ爲メニ危害ノ度モ自ラ加ハリシモノナレハ通常ノ故殺ヲ以テ論ス可キモノニアラサルヲ明ナリ以上二說共ニ不可ナルヲ以テ我立法者ノ第三說ニ從ヒシハ蓋シ至當ト謂ハサルヲ得サルナリ

以上說ク所ニ據リ誤殺ニ由リ謀殺又ハ故殺トナル可キ要件ヲ掲クレハ左ノ如シ

- 一 謀殺又ハ故殺ノ罪ヲ犯スノ意アル事謀殺ニ付テハ他ニ仍ホ豫謀ノ所爲アルヲ要ス
 - 二 他人ヲ其殺サント欲スル人ト誤認シタル事
 - 三 其他人ニ殺害ノ所爲ヲ加ヘタル事
- 以上掲クルノ要件ニ付テハ余ノ上ニ說ク所ニ由リ明ナルヲ以テ別ニ

喋々之レヲ説明セサルナリ

○第二章 毆打創傷ノ罪

毆打トハ何ソヤ今其文字ニ拘泥スルハ手足又ハ器物ヲ以テ打ツノ所爲ノミヲ云フカ如シト雖モ人ノ身體ヲ突ク所爲ノ如キ亦之レヲ毆打ト稱スルヲ得可シ然レモ毆打ト稱スルニハ必ス腕力ヲ以テ暴行ヲ直接ニ人ノ身體ニ加ヘタルモノニ限ル夫ノ第六十八條ニ道路橋梁等ヲ損壞シタルニ由リ人ヲ殺傷シタル者ヲ毆打創傷ノ各本條ニ照スモノトシ又第二百四十五條ニ於テ飲料ノ淨水ヲ汚穢スルノ罪ヲ犯シ因テ人ヲ疾病又ハ死ニ致シタル者ヲ毆打創傷ノ各本條ニ照スモノトシタル如キ其性質ヨリ言ヘハ毆打創傷ノ罪ニアラス立法者ノ他ニ據ル可キノ箇條ナキヲ以テ之レニ準シタルニ過キサルノミ故ニ是等ハ明文ナキ場合ニ推及スルヲ得サルモノトス

今我カ刑法ニ於テ規定スル所ニ據レハ毆打創傷ノ罪ハ有意犯ト無意犯トノ性質ヲ兼テ有スルモノニ似タリ即チ其毆打ヲ爲スニ付テハ必ス故意アリテ之レヲ爲シタルヲ要ス其故意ナクシテ偶々人ノ身体ヲ毆テ爲メニ負傷セシメタル場合ノ如キ過失殺傷ノ罪ヲ組成スルノアルモ毆打創傷ノ罪ヲ組成スルヲナシ故ニ此點ヨリ觀察スレハ此種ノ罪ハ有意犯トセサル可カラズ然レモ其所爲ニ由リ生スル所ノ結果ニ付テハ敢テ意思アルヲ必要トセス啻ニ意思アルヲ必要トセサルノミナラス殺意ニ至テハ之ナキヲ必要トス若シ殺意アリテ人ヲ毆打セシ乎縱令ヒ手足ヲ以テ之レヲ爲シ敢テ兇器ヲ用ヒサルモ誤殺又ハ故殺ノ罪ヲ組成セン故ニ殺意ナクシテ毆打ヲ爲シタル場合ニアラサレハ毆打創傷ノ罪ヲ組成セサルナリ然ルニ其負傷セシムルノ意思ニ付テハ其有無ヲ問フヲ要セス故ニ創傷ヲ負ハシメント欲シテ毆打ヲ

チ爲スト別ニ是等ノ意思ナクシテ毆打ヲ爲ストチ問ハス總テ其所爲ヨリ生シタル結果ヲ見テ其刑ヲ定ム仍テ此點ヨリ觀察スルキハ此種ノ罪ハ無意犯トセサル可カラズ是余ノ有意犯ト無意犯トノ性質ヲ兼テ有スルモノトナス所以ナリ

今此節ニ規定スル所及ヒ第四編違警罪ノ部ニ規定シタル所チ參照スレハ毆打ノ罪ハ左ノ七級ニ區別スルヲ得可シ

- 一 毆打創傷因テ死ニ至シタル者
- 二 毆打創傷因テ篤疾ニ致シタル者
- 三 毆打創傷因テ廢疾ニ致シタル者
- 四 毆打創傷シ二十日以上ノ時間疾病ニ罹リ又ハ職業ヲ營ムニ能ハサルニ至ラシメタル者
- 五 毆打創傷シ疾病休業ノ時間二十日ニ至ラサル者

(刑法講義)

六 毆打創傷シタルモ疾病休業ニ至ラサル者
七 毆打シテ創傷疾病ニ至ラサル者

右第一級ノ罪ヲ組成スルニハ左ノ四條件ヲ具備スルテ必要トス

- 一 人ヲ毆打創傷スル事
- 二 故意ヲ以テ毆打シタル事
- 三 死ニ致ス事
- 四 殺意ナキ事

右ニ掲ケタル第三ノ要件ニ付テハ三ヶノ注意ス可キ事アリ左ニ之ヲ説明セン

其一 其創傷ノ重劇ニシテ所謂致命傷ト断定スルニ足ル可キモノナレバ假令ヒ治療ニ些少ノ疎略アルモ因テ死ニ致シタルモノトナスニ足ル可シ然レモ其創傷ノ重劇ナラスシテ致命傷ト断定スルニ足ラ

サルモハ實際ニ就テ詳カニ審査ヲ爲シ若シ治療ノ疎略ナルニ原因セシ証アルニ於テハ毆打致死ヲ以テ論ス可カラズ又其證據ノ判然セサルモハ被告人ノ利益ニ從ヒ創傷ノ性質ヲ以テ之レヲ定メ致命傷トナスニ足ラサルモ亦毆打致死ヲ以テ論ス可カラサルナリ然レモ其現在疾病ニ罹ラシメタル點ニ付テハ其責ヲ免カル、ヲ得サルナリ

其二 其創傷ノ重劇ナラス以テ通常ノ人ヲ死ニ致スニ足ラサルモ其毆打セラレタル者ノ身体虛弱ナリシ爲メニ死シタル場合ノ如キ是亦毆打致死ノ責ヲ免カルヲ得ス蓋シ毆打創傷ノ罪ハ結果ヲ見テ之レヲ定メ敢テ犯人ノ意思ニ關係セサルモノナレハ其死去ノ原由果シテ毆打ニ在レハ此罪ヲ組成スルニ妨ナキナリ

其三 毆打創傷ヲ爲シ即時ニ死シタルモハ固ヨリ疑ノ存スルナキモ時トシテハ數十日ノ後ニ死スルコトアリ此間其毆打ヲ爲シタル者ヲ未